

ONE STOP SOLUTION TAKEDA

「もっとお客様のお役に立ちたい」との想いで、
企画デザインから印刷、WEB展開からイベント、システム開発、
さらには、戦略型ロジスティクス事業など、
幅広く展開しています。

お客様の悩み

企画・クリエイティブはA社、
システム開発はB社、配送はC社と
工程毎に別業者に依頼していると
手間と時間がかかる…

そもそもすべての手配を
1社に一括で任せたい!



企画・ツール制作・物流etc…
様々なサービスを「ONE STOP」で!

竹田印刷株式会社

■ 関東事業部
〒114-0016 東京都北区上中里2-9-1 TEL: 03-3913-5501 (代表) FAX: 03-3919-9724

■ 本社・中部事業部
〒466-8512 名古屋市昭和区白金1-11-10
TEL: 052-871-6351 (代表) FAX: 052-872-1488

■ 関西事業部
〒540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋一丁目4番34号 信金中央金庫ビル8・9F
TEL: 06-6947-6001 (代表) FAX: 06-6947-6611

<https://www.takeda-prn.co.jp/>

未来の先生展 2019 Guidebook

9月14日(土)・15日(日)

明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー

教員を目指しているあなたへ

私学とのベストマッチングをサポートします。

私学教員になるなら

E-Staff

イー・スタッフ

www.e-staff.jp



第8回 キャリア教員アワード受賞

弊社研修 トップネット私学教員養成所

私学の教員を選択肢に

登録無料



毎年600人以上の教職員採用支援実績

私学教員の求人・就職情報を提供する「イー・スタッフ」は、会員校数・求人取扱数ともに業界トップクラス。担当コーディネーターが就職活動をフルサポート。私立学校とのベストマッチングを実現し、あなたの夢を全力でバックアップします。

フリーダイヤル 0120-558-226



Educational Network

未来の先生展2019開催にあたって
不易流行。改めて、21世紀における教育を考える

教育の未来をリードする新たな知見や取り組みが生まれ続ける源泉を目指します。

未来の先生展は、2017年度に初開催された日本最大級の教育イベントです。初の試みであった「未来の先生展2017」は、多くの方々のお力添えのおかげで、来場者が2日間で2569人、登壇者等を合わせると3090人と、日本最大級の教育イベントとなりました。続く2018年度は同規模での開催となりました。未来の先生展は、多くの方々のご縁によって続いている奇跡的なイベントだと思っています。今回ついに3回目の開催となること、実は毎年開催するのがとても大変なのですが、参加した方々の参加して良かったというお声がエネルギーとなって毎年開催できております。未来の先生展にご来場のみならず、そしてご協賛企業をはじめ、ご協力くださったみなさまにも、この場をお借りして、心より御礼と感謝を申し上げます。

21世紀も約20年、5分1ほど経ちました。気づけば、2019年5月には元号も変わり、学習指導要領なども変わろうとしており、日本社会や学校教育をはじめとして様々なところで新時代の到来を感じる日々です。そんな今だからこそ、改めて残りの80年、21世紀の教育について、参加者のみなさんと考えていきたいと思えます。残りの80年、日本社会や学校現場、そしてそれを取り巻く環境はどのようになっていくのでしょうか？ また、明日、1年後、10年後、40年後、80年後に必要な学びや学校、先生、教育の形とはどのようなものなのでしょうか？ 未来の先生展2019ではテクノロジーからソーシャルまで、明日使える実践から考え方を磨くものまで、日本各地や世界などの幅広い範囲から改めて21世紀の教育を考える不易流行の要素を網羅しようとしています。来場者の層も、教員をはじめ、学生や教育産業、行政、保護者や教育に関心のある一般の方々まで非常に多種多様です。

この多様性は、来場者が“つながり”、知識や視点、つながりが“広がり”、新たな取り組みや知識が“生まれる”場になることを可能にします。こうして不易流行の教育が紡ぎ出され、未来へまなざしを向け日本の教育を多面的に彩る一助に未来の先生展2019がなれば幸いです。

2日間、お楽しみください。

実行委員長 宮田純也

未来の先生展

会期○2019年9月14日(土)―15日(日)10:00―18:00 ※開場は9:45

会場○明治大学 駿河台キャンパス リバティータワー(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1丁目1)

主催○未来の先生展2019実行委員会

共催○明治大学

後援○文部科学省・経済産業省・東京都教育委員会・神奈川県教育委員会・埼玉県教育委員会・茨城県教育委員会・千代田区教育委員会・公益社団法人 全国学習塾協会

協賛○株式会社アジアンド・株式会社アスコン・株式会社エデュケーション・株式会社エン教育財団・株式会社mpi松香フォニックス・キリロム工科大学・キンコーズ・ジャパン株式会社・株式会社国際交流センター・株式会社COMPASS・株式会社しくみデザイン・株式会社JTB・株式会社ジプロス・竹田印刷株式会社・株式会社tyotto・株式会社東京リーガルマインド・株式会社トモノカイ・株式会社日本パブリックリレーションズ研究所・特定非営利活動法人very50・株式会社LITALICO

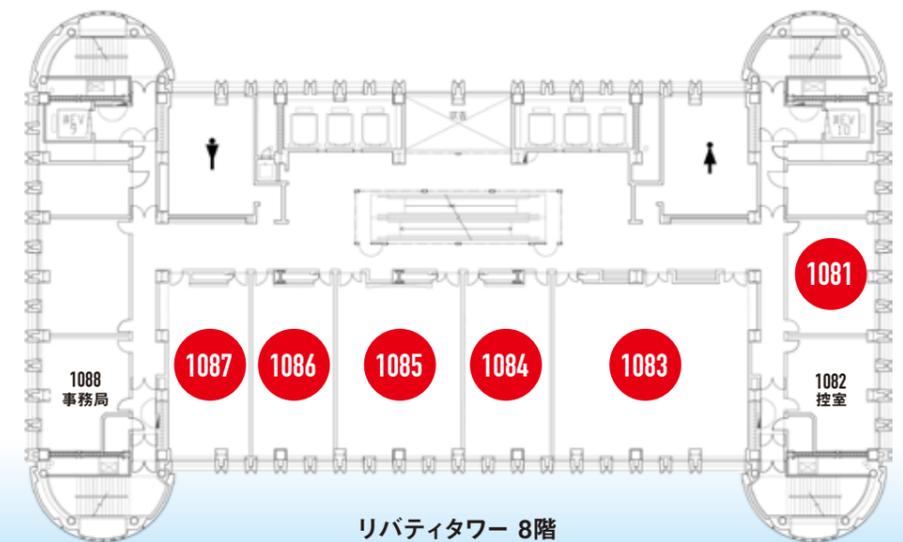
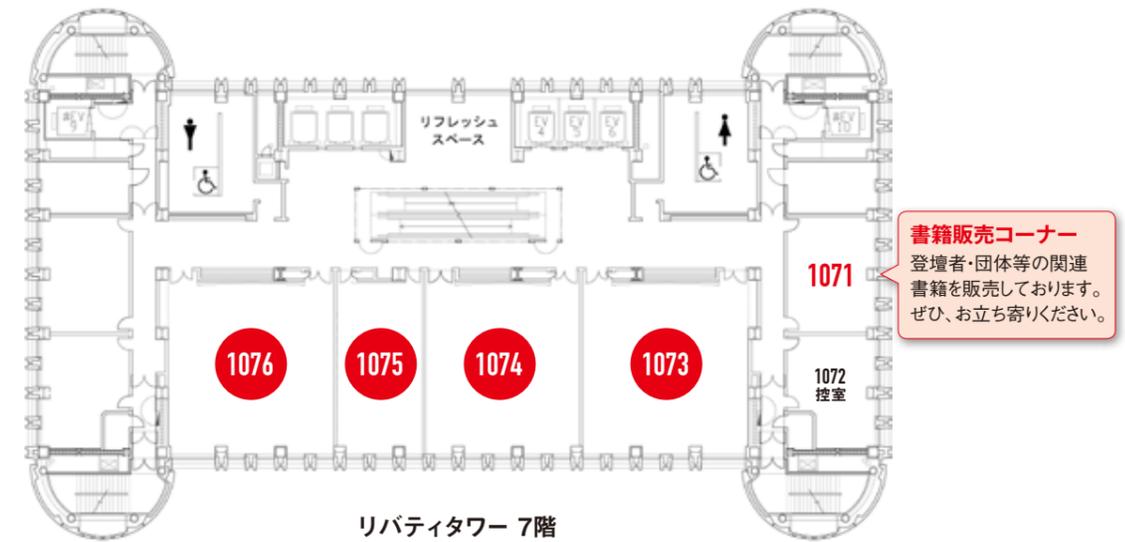
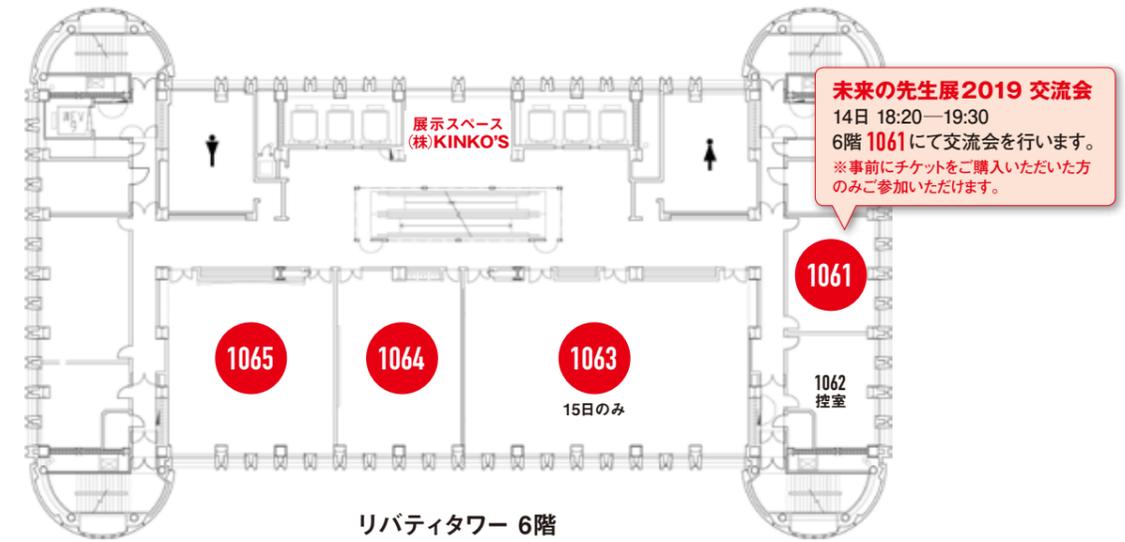
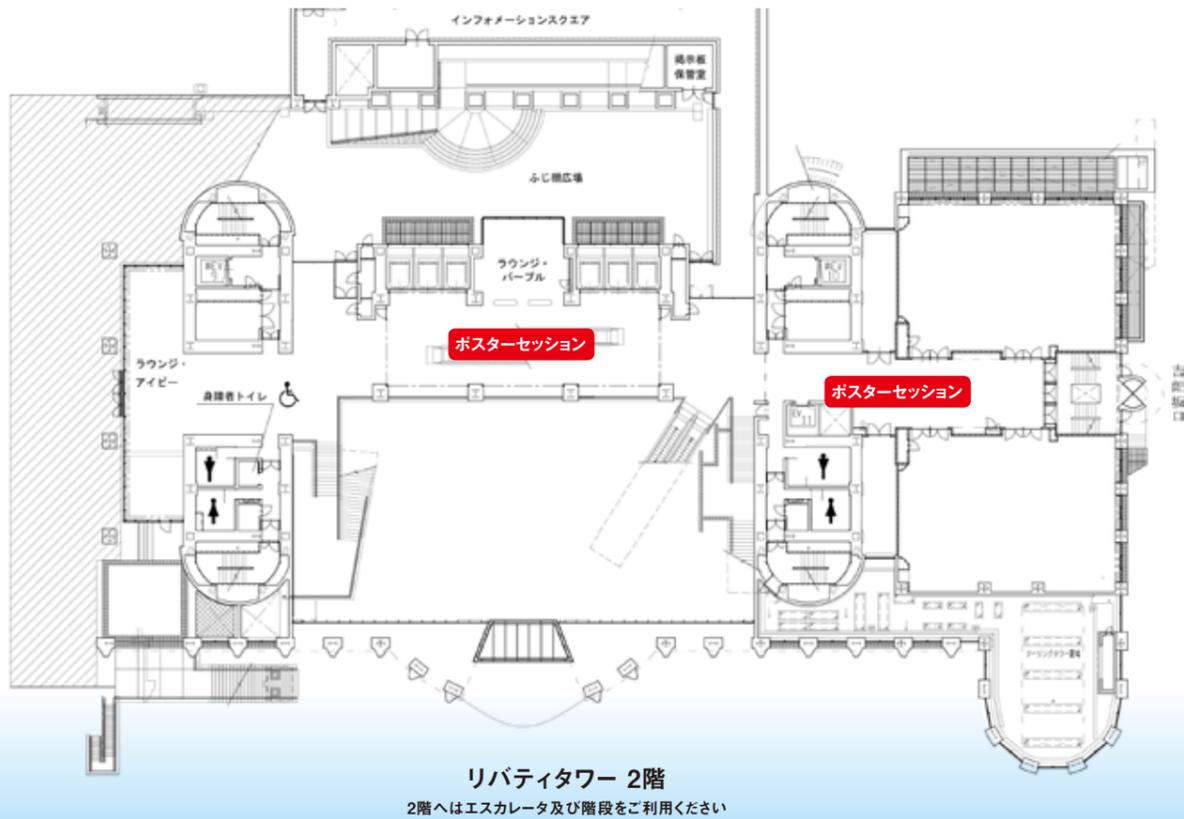


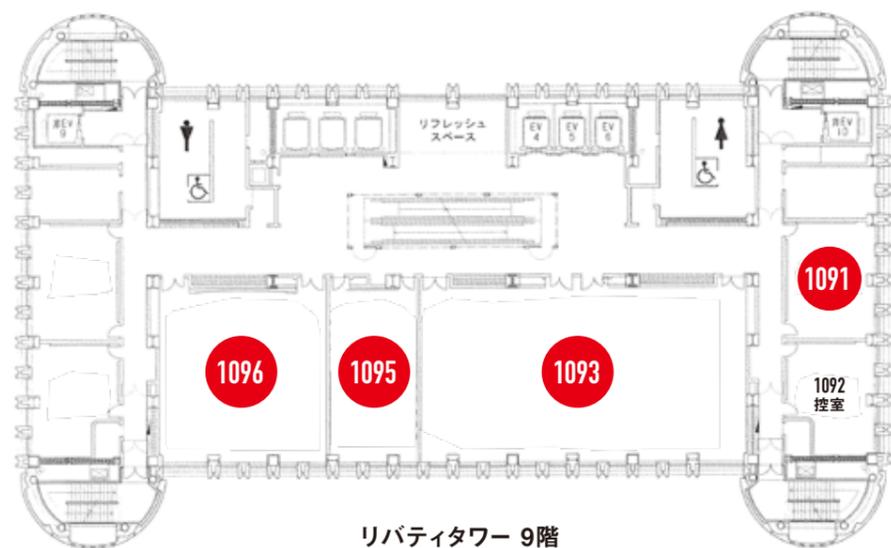
		10:30 — 12:00	13:00 — 14:30	15:00 — 16:00	16:20 — 17:50
1F	楽紺ホール	未来の先生展 エクゼビジョン ① / 展示スペース (株式会社 アジアンドキュメンタリーズ) (株式会社 アスコ) (一般財団法人 エン教育財団) (株式会社COMPASS) (株式会社JTB) (株式会社トモノカイ) (株式会社LITALICO) (6Fリフレッシュコーナー・キンコース・ジャパン株式会社) 45Pを参照ください			
2F	パブリックスペース	未来の先生展 エクゼビジョン ② / ポスターセッション 46~50Pを参照ください			
6F	1061	01 カードゲーム「2030SDGs」 カードゲーム「2030SDGs」を授業でやってみよう!	02 ARientation Designing Immersive Learning with ARientation		03 MAVR研究会 Together Learning Research Session
	1063				
	1064		04 育て上げネット 躰を乗り越えるためのセーフティネット型キャリア教育	05 協同教育カフェ・相模原市立上鶴間中学校 集団を育て、自分の良さを伸ばす生徒主体の学び コーペラティブラーニングの実践を通して	06 株式会社POTETO Media “政治をわかりやすく”POTETOの、新科目「公共」の挑戦事例
	1065	07 数学ネタ研究会 数学・算数をもっと面白く伝える!数学・算数ネタ研究会	08 ココネ言語教育研究会 これから求められる英語教師力	09 愛媛大学教育学部科学教育 研究倫理教育 体験教室	10 広島県立大崎海星高等学校 公立高校における「教育」×「地域」とは 一地域協働でつくる「探究」最前線
	1071	書籍販売			
7F	1073		11 特定非営利活動法人日本ピーススマイル協会 自己肯定感と自信がつくワークショップ ~持続的な笑顔と生きる力をもたらす授業をしよう~	12 京都府精神保健福祉総合センター 子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラム	13 公益社団法人 全国学習塾協会 欠けた心の磨き方 先生自身が自分を知る
	1074	14 一般社団法人 日本ポジティブ教育協会 子どもの強みを育てるポジティブ教育	15 株式会社サイバーフェリックス 「あなたのDQはいくつ?」学校と保護者で一緒に高める子ども達のDQ(デジタルインテリジェンス)	16 こどもプログラミングニュース 「スーパークリエイターがやってくる!君もクリエイターにならないか?」映画試写会&トークショー	17 こどものお金の学校 「もしも自分が社長になったら」~お店の経営をゲームを使って学んでみよう~
	1075	18 公益社団法人 全国学習塾協会 「未来の教室とEdTech研究会」委員と日本最大のプログラミング教育メディア代表が語る これからの教育と社会の在り方	19 YogaEd.JAPAN 授業に使える子ども向けへのヨガ(3歳から12歳、中高生対象)体験クラス 社会性と情動の教育に基づいたヨガクラスの紹介	20 株式会社リアライズ ゲームで楽しく経営の勉強! スマイルゲーム~ゲームフィクションを用いた次世代教育~	21 岩川光一朗(筑波大学教育研究科・スクールリーダーシップ開発専攻) 教育に応用する「インプロ(即興演劇)」ワークショップ
	1076	22 聖光学院中・高等学校 ブロックで学ぶ算数・数学	23 日本テセレーションデザイン協会 敷きつめ模様づくりを通して育む算数・数学の感性 ~T3パズルの授業導入の紹介~	24 宮内主斗 子どもが育つ5つの原則—特別支援教育の視点を生かして	25 Community for the Promotion of compassionate systems education 「Compassionate Systems Framework」紹介ワークショップ
8F	1081	26 一般社団法人 Teacher's Lab 先生と共に創る先生の学校~明日からの学びを共に創りませんか?~	26 一般社団法人 Teacher's Lab 先生と共に創る先生の学校~明日からの学びを共に創りませんか?~	26 一般社団法人 Teacher's Lab 先生と共に創る先生の学校~明日からの学びを共に創りませんか?~	26 一般社団法人 Teacher's Lab 先生と共に創る先生の学校~明日からの学びを共に創りませんか?~
	1083	27 授業づくりネットワーク 「ゲストとつくるコラボ授業」~教科の授業を社会にひろく(菊地南央with阿部隆幸)	28 授業づくりネットワーク 「まなびほぐし」を定時制実践で考える(伊藤晃一 with 石川晋)		29 授業づくりネットワーク シンポジウム「若手実践者が学校現場でしなやかに考えていること」(佐内信之、菊地、伊藤、阿部、石川)
	1084		30 一般社団法人 こども発達支援研究会 学級経営×特別支援の知識で、全員を育てる学級づくりを学ぼう! ~授業・学級経営で活用できる特別支援の知識~	31 先生の幸せ研究所 先生の幸せは子ども達の幸せ! 外部コーディネータと行う学校の時間創出ワークショップ	32 先生のための教育事典 EDUPEDIA 子どもが主体的に動く「学級経営の基礎・基本」
	1085				
	1086	33 横浜シュタイナー学園 シュタイナー教育体験ワーク「低学年の文字の導入」	34 自由の森学園 教師が自由であることについて考える		35 箕面こどもの森学園 「民主的に生きる人を育て」学び場のつくり方
	1087	36 東京シュール葛飾中学校 “子どもが創る子どもと創る学校”の性教育実践報告	37 NPO法人フリースクール全国ネットワーク フリースクールって何? 通う子どもとスタッフに聞いちゃおう!	38 NPO法人フリースクール全国ネットワーク 多様な学びと普通教育機会確保法	39 NPO法人フリースクール全国ネットワーク オルタナティブ大学? デモクラティック大学って何?
9F	1092	40 SOZO.Ed ICT×Creative×Education! 新しい学びを体験しよう! Vol.1 ~VIVIWARE Callで、ものづくりのアイデアを手軽に!~	41 SOZO.Ed ICT×Creative×Education! 新しい学びを体験しよう! Vol.2 ~楽器アプリで驚きの仕掛けをつくりだせ!~		42 SOZO.Ed ICT×Creative×Education! 新しい学びを体験しよう! Vol.3 ~未来を創る子どもたちに「創造的プログラミング」を!~
	1093	43 EDUPEDIA 教育の「不易と流行」	44 日本学術会議 シンポジウム 道徳教育はどうあるべきか?: 教科化・評価・教科書を点検する		
	1095	45 一般社団法人ジュニアマナーズ協会 子ども達に伝えたい国際人としてのマナー(洋食編)	46 ハテナソコ共創ラボ 問いづくりQFT+(プラス)体験ワークショップ	47 キリロム工科大学 Googleに負けて思い知った、日本の教育に足りないもの ~日本人は世界で活躍できるチャンスがある~	48 みらいのオトナ実験室(cokowill) フィンランドから学ぶ、これからの時代を生きる子どもたちへ「働く」と「学ぶ」を結び教育とは?
	1096	49 ESN英語教育総合研究会 国際バカロレア入門 初級編	50 ESN英語教育総合研究会 国際バカロレア入門 中級編	51 ESN英語教育総合研究会 国際バカロレア入門 上級編	52 ESN英語教育総合研究会 シンポジウム 国際バカロレア・コーディネーター鼎談
10F	1103	53 こども国連 学びや対話が深まる「問い」の作り方講座	54 株式会社 笑下村塾 お笑い芸人が教える! 「笑って学ぶSDGs」		55 タクトピア株式会社 学校は変えられる! 先生、生徒自身が主体となって学校現場の課題解決に取り組む手法
	1104	56 NPO法人コモンビート 「世界のダンス教室」~体と心を動かして、楽しく世界を学ぼう!~	57 DEAD TEACHERS SOCIETY エデュカソン®で創ろう! 僕立・私(わたし)立の夢の学校	58 NPO法人very50 平成時代に落ちた人材の処方箋~企業の人材育成から逆算して考える~	59 毎日がワールド・カフェ ワールド・カフェを学ぶ ~成功のための7つのポイント~
	1105	60 「道徳読み」研究会千葉支部 教科書をフル活用する新しい道徳指導法~「道徳読み」	61 養田雅之 おはなしワクチン	62 カリキュラム株式会社 一般社団法人鉄道模型コンテスト 情報発信をしない先生の未来は奴隷となる!	63 未来の教育をつくる「ドの会」 未来をつくる「変態思考力」ラボ
	1106		64 株式会社 ジブロス 英語で学び、広がる世界~英語は当たり前 幼児や小学生が英語を使って学習したり海外にFieldTripに行ったりする事例		65 マイプロジェクト事務局 高校生の実践型探究学習/マイプロジェクト伴走者フォーラム ~「やらされ探究」から「生徒主体の探究」へ~
11F	1114		66 陰山ラボ 学力向上で町を変えた陰山メソッド	67 すなばコーポレーション 和差積商をカードゲームで遊んじゃえ! 新作カードゲーム体験会	68 株式会社 アントレキッズ 「プログラミングに役立つ“お笑い算数教室・平面図形編”」
	1115		69 一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT) 「持続可能な社会の創り手」の育成に向けて ~社会性・感情の学習の力~	70 JICA(独立行政法人国際協力機構)、株式会社朝日新聞社 (朝日新聞×JICA) 新聞を活用して考える「持続可能な社会」とは	71 認定NPO法人開発教育協会(DEAR) 世界がもし100人の村だったら ~SDGsと一緒に考えよう!

6F 1061 18:20—19:30 「未来の先生展2019 交流会」

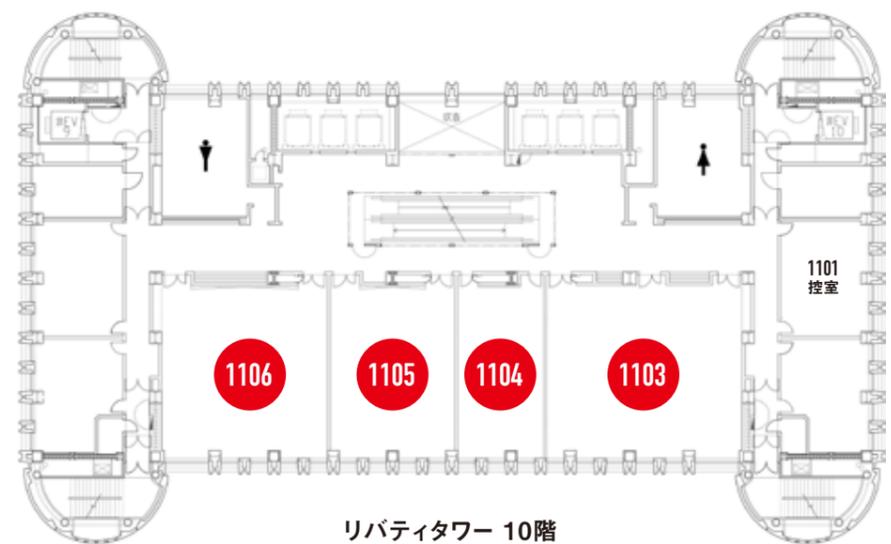
		10:30—12:00	13:00—14:30	15:00—16:00	16:20—17:50	
1F	柴紺ホール	未来の先生展 エクゼビジョン ① / 展示スペース (株式会社 アジアンドキュメンタリーズ) (株式会社 アスコン) (一般財団法人 エン教育財団)			(株式会社COMPASS) (株式会社JTB) (株式会社モノカイ) (株式会社LITALICO) (6Fリフレッシュコーナー・キンコース・ジャパン株式会社) 45Pを参照ください	
	1013 リパティホール	134 未来の先生展 2019 開催記念鼎談 講演会				
2F	パブリックスペース	未来の先生展 エクゼビジョン ② / ポスターセッション 51~54Pを参照ください				
6F	1061	72 世界に目を向けよう～今、私たちにできること～ ワークショップ SDGs of Children, by Children, for Children			73 特定非営利活動法人アイセック・ジャパン ワークショップ 講演会 大学生×国際×教育～世界最大の学生団体による教育実践～	
	1063	74 学びを探究するメディア「Q」 ワークショップ 講演会 探究学習の評価を探究する			75 一般社団法人マナビダイスキ ワークショップ ジブ知るして 行動を楽しみながら変えられる「マイゲーム」をつくり、 習慣化できるしくみを提供するワークショップ	
	1064	76 新渡戸文化小中学校・高等学校 講演会 Happiness Creatorを育てる教育を目指して①		77 新渡戸文化小中学校・高等学校 講演会 Happiness Creatorを育てる教育を目指して②	78 新渡戸文化小中学校・高等学校 講演会 Happiness Creatorを育てる教育を目指して③	
	1065	79 立命館アジア太平洋大学 ワークショップ 講演会 時代を切り拓く「探求の力」を育む		80 株式会社 ラーニングエンジニアリング ワークショップ 改めて算数文章題教育を見つめ直す～問題づくりとAIを通じた算数文章題の学び～		
7F	1071	書籍販売				
	1073	81 朝日新聞社 ワークショップ 2020大学入試はこう変わる～今日から鍛える4つの学力～		82 朝日新聞社 ワークショップ 講演会 情報を使えるひとに育て、人生100倍得させよう!	83 朝日新聞社 ワークショップ 講演会 SDGs・新聞記事ワークショップ	
	1074	84 一般社団法人 日本味感学協会 ワークショップ オリンピック選手も東大生も実践中! 学校で学ぼう! 感覚の育て方]		85 合同会社 ネクスファ ワークショップ SDGs×探究=「サス学」の8年間の実践、シェアします! ～社会課題をジブンゴトに解決アイデアを発想・アクションする学び～	86 立命館アジア太平洋大学 シンポジウム 世界の学生獲得競争から見えてきた日本の課題	
	1075	87 株式会社tyotto ワークショップ 正解のない授業「ProgressTime」 10年後の世界を見据えた、今必要な教育を考えよう		88 日本ポップコーン協会 講演会 ポップコーンのようにどこまでも弾けよう! 食を通じたアクティブラーニングの実践事例	89 塚田祐之 講演会 “ディープフェイク”まで出現ネット時代の「正確な情報」の読み解き方	
	1076	90 Home to Work ワークショップ 学ぶ力、生きる力を育む自立の三角形		91 株式会社COMPASS ワークショップ 講演会 AIによる個別最適化学習で授業に何が起ったか	92 NPO法人ドラマケーション普及センター ワークショップ 5分でできる人間関係(コミュニケーション)作り～楽しみだけで終わらせない「学び」ある場づくり～	
8F	1083	93 授業づくりネットワーク ワークショップ 「学級づくり実践」の今(飯村友和)		94 授業づくりネットワーク ワークショップ 絵本の読み聞かせの実際(石川晋)	95 授業づくりネットワーク ワークショップ シンポジウム「実践者が学校現場で丁寧に考えていること」(佐内信之、飯村、石川)	
	1084	96 一般社団法人 こども発達支援研究会 ワークショップ 講演会 学級経営×特別支援の知識で、全員を育てる学級づくりを学ぼう! ～授業・学級経営で活用できる特別支援の知識～		97 先生の幸せ研究所 ワークショップ 先生の幸せは子ども達の幸せ! 外部コーディネータと行う学校の時間創出ワークショップ	98 古川光弘 ワークショップ 講演会 国語(言語活動)の授業は、工夫次第で、こんなに楽しくなる!	
	1085	99 中島博司(茨城県立並木中等教育学校 校長) ワークショップ 講演会 学力向上と学校改革につながるアクティブ・ラーニング —RBO・TO学習・AALの活用—		100 教養の未来研究所 講演会 石川一郎×矢萩邦彦 対談「教育改革」時代を生きる教師に必要なこととは?	101 一般財団法人 エン人材教育財団 ワークショップ 学校の先生やこれから社会に出る人と一緒に考えたい「働く」ことの本質 —未来の社会を見据えて—	
	1086	102 学校法人 シュタイナー学園 講演会 明暗素描で教師の観る力を育てる		103 自由の森学園 中学校・高等学校 講演会 お互いがお互いから学び合い・育ち合う—新人教師研修の試み	104 日本シュタイナー学校協会 ワークショップ 講演会 シュタイナー教育体験ワーク「低学年の数の学び」	
	1087	105 東京シュレーゲル中学校 講演会 家で育つあり方—ホームスクール部門の取り組み—		106 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎 講演会 不登校のこどもと楽しむ対話「自分で引き受ける」	107 NPO法人フリースクール全国ネットワーク ワークショップ 新しい時代に、新しい学びを!—フリースクールの実践から～	
9F	1092					
	1093	108 株式会社mpi松香フォニックス ワークショップ 講演会 英語4技能は「書く」がHUB ～TAGAKIが目指す英語教育の新たな可能性～		109 NPO法人 いきはぐ ワークショップ なぜ、子どもたちの探究心に火がつかのか?	110 (同)un-Limited School (アンリミテッドスクール) ワークショップ 講演会 本質に帰る「学級経営革命」～人を育てる究極のリーダーシップ	
	1095	111 放課後NPOアフタースクール ワークショップ 学校×地域×企業!放課後ならではの育ちと学び		112 一般社団法人 Fora ワークショップ 「やってくるオープンキャンパス」(学部お試体験授業)	113 名古屋市教育委員会・スタディサブリ教育AI研究所 ワークショップ 講演会 子ども目線で考える不登校学習支援とオンライン教材の活用	
	1096	114 ESN英語教育総合研究会 ワークショップ 講演会 探究あるある行き詰りポイントへの処方箋 ～生徒がイキイキ取り組む探究活動を目指して～		115 ESN英語教育総合研究会 講演会 企業人材から逆算で考える中高生・教師が知るべき社会のこと	116 ESN英語教育総合研究会 講演会 ファクトで見る小学校英語の現状と未来	
10F	1103			117 佐々木綱衛・三浦学苑高等学校 講演会 地域が学校となる!夢と未来を探究する授業	118 探求学習コンソーシアム ワークショップ 探究の鉄人	
	1104	119 鈴木雅幸 講演会 いじめ問題の心理学、その理解と対応		120 認定NPO法人 キーパーソン21 ワークショップ 講演会 わくわくエンジン®が未来をつくる～一人ひとりを活かすキャリア教育～	121 かつ有明中・高等学校 サイエンス科・プロジェクト科 ワークショップ かつ有明の探究学習体験!	
	1105	122 The International School Times 講演会 教育とEducation グローバル化時代に教員・保護者が知るべきこれからの進路選択		123 株式会社 日本パブリックリレーションズ研究所 ワークショップ 中学生・高校生に向けた新時代のテキスト	124 NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク ワークショップ 不登校・かくれ不登校、親・教師の対応は…。～不登校から学ぶ、多様な社会のあり方とは～	
	1106	125 令和の時代の校長改革研究会 講演会 特別支援教育のわかる、できる校長の作り方		126 一般社団法人 読み書き配慮 講演会 世田谷区立桜丘中 西郷改革の脳には特別支援教育の視点あり 合理的配慮は教育の本質を問う	127 一般社団法人 読み書き配慮 講演会 さらに深掘り合理的配慮～読み書き配慮が興す現場革命～	
11F	1114	128 数学ネタ研究会 ワークショップ 「6 Numbers Mystery」[カエル跳びゲームに挑戦!]		129 数学デー ワークショップ 数学デーin未来の先生展	130 日本お笑い数学協会 講演会 タカタ先生のお笑い算数教室	
	1115	131 一般社団法人Think the Earth ワークショップ SDGs for School～SDGsを通じて教室と社会と未来をつなぐ～		134 一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT) ワークショップ 「教員・スクールリーダーに必要な資質・能力とは?」	133 認公益社団法人日本環境教育フォーラム/ジャパンGEMSセンター ワークショップ サステイナブルな学力を育もう!～教科書の“先”をつくる子育てるGEMSのアプローチ	

エレベータは1・6・7・9・11階に停止します

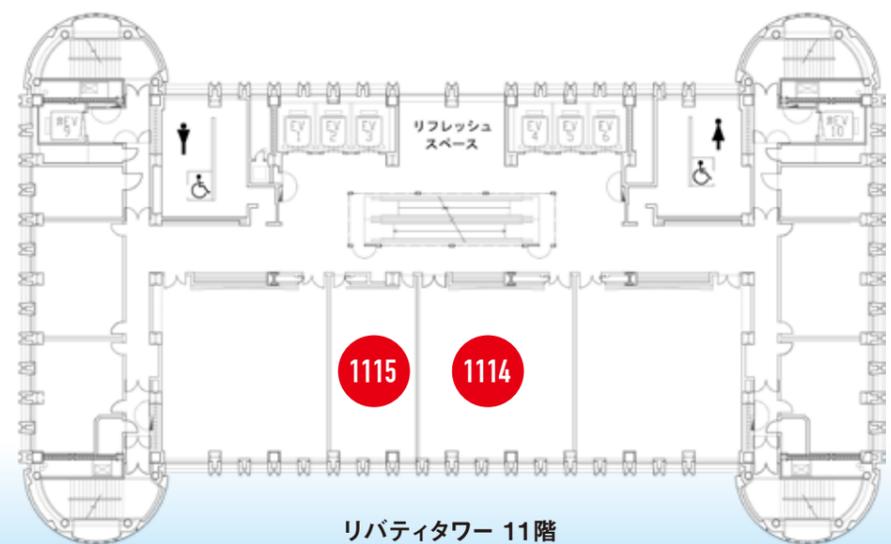




リバティタワー 9階



リバティタワー 10階



リバティタワー 11階

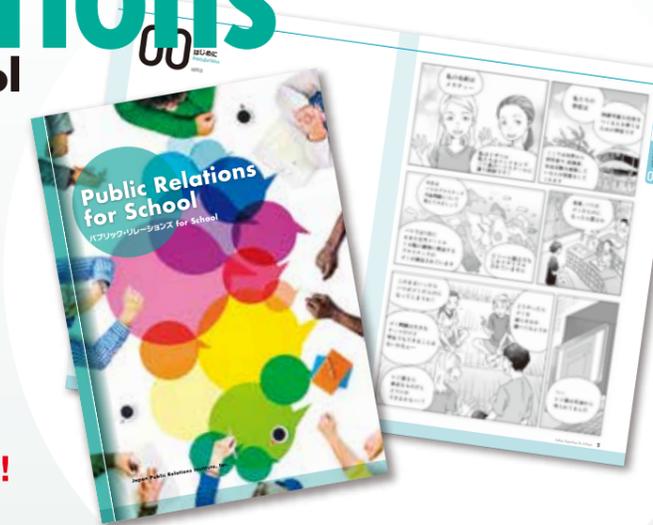
“主体的・対話的で深い学び”を実現! 中高生向け 新時代のテキスト登場!

Public Relations for School

こんなことで、お困りではないですか?

- ☑「アクティブラーニングがうまくいかない」
- ☑「クラスの間関係がよくない」
- ☑「目標を立てられない子が多い」

その悩み、パブリック・リレーションズが解決します!



導入校の声

答えが一つに定まらない問いに対して、自分の意見を持ち、それを人に伝えることができるようにするために、“情報”の授業があると考えています。その授業の題材としてPublic Relations for Schoolは最適なものの一つです。具体的な事例をわかりやすい漫画を読み、そのストーリーの中で“自分だったらこう考える”、“自分だったらこのように行動する”ということを生徒同士で共有することができます。“道徳”、“宗教”、“総合的な探究の時間”などの教科で実践可能な教材となっており、問題解決型学習 (Project Based Learning) の入門書として活用していく予定です。(田園調布雙葉学園教員)

パブリック・リレーションズとは?

『倫理観(みんなが幸せであること)』を基にして、アクティブラーニング・Project Based Learningの基礎・“コミュニケーション”を学びます。『双方向性コミュニケーション(相手のことを考えながら対等に対話を重ねること)』と『自己修正(試行錯誤しながらより良い方向性を決めること)』をベースとしたリレーションズ(関係構築)活動、つまり、“主体的・対話的で深い学び”の基礎となるコミュニケーションスキルです。パブリック・リレーションズは、一部の大学(京都大学経営管理大学院、九州大学ビジネス・スクール、早稲田大学など)の授業でも実施されており、この度より早い段階での教育実施を目的に中学・高校生向けテキストが誕生しました。本テキストは45分6回完結型。マンガを用いた、実社会での事例をもとに、パブリック・リレーションズを学んでいきます!

現場の教員と共同開発!

本テキストは現場の教員と共同開発。授業の組み立てに役立つ発問・指導のポイントをまとめた教師用テキストもございます。

YAMAMOTO TAKAO
山本崇雄



新渡戸文化小中学校・高等学校 英語科教諭/日本パブリックリレーションズ研究所主任研究員 他。検定教科書 NEW CROWN ENGLISH SERIES(三省堂) 編集員。自律した学習者を育てるアクティブラーニングの「教えない授業」を実践。近書に、「教えない授業」の始め方」(アルク、2019年)。

SANTO RYOBU
山藤旅聞



新渡戸文化小中学校・高等学校 生物科教諭/日本パブリックリレーションズ研究所 パブリック・リレーションズ for School アドバイザー 他。持続可能な社会を実現する行動者の育成を目指し、学校の枠を超えたSDGs教育の普及に尽力。国連大学主催の全国ユース環境ネットワークやNHK高校講座の講師も務める。

定期的に無料ワークショップ開催中!

下記URLまたはQRコードより、お申込み下さい。
<https://forms.gle/HNjTnKpHyGeeARtn9>



未来の先生展でも
セミナー実施!

中・高校生に向けた新時代のテキスト

9月15日(日)15時~
1105教室にて

テキスト導入校の先生をお招きし、編集者でもある現役教員とともに、パブリック・リレーションズについて語ります。テキストに興味のある方、パブリック・リレーションズに興味のある方、乞おうご期待! たくさんの方のご参加、お待ちしております!

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

01 カードゲーム「2030SDGs」を授業でやってみよう!

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1061

Transforming Our World, 私たちの世界を変革しよう!これが、SDGsの正式名称です!授業でこのゲームを通じて、生徒たちにグローバル・アジェンダをいかにして、身近な「自分ごと」としてとらえてもらえるか、一緒に考えましょう。ゲームの体験もありますので、ぜひご参加ください

Transforming Our World! This is the official name of the SDGs!

Let's think together about how students can see the global agenda as a familiar "self" through this game in class

There is also a game experience, so please join us

※当日のセッションは英語と日本語の両方で参加できます。



登壇者・団体紹介
Jay KLAPHAKE・Mitsuru TOSHIMA・Kojiro Yano
／カードゲーム「2030SDGs」
お問い合わせ
erichawkinson@gmail.co

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

02 Designing Immersive Learning with ARientation

日時 ● 9月14日 13:30—14:00 会場 ● 1061

ARientationは、学習とエンゲージメント向けの拡張現実プラットフォームです。その目的は、技術的にそれほど傾倒していない生徒や教師がAR拡張コンテンツと環境を作成して共有できるようにすることです。 エリック・ハーキンソンの発案によるものです。 エリック・ハーキンソンは、教育と学習のために、新しいテクノロジーをより多くの人々が利用しやすくなることに取り組んでいる学習未来派です。

ARientation is an augmented reality platform geared towards learning and engagement. The purpose is to allow less technically inclined students and teachers to create and share AR enhanced content and environments. It is the brainchild of Eric Hawkinson, a learning futurist working on making emerging technology more accessible to the masses for teaching and learning.

※当日のセッションは英語と日本語の両方で参加できます。



登壇者・団体紹介
Jay KLAPHAKE・Mitsuru TOSHIMA・Kojiro YANO
／ARientation
お問い合わせ
erichawkinson@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

05 集団を育て、自分の良さを伸ばす生徒主体の学び コーペラティブラーニングの実践を通して

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1064

「みんな違ってみんないい」と言いながら、その扱いに戸惑っていませんか。様々な学校課題にどのように対応していますか。先生ばかり忙しくなっていないですか。私は、社会の仕組み、自助、共助、公助の三助の仕組みを学習の場に生かす、世界90カ国以上で実践されているコーペラティブ・ラーニング(協同学習)に解決策があると思っています。今回は、課題作り5種類に始まり、振り返りまで約50種類の具体的方法と実際の活動動画15種類を見ていただき、その一部を体験しながら、話し合いを深めたいと思っています。考え方をちょっと変えるだけで、アクティブラーニングがこんなにも簡単で、生徒同士がこれほどにも仲良くなれる。そんな夏休み明けがワクワクするような具体的な活動提案をしていきたいと思います。よろしくお祈りします。



登壇者・団体紹介
協同教育カフェ・相模原市立上鶴間中学校
お問い合わせ
guri2punch@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

06 “政治をわかりやすく” POTETOの、 新科目「公共」の挑戦事例

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1064

今回 POTETOは皆さんに、「POTETOの、新科目「公共」の挑戦事例」をお伝えします。「政治をわかりやすく」がスローガンのPOTETO。私たちは高校生をはじめとした若者に、「政治をわかりやすく」伝える授業を、全国述べ3000人に実施してきました。2016年。18歳選挙権の施行によって、高校生にとっての「政治」が変わりました。2022年。6年の時を経て、変化はさらに大きなものとなります。それが新科目「公共」です。高校の「現代社会」に該当する科目として新たに設置された「公共」は、主権者教育の第一目一番地となる科目として、各方面から期待を寄せられています。私たちはこれから、更にスピードを上げ、パワーを増して、この「変化」に挑みます。成功事例だけではなく、失敗事例もたくさんありました。これらすべてを「挑戦事例」と呼ぶならば、POTETOはいま「挑戦事例」にあふれています。現実性への挑戦、すなわちナマモノの政治事象を取扱う授業内容。中立性への挑戦、すなわち議員や自治体と連携した授業作成。多様性への挑戦、すなわち若者のための政治に取り組む他団体との連携。これらへの挑戦の成果と課題を、惜しみなくお伝えします。



登壇者・団体紹介
古井康介・古野香織・野田みどり／株式会社 POTETO Media
お問い合わせ
noda@poteto.media

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

03 Together Learning Research Session

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1061

3 short talks followed by a discussion from the MAVR Research Group MAVR 研究グループによる短いお話を3つお届けします。

① Kojiro Yano 外国語学習とVR

外国語学習、特に英語学習におけるVRの役割について解説し、筆者の最近の取り組みについて紹介する。

② Mitsuru Toshima “OK Google、授業を手伝って!”

1年半前まで全くの素人だったITとは無縁な高校国語教師が無謀にも Google for Education の導入を試みた、あれやこれやの失敗話です

③ Eric Hawkinson and Jay Klaphake

Convenience vs. Privacy - The Surveillance Economy and Schools
現代の情報社会における、便利さ vs プライバシー - 監視資本主義と学校について

※当日のセッションは英語と日本語の両方で参加できます。



登壇者・団体紹介
Jay KLAPHAKE・Mitsuru TOSHIMA・Kojiro Yano
／MAVR研究学会
お問い合わせ
erichawkinson@gmail.co

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

04 躓きを乗り越えるための セーフティネット型キャリア教育

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1064

私たち育て上げネットは、すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会をめざし、若者と社会をつなぐサポートを行っています。

その活動の一環として、若者の不本意な無業化や、社会からの孤立を予防することを目的とした「コネクションズシリーズ」という、セーフティネット型キャリア教育プログラムを企画し、主に高校生を対象に出張授業を提供しています。

その中から今回は、金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」のデモンストラーションを行います。

すべての若者が生きていく土台として、「安心・安全」な生活を送るために必要な情報を持つこと、信頼できる大人に相談するという選択肢を持つこと。

これらの有効性を参加者の皆さんと共有し、若者を孤立させないために必要なことを考える時間になれば幸いです。



登壇者・団体紹介
深谷友美子・横山理恵・川田朋実／認定特定非営利活動法人 育て上げネット
お問い合わせ
kyoiku-toiawase@sodateage.net

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

07 数学・算数をもっと面白く伝える! 数学・算数ネタ研究会

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1065

塾、学校、そして執筆者や教材開発者など立場を超えた「数学」を伝える人同士が語り合い、繋がりあえる場を創ります。

数学・算数の面白さや魅力を伝えるためにも、発信する側の人達がもっと魅力的な伝え方や魅力的な内容を学んでいく必要があるはず。当日の流れとしては、前半は私たちから数学・算数の授業などで使える話をお伝えし、後半は同じような課題意識を持った方々同士でリアルな情報交換と横の繋がりがつくりを、ディスカッションを通して行っていきます。

本イベントを通し、この課題に対して少しでもアプローチし、近い将来、例えば先生同士であればお互いの授業を見学に行けたり数学・算数ネタのノウハウを惜しみなく共有しあえるような、そういった世界観を一緒に作りましょう!



登壇者・団体紹介
横山明日希・高田和典／数学ネタ研究会
お問い合わせ
asukiyokoyama@gail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

08 これから求められる英語教師力

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1065

2022年から使用される高等学校の英語教科書のタイトルが、現行の「コミュニケーション英語」が「英語コミュニケーション」に変更される。最大のポイントは、「コミュニケーションのための英語(English for communication)」の指導から「英語でのコミュニケーション(communication in English)」に強調点を移したところにある。そして「英語コミュニケーション」の要諦は、「活動の中で、活動を通して英語を学ぶ」ということである。この強調点のシフトの波及効果は大きい。生徒は学習者であると同時に表現者になることが期待される。先生も語学教師としての役割に加え、場づくりを行うことができるプロデューサーとしての役割が求められるようになる。よいプロデューサーがいて、よい表現者が生まれるからである。この発表では、これから求められる英語教師の力について考えていきたい。



登壇者・団体紹介
田中茂範・阿部 一／ココネ言語教育研究所
お問い合わせ
stanaka@sfc.keio.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

09 研究倫理教育 体験教室

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1065

「やって良い真似って何だろう」「あとで清書するのはなぜダメなんだろう」ICT教育アプリ「ロイロノート・スクール」を使った、いますぐ使える研究倫理教育について、60分で体験してみませんか。

探究活動や自由研究を行うときのルール、研究倫理のアクティブラーニングについて体験を通してわかりやすく解説します。スポーツでも芸術でも学問でも最初に必要なことはルールを確認することです。「探究活動ってどうすればいいのだろう」という疑問は、ルールを知らないからこそ起こるのです。また、ルールはフェアネス(公正性)のためにも、とても重要です。ICT教育を活用したアクティブラーニングで考えてみましょう。

- ① 研究のルールとは
- ② ICT教育アプリを使って、研究のルールを話し合おう
- ③ 研究のルールの指導法



登壇者・団体紹介
大橋淳史准教授 / 愛媛大学教育学部科学教育
お問い合わせ
ohashi.atsushi.mu@ehime-u.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

10 公立高校における「教育」×「地域」とは。—地域協働でつくる「探究」最前線—

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1065

「開かれた学校」を通り越して「開きすぎた学校」と呼ばれている広島県立大崎海星高等学校。本校は瀬戸内海に浮かぶ離島、大崎上島に位置する島唯一の県立高校です。地方の学校にありがちな多様な子どもたち、多様な進路に対応するために、地域を巻き込んだ学校づくりをはじめ5年。

学校・行政・地域といった文化や考え方の異なる組織や団体が越境してPJを進める時には、認識のズレによる苦悩や葛藤が噴出しますが、今では大人がはじめたPJを生徒主体となり、地域系部活動「みりょくゆうびん局」が高校の活動を牽引しています。

最前線だからこそ感じる地域連携でしか生み出せない価値、そして、課題、今後の展望を赤裸々に語ります。地域はどこも多様だからこそ、答えはありません。「地域」×「教育」実践者、興味のある方は是非ご参加下さい。



登壇者・団体紹介
取釜宏行 / 広島県立大崎海星高等学校
お問い合わせ
h.torikama@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

13 欠けた心の磨き方 —先生自身が自分を知る—

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1073

時代がどう変わろうと、子供たちの人生にかけがえのない時間を残し、幸せに導いていく、ICTではなく教師という人間でないと出せない力の根源を学び、持ち帰っていただきます。授業のやり方ではありません。指導する人間の在り方、それはどこから来るのかという深い学びです。

時代とともに変わる「授業のやり方」や「指導法」というHOWばかりではなく、子供たちの笑顔と成長を引き出す教師の人間としての「在り方」を、綺麗事やもってもらえないような切り口ではなく、新しい角度から考えていきます。グループワークではなく自問自答を促すセルフワークがあります。

保護者も含めて、指導する側が一生持ち合わせるべく、不変の力強いものを得る時間です。



登壇者・団体紹介
全国学習塾協会
お問い合わせ
ando@andojuku.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

14 子どもの強みを育てるポジティブ教育

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1074

「ポジティブ教育」とは、ポジティブ心理学という学問を、教育に応用した手法です。「ウェルビーイングの向上」「レジリエンスの育成」「強みの開発」などを教育カリキュラムの中に取り入れることで、一人ひとりが自分らしく幸せで心豊かな人生を歩めるようサポートする教育方法です。ポジティブ教育の中でも、特に、個々の強みを生かす教育や子育て法は、世界的に注目され、多くの実践・研究が重ねられています。性格的な強みは、本人だけでなく周囲の人にも良い影響を与えます。そして、強みを活用することで、自己肯定感が高まり、学業に良い影響をもたらす、人生に対する充実感が高まると、数多くの研究によって証明されています。今回のワークショップでは、実証研究から生み出された強みを見つける方法、強みを引き出す大人の関わり方など、ワークを通してお伝えします。



登壇者・団体紹介
足立啓美・小林美佐子・吾郷智子 / 一般社団法人 日本ポジティブ教育協会
お問い合わせ
info@j-pea.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

11 自己肯定感と自信がつくワークショップ ~持続的な笑顔と生きる力をもたらす授業をしよう~

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1073

予測困難な時代、あらゆる社会環境や変化に打ち勝てる真の「生きる力」を育むにはどうしたらいいでしょうか。(例えばキャリアを失ったり、学力や仕事の壁にぶつかった時)揺るがない自己肯定感があれば、変化の激しい社会でも乗り越えていくことができます。自分の価値を認め、健全な心を持つことで自己肯定感が高まれば、レジリエンスが強くなり、不登校、ひきこもり、いじめ、うつになりにくくなるからです。むしろ、承認欲求が満たされることで、主体的に何事にも取り組むようになります。そして、相手を尊ぶ人間性を持っていれば、学校や社会で問題行動を起こすことはありません。むしろ人が集まり、十分生き抜くことができます。

ピーススマイルのワークショップ授業はこれを可能にします。「一人一人がどれだけ大切な存在なのか」を座学だけではなく、体感で脳に認めさせるのが強みです。今回は子どもたちが笑顔で楽しみながら、自己肯定感を上げる出前授業の一部を実際に体験していただきます。



登壇者・団体紹介
越智 創 / 特定非営利活動法人 日本ピーススマイル協会
お問い合わせ
h.ochi@p-smile.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

12 子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラム

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1073

オリジナルキャラクターが繰り広げる漫画やストーリーを使った、現代の子どもに求められるメンタルヘルスリテラシー教育とレジリエンスプログラムに関する講演です。京都府を中心に、全国より、今最も必要なプログラムとして実施希望校の問い合わせが多数あります。学校で取り組むために、教員、保健・養護教員、スクールカウンセラー・臨床心理士・公認心理師に向けて研修会も展開しています。本講演では、子どもたちに実施するために必要なこと、また、実施した体験校の様子などを話します。なお、本研究は、京都府精神保健福祉総合センター×同志社大学心理学部の共同研究として、国立研究開発法人科学技術振興機構戦略的創造研究事業「研究開発成果実装プログラム」による研究成果の一部です。



登壇者・団体紹介
村澤孝子・伊藤史織
京都府精神保健福祉総合センター×同志社大学心理学部共同研究チーム
お問い合わせ
shiori.wt@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

15 「あなたのDQはいくつ?」学校と保護者で一緒に高める子ども達のDQ(デジタルインテリジェンス)

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1074

学校へのスマホ持ち込みの議論が巻き起こる中、子ども達はもちろん保護者や学校関係者は、その基礎とも言えるDQ(デジタルインテリジェンス)を身に付けられているだろうか?2018年 DQ Impact レポートによると、「29ヶ国において8~12歳の56%の子どもたちが少なくとも一つ以上のネット上のリスク(ネットいじめ、ゲーム依存症、ネット上の誘惑、ネット上の性的誘惑)に直面している」ということが判明している。今や、子ども達のデジタル世界のリスクを最小化しつつ、チャンスを最大化するためには、学校内での教育だけでなく、保護者とも協力し合う必要がある。本セッションでは、DQ Testのハンズオンや海外事例も交えながら、今DQが必要な背景やそのソリューションについて語る。



登壇者・団体紹介
石山 将(株式会社サイバーフェリックス)・向井崇博(精華小学校)
お問い合わせ
ishiyama@cyber-felix.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

16 「スーパークリエイターがやってくる!君もクリエイターにならないか?」映画試写会&トークショー

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1075

2019年3月2日(土)に大阪府吹田市立東山田小学校で開催された同名の講演会が、100名近くの小学生が参加した素晴らしいものとなりました。自分達と年の近いロールモデルとの出会いを通じての感動を、多くの子供達に届けたいと願い、映画化を致します。自主制作の短編ドキュメンタリー映画です。登場するのは、未踏ジュニア・スーパークリエイター達です。講演会ではお届できなかった、インタビューを通じて個人々々をクローズアップすることもできます。2020年プログラミングが義務教育となり、プログラミングを学習する子供たちが溢れます。こんな映画があれば、そんな子供達に、わかりやすいビジョンを示すことができるはず。[「プログラミングって何なの?」を直接見聞きし体験できる、そんなことを目指した映画です。30分ほどの映画上映の後には、トークショーを開催する予定です。登壇者はお楽しみになってください。

登壇者・団体紹介
こどもプログラミングニュース
お問い合わせ
mizukami@codeaid.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

17 「もしも自分が社長になったら」 ～お店の経営をゲームを使って学んでみよう～

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1074

お金は生きていくうえで、なくてはならないもの。しかし、お金の教育は、学校ではほぼ行われていません。「お金は大切、お金の教育は必要」と思っている、「どのようによつたらいいかわからない」とお困りの先生や親御さんも多いのではないのでしょうか。お金について考えることは「卑しい、タブー」というイメージが強いので、僕は、お金の教育で最初に大事なことは、「楽しい」と感じることでと考えています。そこで、楽しく学べるように「お店の経営を、ゲームやブロックパズルを使って学べる方法」を体験していただきます。

お金と生き方は繋がっています。お金について考えることを通して、子どもたちが「自分はどんな人生を生きたいのか」を自分で考える時間やきっかけになるといいなと思っています。

※可能な方は電卓をお持ちください。



登壇者・団体紹介
渡辺剛徳 / こどものお金の学校
お問い合わせ
watataka1230@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

18 「未来の教室とEdTech研究会」委員と日本最大のプログラミング 教育メディア代表が語る これからの教育と社会の在り方

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1075

上場企業社長と全国の塾協会の会長、会場を巻き込んでのインタラクティブなフリートークから、教室で展開される教育が現実の経済社会の中で実際どう生かされて、どう生かされていないのか、赤裸々に語っていきます。合わせて今の経済社会の潮流と、そこで必要とされる人材像、そのための教育があるべきなどを盛り込んでいきます。また経済産業省「未来の教室とEdTech研究会」委員の安藤氏が、未来の教室がどうなっていくのかと塾の今後の流れ、そして学校も経済社会も塾もシームレスな社会は具体的に今とどう変わるのか?などを話していきます。今すぐ役立つツールやノウハウではなく、白いキャンパスに未来の教育をデザインしていくためのシーズを様々な立場視点の声から学びとってください。



登壇者・団体紹介
安藤大作・森 輝幸 / 公益社団法人 全国学習塾協会
お問い合わせ
info@jja.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

21 教育に応用する「インプロ(即興演劇)」 ワークショップ

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1075

私たちは、「インプロ」という活動を未来の先生展に参加の多くの方に体験していただきたいと思っています。「インプロ」は、台本も何も無い不確実な舞台に立つ即興演劇の俳優が舞台に立つために行っている様々なゲームを教育に応用します。コミュニケーション・コラボレーション・リーダーシップなどについて体験するワーク&リフレクションの活動です。まずは、体験していただいて、その良さ楽しさを知っていただくと嬉しいです。また、本ワークショップには、その場で起こっていることをグラフィックとして記録していく、グラフィックレコーディング(グラレコ)の達人本園大介さんに参加いただけます。インプロ体験と共に、グラレコの現場ものぞいて見ることができると二度おいしい講座になっています。



登壇者・団体紹介
田淵久倫・本園大介 / 岩川光一朗(筑波大学教育研究科・スクールリーダーシップ開発専攻)
お問い合わせ
s1820002@s.tsukuba.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

22 ブロックで学ぶ算数・数学

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1076

中学入試の算数でよく出題される文章題の〇〇算をはじめ、約数倍数の概念、分数や比の考え方、中学以降で学ぶ組合せの数え方、立体の切断問題などについて、ブロックで可視化して手を動かしながら取り組む授業を、小学生中学生を対象に定期的に行ってきました。例えば2,3,5の素数を青、赤、黄色のブロックで表して、60=2×2×3×5という素因数分解を青2個、赤1個、黄色1個のブロックで表現します。このブロックの表現を用いて、2つ以上の整数の最大公約数・最小公倍数を求めする方法について考えます。ほかにも、割合に関する文章題で、未知数や、比で表されているものの具体的にわかっていない数値をブロックで表して問題文の内容を整理したり、面積をブロックで表現することで、かけ算の筆算の原理について考えたりと、状況に応じてブロックの見立て方を変えて、問題の解法の本質に迫ります。今回のワークショップでは、その中のいくつかの話題について、特にわかっているように説明は意外と難しい算数・数学の基本概念を問題形式で取り上げていきます。



登壇者・団体紹介
名塩隆史 / 聖光学院中・高等学校

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

19 授業に使える子ども向けへのヨガ (3歳から12歳、中高生対象)体験クラス

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1075

「健やかな心身のコーディネーション」「自分について考える力」「相手に伝える表現力」Yoga Ed.は、ヨガの実践を通して心身の健康維持と学習支援に取り組む教育プログラムです。1999年サウスセントラル・ロス・アンジェルスで始まり、現在では、米国42州世界16カ国の教育現場で活用されています。社会性と情動の教育と脳ベース学習に基づいたこのプログラムは、勝ち負けのない身体運動であり、学習指導要領・体育教育基準に対応しています。セッションでは、子どもたちの健康で幸福な生活をサポートするために、ライフスキルを身につける身体的・感情的・精神的・社会的な効果を実際に体験します。ヨガの経験は問いません。ヨガマット準備あり、参加対象は3才以上から大人まで。親子または友達、おひとりでも参加可能です。



登壇者・団体紹介
山口有佐・岡崎智美・白井はなこ / YogaEd.JAPAN
お問い合わせ
info@yogaed.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

20 ゲームで楽しく経営の勉強! スマイルゲーム ～ゲーミフィケーションを用いた次世代教育～

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1075

スマイルゲームは経営や経済、お金について楽しみながら本格的に学ぶことのできる教育用ボードゲームです。対象年齢は10歳以上で3人からプレイ可能。小学生でも分かるようにプログラムされているため、知識のない大人や高齢者、要支援者の方でも手軽に始めることができます。ゲーム的な進め方でモチベーションを高める手法はアメリカのビジネス現場でよく使われています。近年は教育的な効果も注目され、ゲーミフィケーション(Gamification)という呼称で盛んに研究がされています。ゲームを通じた疑似体験によって実感を持った経営学習をし、その後座学によりしっかりと知識として定着させます。本セッションでは、最も簡単な「基本プレイ編」をプレイしていただき、さらに「win-winの交渉とは?」という単元の授業を体験していただきます。



登壇者・団体紹介
吉川 亮・阿部 南・留守 敦 / 株式会社リアライズ
お問い合わせ
realize.yamada@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

23 数きつめ模様づくりを通して育む算数・数学の感性 ～T3パズルの授業導入の紹介～

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1076

2020年から施行される学習指導要領の算数科には「美しさ」の学びが追加されたことをご存知でしょうか?予測困難なこれからの時代、人工知能などの技術革新が進んでも、人間が担う判断には「美しさ」が求められるのです。新学習指導要領に例示されるように、数きつめや模様をつくる活動を通して「図形の美しさ」ひいては「数学の美しさ」を学ぶための実践や教材の活用が大切になってきます。今回紹介する「T3パズル」は、一種類の正三角形ピースを沢山並べるシンプルな教材です。子供たちは正三角形形状や表裏の柄を上手に捉えて、自分たちで導き出したコツやルールを駆使して次々と模様を生み出します。子供達と一緒に、見立てや問い立てをしながら「図形の美しさ」を探究する実践について紹介します。



登壇者・団体紹介
荒木義明・天童智也 / 日本テッセレーションデザイン協会
お問い合わせ
yoshiaki.araki@tessellation.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

24 子どもが育つ5つの原則 ——特別支援教育の視点を生かして

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1076

例えば、なかなか話を聞くことができない子がいます。「静かにしなさい」と声をかけても効果がない場合、大きな声で繰り返すという方法しか知らないと、手詰まりとなり、その子を叱るしかありません。叱ることによって関係が悪化し、ますます話を聞かない、聞こうとしない子にしてしまいます。そこで私は、まずほめることによって、関係づくりをスタートすることにしていきます。徐々に厳しいことを言うてもうまくいくようにハードルを上げていくのです。さて、「どうすればそれが可能になるのか?」——その具体例を、著書を基に紹介しながら、それに加える情報を、皆さんにお伝えしたいと思います。意外に、特別支援教育で開発されたノウハウは、通常学級でも使えることがたくさんありました。それを皆さんと共有したいと思います。



登壇者・団体紹介
宮内主斗・白澤孝式・横須賀 篤 / 宮内主斗
お問い合わせ
kmiyauti@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

25 「Compassionate Systems Framework」 紹介ワークショップ

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1076

ボストンのMITで開催されたワークショップ「Introduction to Compassionate Systems Framework」の内容の紹介ワークを行います。EQ（エモーショナル・インテリジェンス）の著者ダニエル・ゴールマンとピーター・センゲは共著「The Triple Focus」の中で21世紀の子どもたちに身に付けてほしい力をまとめています。システム思考xSEL（Social Emotional Learning）を切り口として、国際バカロレア（IB）ネットワークとグローバルに連携しながら、開発してきたのが「Compassionate Systems Framework」です。現在、世界6～8か所にあるパイロット校でさまざまな実践事例を開発中で、IB校に限らず、カナダ、ヨルダン、デンマークなどが導入方法を現在検討しています。今回のワークショップではそのほんの一部をご紹介しながら、日本の教育現場で向き合う皆さんに「Compassionate Systems Framework」について、まずは知っていただく時間を持たせたいと考えています



登壇者・団体紹介
田中理紗・福谷彰鴻 /
Community for the promotion of compassionate systems education
お問い合わせ
tanaka@ariake.kaetsu.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

26 先生と共に創る先生の学校 ～明日からの学びを共に創りませんか？～

日時 ● 9月14日 終日 会場 ● 1081

「学び続ける教師」とは？ 主体的・対話的で深い学びを合言葉に、学習指導要領改訂、大学入試改革等、学校教育現場は大きな変革期を迎えています。こうした背景から、自ら学び、実践の向上・改善を絶えず行う「学び続ける教師」が求められています。一般社団法人Teacher's labはそんな「よりよい学校現場にしたい、児童生徒によりよい未来を歩んでほしい」と願い行動する先生と共に、学校教育現場の発展に貢献することを目指して活動しています。

当日は全ての時間帯で、団体の背景にある想いや使命、「Teacher's school」「未来の先生塾」等事業の紹介、実際に活動しているコーディネーターとの対話を行います。これらを通して、皆様が「未来の先生塾」で得た学びを日常に生かすことができるような場を創りたいと考えています。「明日からの学び」を共に創ってみませんか？



登壇者・団体紹介
一般社団法人 Teacher's lab
お問い合わせ
y.sugiura.3776@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

29 シンポジウム「若手実践者が学校現場でしなやかに 考えていること」(佐内信之、菊地、伊藤、阿部、石川)

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1083

若手実践者が今、学校の真ん中で考えていることに、授業づくりネットワークの理事長、副理事長、事務局局長が迫り、縦横無尽に語り合う中で、フロアからの参加もいただきながら、学校実践の可能性を探ります。



登壇者・団体紹介
阿部隆幸・佐内信之・石川晋・菊地南央・伊藤晃一 / NPO授業づくりネットワーク
お問い合わせ
zvn06113@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

30 学級経営×特別支援の知識で、全員を育てる学級づくりを学ぼう！ ～授業・学級経営で活用できる特別支援の知識～

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1084

学級経営は担任業務における重要度に反して、養成課程ではほぼ経験しません。しかし、現在は特別支援が必要な子どもが増え、学級経営そのものの難易度も上がっています。

「授業に集中できない子」「教室から飛び出してしまおう子」「先生が話していると消しゴムを投げつける子」「朝登校すると、泣き叫んで動かない子」うまく対応できず悩んでしまう先生も多いです。

しかし、先生から見て「困っている子」は実は子ども自身が一番できなくて「困っている子」であり、現在は子どもの困難を見極めて支援の考え方を取り入れた学級経営が求められています。

今回は、そんな特別支援が必要な子を含めて子どもたちを育てるためにはどうすればいいのか？ そんな悩みを特別支援の知識を元に解説し、どう育てていくかを講義とワークを交えて学んでいきたいと思います。



登壇者・団体紹介
9/14：前田智行・梶浦真 9/15：前田智行・森本陽加里・酒井翔麻 / 一般社団法人 子ども発達支援研究会
お問い合わせ
maeda@orangeschool.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

27 「ゲストとつくるコラボ授業」 …教科の授業を社会にひらく(菊地南央with阿部隆幸)

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1083

「授業づくりネットワーク」の理事である菊地南央さんは、小学校におけるコラボレーション授業実践(ゲストティーチャー実践)で知られる若手実践者です。普通の出前授業とは一味違う、菊地実践の具体を初めて丁寧に伝える研修講座です。菊地実践に注目してきた阿部隆幸さんとの講座です。理論と実践の両面から、ゲストティーチャーと共につくる授業の最前線に触れることができます。カリキュラムマネジメント、キャリア教育、社会に開かれた教育課程等に興味のある方は、是非ご参加ください。



登壇者・団体紹介
菊地南央・阿部隆幸 / NPO授業づくりネットワーク
お問い合わせ
zvn06113@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

28 「まなびほぐし」を定時制実践で考える (伊藤晃一 with 石川晋)

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1083

「授業づくりネットワーク」の元副編集長でもある伊藤晃一さんは、定時制高校の実践者として「まなびほぐし」のための様々な授業提案をし続けるユニークな実践者です。伊藤さんの実践群を紹介していただき、さらにNPO授業づくりネットワークの理事長である石川晋さんが対談を通して、その実践の魅力を深掘りします。伊藤実践のエッセンスをぎゅっと学ぶ時間です。



登壇者・団体紹介
伊藤晃一・石川晋 / NPO授業づくりネットワーク
お問い合わせ
zvn06113@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

31 先生の幸せは子ども達の幸せ！ 外部コーディネータと行う学校の時間創出ワークショップ

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1084

過労死ライン越えが小学校で3割、中学校で6割といわれるなど、先生の長時間労働問題は解決に待たなしの状況です。国からも働き方改革に向けたガイドラインが示されるなど、徐々に取り組みは始まっている学校がある一方、「うちは何も変わっていない」「定時退勤日のせいで持ち帰り仕事が増えた」なんていう声も聞こえてきます。先生も一人の人間です。先生が自分たちの働き方を自分たちで決められること、そのために校内で建設的な話し合いができることから、学校の長時間労働問題の改善、そして先生の幸せは始まります。

この企画では、先生方の対話から仕事時間の見直しと有効活用を実現していくこと、それを外部コーディネータがサポートしていくことのご紹介し、学校で行う時間創出のワークショップを体験していただきます。



登壇者・団体紹介
遠藤崇之 / 先生の幸せ研究所
お問い合わせ
taka.endoh77@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

32 子どもが主体的に動く「学級経営の基礎・基本」

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1084

「学級経営」の実践は、大学でも現場でも学ぶ機会が少なく、「他の人の実践を見て学ぶ」ことが多いでしょう。

しかし、学ぶ側に見る視点がないと、「子どもが主体的に動いてすごい」「自分もこのような実践がしたい」という憧れは抱くけど、実際に自分の実践に何をどう活かせるのか、という学びは難しいように思います。

本プログラムでは、学級担任なら必ず指導する「朝の会」「給食」「掃除」に焦点を当て、子どもたちが楽しく、主体的に、効率的に学習する方法について、私が接してきた子どもの具体的な姿をもとにご紹介します。



登壇者・団体紹介
千葉教生 / 先生のための教育事典 EDUPEDIA
お問い合わせ
yasima3@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

33 シュタイナー教育体験ワーク 「低学年の文字の導入」

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1086

クレヨンを使ったワークショップを中心に模擬授業とシュタイナー教育の紹介を行います。

具象的なイメージと物語の豊かな体験から、次第に抽象的な文字が導かれていく。そんな人間の歩みを追体験する文字の学びを通して、シュタイナー教育のエッセンスをお伝えしたいと思います。

講師は横浜シュタイナー学園最上級学年である現9年生(中学3年生)クラス担任の森田修です。



登壇者・団体紹介
森田 修 / 特定非営利活動法人 横浜シュタイナー学園
お問い合わせ
jimui@yokohama-steiner.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

34 教師が自由であることについて考える

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1086

独自の理念を土台として創立した自由の森学園。授業づくりを軸とした学校づくりを続け35年になります。自由な校風であることは知られていますが、「自由」を校名に掲げる本質的な意味は「教師にとっての自由」にあると考えています。主体的に考え行動する生徒を育てる教育は教師自身の姿勢が前提です。教師集団の一員でありつつ、主体的創造的な教育活動がどうして必要か、どのようにそれが実践されているのか、学園の運営を通して紹介し、参加するみなさんと議論してみたいと思います。



登壇者・団体紹介
鬼沢真之 / 自由の森学園中学校・高等学校
お問い合わせ
oni516@sc.dcn.ne.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

37 フリースクールって何？ 通う子どもとスタッフに聞いちゃおう！

日時 ● 9月14日 13:00—14:00 会場 ● 1087

不登校の子ども達の居場所と育ち・学びを支えているのがフリースクール。不登校児童生徒が調査を始めてから最多となる14万4000人を超え、社会におけるフリースクールの注目度も上がってきています。その結果、皆さんもフリースクールという言葉に耳にする機会も多くなってきているのではないのでしょうか？

しかし、フリースクールの数は全国で400～500か所程度しかなく、実際にどのようなことをしているか？フリースクールって何だろう？というのが皆さんの中の疑問でもあると思います。

そこで本企画では、その疑問を話し合う対話の時間を設定します。参加者と、フリースクールで育った子どもたちと、そこで働くスタッフで「フリースクールって何？」というテーマでそれぞれ思う事を、話し合っていきませんか？一方的に話を聞かせるのではなく、思いや気持ちのキャッチボールの時間を持つという事が、フリースクールっぽさを表しているともいえる企画です。



登壇者・団体紹介
前北 海・江川和弥 / NPO法人フリースクール全国ネットワーク
お問い合わせ
umikeru@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

38 多様な学びと普通教育機会確保法

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1087

もう学校復帰が前提ではありません。普通教育機会確保法(義務教育の段階における普通教育に相当する教育機会の確保に関する法律)を知ってください！登校拒否・不登校への調査が1966年に始まり、約50年たちました。80年から90年代は激増し昨年の調査では最多となる14万4千人もの子どもが不登校状態にあります。しかしながら長い間不登校は理解されませんでした。「子どもは学校に行きたくらい」「学校に行けないのは普通じゃない」「怠け」「弱い」「心の病」と問題視され、国の不登校対策は、学校復帰が前提でした。それは、多くの子どもが大変苦しい思いをしてきました。不登校の親の会や、フリースクール等では、学校復帰一辺倒ではない支援を求め、小さな実践を積み重ねながら子どもに沿った成長や学びを支援してきました。そのような草の根的な活動を経て2014年ごろから、ようやく国の政策に変化がみられるようになり、2016年12月には個々の状況に合わせた不登校支援や休みの必要性や学校外での学びの重要性を認めた法律ができました。本企画では、普通教育機会確保法を求めた団体でもある、NPO法人フリースクール全国ネットワークがこの法律の概要説明や、各地でどうやって法律を活かしていくかをお話していきます。後半には全体でのセッションもあります。



登壇者・団体紹介
奥地圭子 / NPO法人フリースクール全国ネットワーク
お問い合わせ
umikeru@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

35 「民主的に生きる人を育て」学び場のつくり方

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1086

子どもが意欲的に学習に取り組み、主体性を持って自分の意志で学習を選択し、対話の中で能動的に活動しながら学び、その成果を活用して社会に貢献していく。そのきっかけとなるような学びの場を作りたいという方におススメのワークショップです。このワークショップでは、箕面こどもの森学園のスタッフが子どもたちと向き合い、自分自身と向き合う中で見えてきたものを、みなさんにお伝えし、一緒に深めていきます。

キーワードは、自己肯定感、自己決定、対話、ESDです。

ご関心のある方は、ぜひご参加ください。



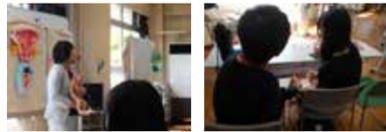
登壇者・団体紹介
藤田美保 / 認定NPO法人 箕面(みのお)こどもの森学園
お問い合わせ
info@kodomonono-mori.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

36 “子どもが創る子どもと創る学校”の 性教育実践報告

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1087

2007年に開校した、教育課程特例校です。不登校の子ども対象の私立中学校です。(不登校特例校認定)本校は建学の精神に生命(いのち)を大切にすることを掲げています。その建学の精神のもと、性講座に取り組んできました。初年度は毎回講師を依頼していましたが、2011年度から保健部会が中心となり性講座の年間計画を立て、本校スタッフが性について子ども達に話をきて本年度で9年目の取り組みとなります。内容を研究して意見交換をしたり、毎回振り返りをしたりしながら丁寧に取り組みを積み上げてきました。現在は、年間6回、3年間で18回性講座を聞く機会を設けています。授業は、学年別で受ける授業と多学年混同の各クラスで受ける授業、全生徒で受ける授業の3種類に分かれ、それぞれのコミュニティに合わせた内容を吟味しています。子ども達は、最初は抵抗があるものの、徐々に慣れて落ち着いて聞くことができるようになってきます。3年生になると、考えがとても深くなっていたり、性に対して肯定的になったりして、感想をびっしり書いてくれる子どもも少なくありません。子ども達の感想もご紹介したいと考えております。



登壇者・団体紹介
西野恵子・赤木琢哉・角 絵里子 / 東京シュレーゲル中学校
お問い合わせ
info@shuregakuen.ed.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

39 オルタナティブ大学？ デモクラティック大学って何？

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1087

生き難さを当事者研究で解体しつつ、人や社会との自分なりのつながりを試行錯誤し、自分にとっての特別な関心を見つけ、自分のライフスタイルを模索し、実現への道筋を探り、一人ひとりが自分の生き方を創っているオルタナティブ大学、デモクラティック大学というNPOの大学があります。日本ではまだ一つしかないかもしれませんが、世界では少しずつ増えてきており、注目も高まっています。

オルタナティブ大学、デモクラティック大学のシュレーゲル大学の実践を紹介し、どんな当事者研究をしているのか、どんな「自分から始まる学び」をしているのか、オルタナティブ大学、デモクラティック大学の世界の動向についてもご紹介します。



登壇者・団体紹介
フリースクール全国ネットワーク
お問い合わせ
univ@shure.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

40 ICT×Creative×Education! 新しい学びを体験しよう! Vol.1 ～VIVIWARE Cellで、ものづくりのアイデアを手軽に!～

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1091

SOZO.Ed(ソゾウエド)は、東京都内を中心とした「ICT」「Creative」「Education」をキーワードに、都内の小学校から高校教員を中心に結成したProfessional Learning Communityです。

現在急速に進歩をとげるテクノロジーの活用は今後の子どもたちの学びに必須であり、教育現場でも新たな授業デザインやアイデアが求められています。こうした中で、SOZO.Edでは、メンバーの実践に関する情報交換会に加え、企業や団体等とコラボしたテクノロジー体験会、公共施設や学校と連携した大人や子ども向けのワークショップに取り組んでいます。

このワークショップでは、SOZO.Edの取り組み紹介に加え、実際にワークショップイベントでコラボレーションしたVIVITA株式会社のクルーをお迎えし、VIVITAが開発する、ものづくりのアイデアを手軽に実現するためのプロトタイプツール「VIVIWARE Cell」の体験をします。



登壇者・団体紹介
VIVITA/SOZO.Ed
お問い合わせ
uske.12@gmail.com



シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

41 ICT×Creative×Education! 新しい学びを体験しよう! Vol.② ~楽器アプリで驚きの仕掛けをつくりだせ!~

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1091

このワークショップでは、SOZO.Edの取り組み紹介に加え、実際にワークショップイベントでコラボレーションした新世代楽器「KAGURA」を体験します。「KAGURA」は、自由に体を動かすだけで演奏できる、新しい楽器アプリ。カメラ画像処理による革新的なインターフェースを備えており、簡単操作でオリジナルの楽曲も作ることも可能です。必要なのはパソコンとWebカメラだけ。このワークショップでは、そんな新世代楽器「KAGURA」の基本的な操作方法を学ぶとともに、「音楽制作に縛られない」仕掛けづくりにチャレンジします。「何も無いはずなのに、音が鳴る!?」「歩いているだけなのにメロディが聞こえる!?」会場内にどんな音しかけるのか、「見えないSwitch」をどこにおくのか。アイデアはあなた次第!「KAGURA」をつかって、他の人があっと驚かしかけをつくりましょう!!



登壇者・団体紹介
しくみデザイン 中村俊介 / SOZO.Ed
お問い合わせ
uske.12@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

42 ICT×Creative×Education! 新しい学びを体験しよう! Vol.③ ~未来を創る子どもたちに「創造的プログラミング」を!~

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1091

このワークショップでは、SOZO.Edの取り組み紹介に加え、実際にワークショップイベントでコラボレーションした創造的プログラミングアプリ「Springin'」を体験します。「Springin'」は、右脳と左脳を同時に鍛えて人間の「創造力」を引き出す創造的プログラミングアプリ。直感的な操作で、数分あれば自分だけのゲームやアプリをつくることができます。必要なのはiPadだけ。このワークショップでは、そんな創造的プログラミングアプリ「Springin'」の基本的な操作方法を学ぶとともに、今すぐに学校現場で取り入れることのできるノウハウを参加者みなさまにお伝えします!



登壇者・団体紹介
しくみデザイン 中村俊介 / SOZO.Ed
お問い合わせ
uske.12@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

45 子ども達に伝えたい 国際人としてのマナー (洋食編)

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1095

マナーの本質は「やさしさを形にする」ことです。生活のどのようなシーンにもマナーが必要です。特に食事は、20才までに2万回しています。良くても悪くても、食べ方に育ち方が表れてしまいます。次代を担う子ども達が、一生懸命英語を学んでも、海外の人と食事を共にしたときに、評価が下がっては気の毒です。そこで、新しく開発した教材を使い、レストランやホテルに行かなくても覚えらるる洋食のマナーを伝えます。

①アクティブラーニング「なぜ世界中のどこにもマナーがあり、なぜ人間社会にはマナーが必要なのか」を考える。②欧米式と日本式の食事の意識の違い。③食事のマナー (理由を説明しますので、後に子ども達に伝えても子どもも納得) ④着席する前にすること(エスコートも含めて) ⑤乾杯とナプキン・ナイフ・フォーク・スプーンの使い方 ⑥中座・退席 ⑦教室で使える!子ども達の心に響くマナーを伝えるコツを覚えていただきます。⑧日本人として覚えておきたいマナー ⑨国際人として覚えておきたいマナー ⑩質疑応答



登壇者・団体紹介
田中ゆり子・岡部達昭・村上智美 / 一般社団法人 ジュニアマナーズ協会
お問い合わせ
kodomo@junior-manners.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

46 問いづくりQFT+(プラス)体験ワークショップ

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1095

アメリカで開発された問いづくりメソッド QFT(Question Formulation Technique)を体験するワークショップを開催します。QFTはその一連のプロセスで発散思考、収束思考、メタ認知思考の3つの思考を鍛えることが期待できる学びのメソッドです。2017年未来の先生展では問いをつくることまでを体験いただきました。今回は大事な問いの掘り下げ方や問いを立てるにあたっての焦点(テーマ)の定め方についてもご紹介いたします。



登壇者・団体紹介
特定非営利活動法人 ハテナソン共創ラボ
お問い合わせ
hatenathon.office@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

43 教育の「不易と流行」

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1093

数十年の間、日本の学校に受け継がれる実践と、その根底に流れ続ける“哲学”。著書だけでなく様々なメディアで発信するSNS世代が、そのノブンを受け取る。時代がどれだけ変わろうとも、学校や教師が忘れてはならない本質や信念は何か。子どもたちと全身全霊で対峙する実践家たちが語り合う、教育のこれまでとこれから。(プログラム)

- ・企画の趣旨説明・EDUPEDIAの紹介
- ・各先生の実践・実践の根底にある教育哲学とは(基調講演)
- ・各先生のこれまでの実践についての紹介
- ・その実践の下となった教育哲学・各先生方の教育観について
- ・教育の不易と流行(パネルディスカッション)
- ・時代がどれだけ変化しても学校や教師が忘れてはいけない教育の本質や信念について
- ・時代が変化してからこそ学校や教員が意識しなければならないことについて
- ・会場からの質疑応答



登壇者・団体紹介
陸山英男・野口芳宏・葛原祥太 / 先生のための教育事典 EDUPEDIA
お問い合わせ
t.mori@roje.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

44 道徳教育はどうあるべきか? 教科化・評価・教科書を点検する

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1063

道徳教育は、「考え、議論する道徳」という主眼のもとで教科化された。本シンポジウムは、大学で研究され教育される倫理学・道徳思想と、初等中等教育の現場で行われている道徳教育のギャップを埋め、あるべき道徳の教育とはどのようなものかを考えることを目的としたい。とりわけ注目したいのが、道徳的発達をどう評価するか、そしてどのような教材が「考え、議論する道徳」にふさわしいのかという問題である。倉本香は、倫理学の立場から道徳指導法の現状について提議する。森田美芽は、宗教教育と道徳の関係について論じる。西野真由美は、道徳教育の狙いと評価、教科書について論じる。久下谷明ほかは、お茶の水女子大学附属小学校でこの4年間実施された対話型の哲学教育である「てつがく」の試みから、道徳教育のあり方について現場の視点から報告をする。



登壇者・団体紹介
倉本 香・森田美芽・西野真由美・河野哲也・久下谷明
/ 日本学術会議哲学委員会哲学・倫理・宗教教育分科会
お問い合わせ
VYQ05706@nifty.com



シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

47 Googleに負けて思い知った、日本の教育に足りないもの ~日本人は世界で活躍できるチャンスがある~

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1095

「世界で活躍したい、世界を変えたい」と思う高校生がいても、その思いを実現する進路を選ばない。「何のために大学で学ぶのか?」を子どもに説明できない保護者。10年前、日本一のwebアクセス解析サービスを展開しながらもGoogleの台頭でNTTグループに事業売却をした経験があります。「英語ができないエンジニアでは世界一になれない」ことを知りました。家庭の経済事情や情報不足のため、世界の高校生と平等な進路選択ができない日本。家庭の経済格差によらない、本人の意思があれば大きなチャンスを掴めるキリロム工科大学を設立した大きな理由です。私には大学生の娘・息子が3人いるので、子どもの進路の悩みや不安は私も経験しています。みなさんの生徒さん、お子さんが世界で活躍できる学びについて、お話しをさせてください。



登壇者・団体紹介
猪塚武 / キリロム工科大学 理事長
お問い合わせ
wakako.arisawa@kit.edu.kh

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

48 フィンランドから学ぶ、これからの時代を生きる 子どもたちへ「働く」と「学ぶ」を結ぶ教育とは?

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1095

子どもの未来を想うとき「自分らしく、幸せに生きて欲しい」という願いを教育に関わるみなさん、保護者の皆さんはお持ちではないでしょうか? フィンランドの先生に「学校は何のためにあるか?」と聞くと「一人ひとりが幸せになるため」と答えます。そのためどのような教育を行っているのでしょうか?さらに、フィンランドの教育には「働く」と「学ぶ」仕掛けもたくさん。複数回の視察とフィンランド最大の教育イベントEDUCAでみてきたフィンランドの教育の今についてお話をさせていただきます。また、講師が企業の採用、育成の領域で長年「キャリア領域」に働き続けてきた見聞も交えながら、「働く」と「学ぶ」を結ぶ教育についてみなさんとワークを通じて考える時間も設けますので、一緒に自分なりの解を考えましょう。



登壇者・団体紹介
みらいのオトナ実験室 (cokowill)
お問い合わせ
eri.samukawa@cokowill.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

49 国際バカロレア入門 初級編

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1096

最近、耳にしたり目にしたりの国際バカロレア (IB) って何?とお思いの国際バカロレア初級者の方向けに、国際バカロレアのご紹介を行います。日本でIBというところの場合、高校2年生3年生に該当するディプロマプログラムのことをさして、英語が出来るようになるもの、外国の大学に進学するためのものといった認識がされていますが、IBには3歳~12歳を対象とする初等教育プログラム (PYP) ・11歳~16歳を対象とする中等教育プログラム (MYP) ・16歳~19歳を対象とするディプロマプログラム (DP) ・また16歳~19歳を対象とするキャリアプログラム (IBCC) があり、PYPやMYPは日本語でも行うことが出来、DPも履修する6つの科目のうち4つを日本語で行うことが出来ます。また、DPは英語のみならずフランス語、スペイン語も公用の言語です。では、IBの何が注目されているのでしょうか? IBの概要から、長所・短所、具体的な授業の内容の紹介などを含めて、日本の文脈でお話し致します。(本講座は国際バカロレア機構の公認ではございません。)



登壇者・団体紹介
福島浩介 / ESN英語教育総合研究会
お問い合わせ
hiroshi.takehana@nellies.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

50 国際バカロレア入門 中級編

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1096

国際バカロレア中級者の方向けに、国際バカロレアの16歳~19歳を対象とするディプロマプログラム (DP、日本では高校2~3年次) の前段階である高校1年生に、その導入として行われている実際の授業を体験していただきます。一条校 (所謂、日本の学校) の高等学校で、DPを行う場合、中学3年生までは従来の日本の中学校を卒業して高校に入学する生徒諸君に1年生の1年間で、IBの授業を受けるレディネスをつけてもらう必要があります。では、実際、どんな授業が行われているのかを国内DP校の先生方に紹介してもらいます。ご自分の学習の経験と照らし合わせると、その共通点も、違いも、長所も、短所も明らかになるのではないのでしょうか? どうぞお越しください。(本講座は国際バカロレア機構の公認ではございません。)



登壇者・団体紹介
本弓康之・武藤哲司 / ESN英語教育総合研究会
お問い合わせ
hiroshi.takehana@nellies.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

53 学びや対話が深まる「問い」の作り方講座

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1103

アクティブ・ラーニング型の授業において、ポストイットやタブレットを使ってグループディスカッションを実践したり、ただ「Why」だけを問い続けていても、対話や学びが深まるとは限りません。参加者一人ひとりの「違い」が力になり、コミュニケーションが活発化する場には「良い問い」が不可欠だと考えます。では「良質な問い」と「機能しない問い」の違いは、どこにあるのでしょうか? そこで本プログラムは、「場がフリーズせず活性化する問いとは?」「良質な問いと機能しない問いの差は?」「問いを構造的にデザインするには?」などの視点で、対話や学びが深まる「問い」を構造的にデザインするポイントについて、ワークショップ形式で考えていきます。



登壇者・団体紹介
井澤友那 / とも国連環境会議推進協会
お問い合わせ
tomo16@junec.gr.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

54 お笑い芸人が教える! 「笑って学ぶSDGs」

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1103

「笑って学ぶ! SDGs」は、オリジナルランプなどを使ってSDGsを楽しく学べる教育エンターテインメント授業。お笑い芸人が講師役を務め、参加者を巻き込む印象的な授業です。今回は今話題の国連が定めた17の目標、SDGsを学びます。特にワークショップでは、笑下村塾オリジナルの「SDGsババ抜きカードゲーム」に挑戦していただきます。通常のババ抜きのゲーム性に加え、SDGsに即したアクションを取り入れることで世界の課題、そして自分たちが明日からできることを身につけていただきます。



登壇者・団体紹介
相川美菜子 / 株式会社 笑下村塾
お問い合わせ
infotaka7@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

51 国際バカロレア入門 上級編

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1096

国際バカロレア上級者の方向けに、国際バカロレアの16歳~19歳を対象とするディプロマプログラム (DP、日本では高校2~3年次) の実際の授業を体験していただきます。IBDPでは、どんな授業が行われているのかを国内DP校の先生方に紹介してもらい、それをご自分の学習の経験と照らし合わせると、その共通点も、違いも、長所も、短所も明らかになるのではないのでしょうか? どうぞお越しください。(本講座は国際バカロレア機構の公認ではございません。)



登壇者・団体紹介
ダッタ・シャミ・武藤哲司 / ESN英語教育総合研究会
お問い合わせ
hiroshi.takehana@nellies.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

52 国際バカロレア・コーディネーター鼎談

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1096

国際バカロレアの各プログラムを申請、認可、実施する際にはコーディネーターを置くことが必須で、その役割はプログラム全体を俯瞰し、そのとりまとめ、調整、指導など大変重要な役割となります。一条校 (いわゆる日本の学校) 初等教育プログラム (=PYP 日本では幼稚園から小学校に相当)、中等教育プログラム (=MYP 同中学から高校1年) のコーディネーターとIB校認定の際のアドバイザー経験者を招いて、鼎談の形で、一般の一条校との差異、プログラムの長所・短所、また裏話など、授業の紹介とはまた別の視点から国際バカロレアについて四方山話をお聞きいただけます。国際バカロレアというプログラムを知っていただき、判断していただくにはとても良い機会だと思います。(本講座は国際バカロレア機構の公認ではございません。)



登壇者・団体紹介
ダッタ・シャミ・齋藤真実・前田紘平 / ESN英語教育総合研究会
お問い合わせ
hiroshi.takehana@nellies.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

55 学校は変えられる! 先生、生徒自らが主体となって学校現場の課題解決に取り組む手法

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1103

偏差値教育からGlobal教育へ。まさに教育乱世。学校は変わるのか? 学校の主体は誰なのかと考えた時に学校が変わる事を期待するより自ら変える力になる。Hero Makersは自らチェンジメーカーの自覚を持ち、本質的な意味で子供たち中心に考え、子供たちとの共創によって社会変革を実現していく。そんな「未来の先生」を育成するための超実践型プログラム。MITのアントレプレナーシップメソッド「24 steps」をベースとしてプロジェクトを進め、起業家的なマインドセットを身につけていく事で、参加教員自身がプロジェクトオーナーとして、実際の学校現場の問題解決に取り組み、探究的にチェンジメーカーとしての知恵や経験を獲得していきます。そうやってチェンジメーカーとなった先生とそれに賛同した先生、変革を望む生徒、そして彼らを後押しする外部の教育ファシリテーターとで学内に5m改革を進める事で学校改革を推進して行きます。



登壇者・団体紹介
白川寧々・錦木 稔 / 学校の先生達 / タクトピア株式会社
お問い合わせ
keiko@taktopia.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

56 「世界のダンス教室」 ~体と心を動かして、楽しく世界を学ぼう!~

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1104

ブラジルのノリノリなサンバ、リズムカルなアフリカダンス・世界各国の音楽やダンスを中心とした様々な文化に触れながら「世界一周」をしようというテーマの体感型プログラムを提供しています。ダンスだけではなく、世界地図や国旗の解説タイム、世界の文化に関するクイズの時間も大人気! 学童クラブや特別支援学級での導入はもちろん、オリンピック・パラリンピック教育として、主に都内の小学校での開催実績が多数ございます。私たちが大切にしていることは、座学で知識を詰め込むのではなく、思い切り体を動かし、楽しさをベースにしなが異文化に関心を持つ過程を大切にアクティブラーニングの場を創ること。子どもたちが外の世界に興味を持つきっかけをたくさん散りばめながら、自分を思い切り表現する楽しさを感じられる時間をお届けします! 海外経験豊富な認定ファシリテーターが授業を行うため、世界のリアルな体験もお伝えします。どうぞお気軽にご来場ください。



登壇者・団体紹介
北野 三保子・上原 紗英 / NPO法人コモンビート
お問い合わせ
school@commonbeat.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

57 エデュカソン®で創ろう! 僕立・私(わたし)立の夢の学校

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1104

シンギュラリティ、サステナビリティ、グローバル化、デジタル化、超成熟化… Post Truth時代の教育とは、どのような姿をしているのでしょうか? それは、実社会に生きる私たちこそが一番関わっているはず。教育関係者任せにせず、保護者として受益者であり、かつ主体的な生涯学習者として当事者でもある私たち一人ひとりが、考え、つながり、動かなければなりません。昨年よりさらにパワーアップしたエデュカソン®で、従来の延長にない新たな「学校」を自らデザインしてみませんか。本セッションでは90分の短縮版で、エデュカソン®の可能性を体験していただきます。児童・生徒・学生のみならず、保護者のみなさん、ぜひふるってご参加ください。



登壇者・団体紹介
太田垣淳一・杉浦直樹・秦拓朗 /
DEAD TEACHERS SOCIETY (デッド・ティーチャーズ・ソサエティ)
お問い合わせ
deadteacherssociety@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

58 平成時代に落ちた人材の処方箋 ～企業の人材育成から逆算して考える～

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1104

2008年より「アジア新興国の社会課題解決×問題解決力教育」を掲げ、実践型のビジネススクールとしてPBL型のMoGを提供してきたvery50。2019年6月で10年目を迎え、約1,300人以上の大学生～社会人の人材育成に関わってまいりました。2016年より中高生へのMOG提供を開始し、約400名弱の高校生がアジア新興国の課題解決に挑んできました。その経験を基に「先生が知るべき大切なこと」をお伝えしたいと思います。

- (内容一部)
- ・企業の現場における人材の課題概論
 - ・行動からしか生まれぬ問題解決
 - ・3K?の国=アジア・アフリカを怖がる教育現場
 - ・10年後の生徒を追わない理由
 - ・教師の給与価値は?
- 先生方だけではなく社会全体で捉えるべき課題の
“人材育成”について見直す機会にします。



登壇者・団体紹介
菅谷亮介・谷弘 望・中山諒一郎・渡邊紗彩 / NPO法人very50
お問い合わせ
ryoichiro.n@very50.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

59 ワールド・カフェを学ぶ ～成功のための7つのポイント～

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1104

ワールド・カフェとは、カフェのようなリラックスできる環境で、メンバーの組み合わせを変えながら、テーマ(問い)に集中して、4～5人の少人数での会話を重ねていくことにより、集合的な気づきが得られる会話の手法です。日本には約10年前に紹介され、ビジネス界や地域コミュニティ、医療現場、など幅広い分野で活用されています。教育分野では、生徒と教師、保護者による対話の場や教師の相互研鑽の場などで活用されています。

ワールド・カフェは単純な手法に見えますが、その本質を理解せずに開催すると、十分に良さが発揮されません。そこで、今回は、ワールド・カフェの基本哲学とプロセスを解説する第1部と、ワールド・カフェを実際に体験する第2部とを通じて、効果的なワールドカフェの企画と進行のための基本を習得することを目指します。



登壇者・団体紹介
香取一昭・岡本行正・楠岡かおる / 毎日がワールド・カフェ
お問い合わせ
k.katori@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

60 教科書をフル活用する新しい道徳指導法 ～「道徳読み」

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1105

道徳が「特別の教科道徳」として教科化され、教科書を使用するようになりました。しかし教科書を読み、手引き通りにやっても、子ども達の反応が鈍く授業の手応えを感じないという先生方の声を聞きます。少しでも子ども達が興味を示してくれるよう、資料を作成したり、凝った授業にしたりしようと思うのだが、実際にはなかなか準備の時間がとれない…。そうした悩みを解決するのが、「道徳読み」という手法です。「道徳読み」には特別な準備は不用。教科書をフル活用して、初任者からベテランまでだれでも手応えのある授業ができる。子ども達も自分の成長を実感し、道徳の時間を楽しみに待つようになる。その具体的な方法を模擬授業を通して具体的に示します。



登壇者・団体紹介
「道徳読み」研究会千葉支部
お問い合わせ
mmmtakizawa@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

61 おはなしワクチン

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1105

「おはなしワクチン」は、この世から不登校をなくすセミナー活動です。セミナーでお話しするのは主に2つ。1つは法的に見て「不登校」が問題ではないこと。もう1つは「サドベリー」や「シュタイナー」「イェナプラン」などの多様な学びが選べる世の中になっていること。学校復帰を目指すだけでなく、多様な学びを選択することで、不登校を解消していくことが狙いです。当日は簡単なワークショップを交えて、みなさんの意見や感想をうかがいながら進行していきます。



登壇者・団体紹介
養田雅之
お問い合わせ
minoda@minodabunan.co.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

63 未来をつくる「変態思考力」ラボ

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1105

いま社会ではグローバル化・少子高齢化が急速に進んでおり、AIや仮想通貨などの技術革新も目を見張るものがあります。この激変かつ複雑化していく社会の中で、自分やコミュニティを柔軟に変態化させていくために、必要な「思考力」を「変態思考力」と名付けました。この「変態思考力」を高めるためのラボを豪華変態ファンリレーター陣で実施します。

- ① 井本陽久 (いもいも代表・栄光学園数学講師・「いま、ここで輝く」の主人公いもいも)
 - ② 長谷悠滋 (次世代教育のテラス株) 現役プログラマー・教育デザイナー・元役者)
 - ③ 児浦良裕 (ドの会代表・聖学院数学情報教諭・LEGO®SERIOUSPLAY®トレーニング修了認定ファンリレーター)
- それぞれのファンリレーターが「変態思考力」を高めるラボをつくります。前提知識に左右されず、楽しく自由に没頭しながら思考することができます。さあ、皆さんも自分を変態させていきましょう!



登壇者・団体紹介
井本陽久・長谷悠滋・児浦良裕 / 未来の教育をつくる「ドの会」
お問い合わせ
kourayossy16@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

62 情報発信をしない先生の未来は奴隷となる!

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1105

eポートフォリオがはじまりました。高校生が日常の活動の様子を入力して、学校は、成績など評価に関する情報を入力することにより、生徒一人一人のビッグデータが構築されます。いよいよ高校生が高校時代に何を学んだかが評価される素晴らしい時代がやってきます。高校生は、入試のための勉強ではなく、体験と経験に基づく深い学びを体感する価値が正しく認められる時代がやってくると確信します。しかしその反面ビッグデータを逆に活用すると、先生一人ひとりの実力や取り組みを数値化できる日が到来します。そんな時代に未来の先生方は、何に備え、生徒とどんな関わり方を、インターネット技術を活用して何を発信するのが理想的な教育活動であるかを解説いたします。お楽しみください!



登壇者・団体紹介
カリキュラム株式会社 一般社団法人鉄道模型コンテスト
お問い合わせ
thomas2008gijyutu@yahoo.co.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

64 英語で学び、広がる世界～英語は当たり前。幼児や小学生が英語を使って学習したり海外にFieldTripに行ったりする事例

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1106

就学前の児童や小学生に英語を指導する時、受験型の指導は受け入れられません。しかし、ただ楽しいだけの英会話では将来に繋がりにくいです。また、英語はあくまで手段であり、英語を通して学ぶべきものこそ重要です。小学生でも質の高い英語力が身に付きかつ英語で表現すべき何かを身に付ける本質的な学びはどうやって成立するのか?このセッションでは上記課題に悩んでいる教育関係者や保護者の方に主催3社がこれまで追求してきた英語教育の実践例をお示しし、今後のさらなる指導方法を参加者で議論したいと考えています。CLILやイマージで普通の小学生でも英検2級に合格するGLI。子供達の成長の「場」と「機会」を提供する、が理念のBilingual幼稚園、キッズアイランド。小学生を対象にセブ島でEnglish campを提供するFirst English Global College。日本の真のGlobal化をこの場から発信しませんか!



登壇者・団体紹介
鈴木稔・堺谷志志・本多正治 / (株)ジプロス
お問い合わせ
aburagi@po2.cnet-ta.ne.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

65 高校生の実践型探究学習/マイプロジェクト伴走者フォーラム ～「やらされ探究」から「生徒主体の探究」へ～

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1063

2022年に施行される高校の新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」が明確に打ち出されています。地域と連携・協働した探究的な学びや、主体的で対話的で深い学びの実現は、教育現場を取り巻くキーテーマとなっています。高校生が主体的にテーマ設定をし、実社会で課題解決を行う「実践型探究学習/マイプロジェクト」を進めている方、また関心のある方々と相互に対話し学び合い、今後につながるヒントを得ていただく場にて考えています。

〈会の流れ(予定)〉

・自己紹介+「探究」に関わる問い出し

・事例共有(「生徒主体の探究をどのように実現できるのか?」)

※高等学校での実践型探究の取り組みを行う教員、実践型探究を高校時代に行った大学生が登場

・対話セッション(事例共有をもとにし、参加者同士で「現状の悩み」「問い」について考える)



登壇者・団体紹介
マイプロジェクト事務局(NPOカタリバ)
お問い合わせ
zenkoku-mypro@katariba.net



シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

66 学力向上で町を変えた陰山メソッド

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 会場 ● 1114

全国的に見ても最も指導が困難と言われた福岡県筑豊地区。福岡県の学力テストでも毎年最下位だったのが、昨年最下位を脱出し、県内に波紋を呼んでいる。その中心となったのは飯塚市。学力低下と非行問題に悩んだ学校が、今や全国屈指の好成績となり、その指導を全学校に入れることで、全国平均を下回る学校はなくなった。さらに非行問題が消滅したとまで言われ、学校ではICTの導入やオンライン英会話、ロボットプログラミングと最先端の教育が行われている。その結果、多くの子育て世帯が流入し、年収までも上昇している。この変化を生み出したのが、読み書き計算の徹底を行う陰山メソッド。その8年間の軌跡を紹介する。



登壇者・団体紹介
陰山ラボ
お問い合わせ
kage@kageyamahideo.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

69 「持続可能な社会の創り手」の育成に向けて ～社会性・感情の学習の力～

日時 ● 9月14日 10:30—12:00 会場 ● 1115

新学習指導要領では、「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられていて、世界でもSDGsの達成をはじめ、持続可能で平和な世界を作るために学習者の「行動変容」を促すことが一つの鍵となっています。自分と世界とのつながりを理解し、責任を持ってより良い社会のために行動できる人材を育成する上で、21世紀型コンピテンシー(資質・能力)、そしてSocial & Emotional Learning (SEL)が注目されています。これらはこれまで日本の教育が大切にしてきた全人的な教育の目標に重なるもので、日本の教育とも本来は相性が良いものです。

本セッションでは、社会や世界の課題を学ぶ上で「ヒトゴト」でただ理解させるのではなく、自己理解、他者理解・受容を通して「自分ごと化」するためのきっかけとなるワークショップを行います。相手に受け入れてもらえる、という安心感を作り、関係性を高めていくワークを実際に体感することで、授業や日常の小さな変容につなげるきっかけになれば幸いです。



登壇者・団体紹介
辰野まどか・木村大輔 / 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)
お問い合わせ
daisuke@j-gift.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

70 〈朝日新聞×JICA〉 新聞を活用して考える「持続可能な社会」とは

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1115

今の世の中、いったいどこが持続「不」可能なんだろう?

どこに課題があり、どんな解決が考えられるんだろう?

そのような問いに向き合い、SDGs(持続可能な開発目標)をジブンゴトとして捉え、考えを深めていくために、自分の暮らす地域、日本、そして世界の出来事や、その見方がまとめて掲載されている「新聞」は有効なツールです。

新聞を「SDGs付箋」を使って読んでみると、「持続可能」という視点で一つの事象を捉え直すことや、「持続可能」という観点で「今」をみる力を育むことができます。本日は、すぐ授業に取り入れられる「新聞を活用したSDGsワーク」授業を、実践を通してご紹介いたします。



登壇者・団体紹介
遊佐 美恵子・八星 真里子
JICA(独立行政法人 国際協力機構)、株式会社朝日新聞社
お問い合わせ
Yatsuboshi.Mariko.3@jica.go.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

67 和差積商をカードゲームで遊んじゃえ! 新作カードゲーム体験会

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 会場 ● 1114

ゲームはやるのに計算ドリルにはなかなか手が伸びない子ども達。だったら計算をカードゲームにして新商品を作っちゃえ!今回ご提案するのは0~9までのカード+αの中で生み出されるシンプルで拡張性のあるゲーム。そこからは通常提案の遊び方ではない多様な遊び方も生まれそう。この場では、実際の試作版ゲームをプレイしてもらいながら、色んな遊び方の広げ方やアイデアを出し合い、算数数学をもっと楽しく身近にできるコンテンツを考えていく時間にできればと思っています。

今回のカードゲームでは、足し算・引き算・かけ算・わり算・余り・公倍数・公約数・奇数・偶数・素数の考え方が遊びながら自然に身につきます。また、低学年向けにルールを制限したり、中高生向けにルールを拡張する事も出来ます。



登壇者・団体紹介
門川良平 / すなばコーポレーション
お問い合わせ
sunaba.c.kr@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

68 「プログラミングに役立つ “お笑い算数教室・平面図形編”

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1114

〔こんなことします〕

『お笑い算数教室・カタチのヒミツ編』

カタチの名前クイズ 2角形ってどんなカタチ?

星形に隠されたヒミツのルールとは?

カタチのヒミツが僕たちの生活を支えている?

『アントレキッズ / カレッジプログラミング』

平面図形を使ったプログラミングデモンストレーション

code.org/scratchのアントレキッズ授業

〔どうしてプログラミング教室で算数教室なの?〕

平面図形(多角形)の理解を深めた上で、プログラミングを動かして図形を描くと、より平面図形(多角形)の性質を学習することが出来ます。また、scratchなどのプログラミングでの学習は、ブロックの入れ替えや数値の変更で簡単に修正ができるため、自分の考えをすぐに実行修正ができ、効率よく課題に取り組むことができます!



登壇者・団体紹介
高田和典・太田加奈・瀬上拓馬・菊池友幸・加賀智也 / 株式会社アントレキッズ
お問い合わせ
k.oota@slj.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

71 世界がもし100人の村だったら ～SDGsと一緒に考えよう!

日時 ● 9月14日 16:20—17:50 会場 ● 1115

約75億人といわれる世界の人口を100人に縮めると、何が見えるでしょう?

文化の多様性や経済格差、環境問題などをワークショップで体感し、世界の現状を理解します。問題の背景や構造も考えながら、持続可能な社会をつくるためにできることを話し合います。

SDGsについて学べる教材・資料も紹介します。



登壇者・団体紹介
岩岡由紀子・八木亜紀子 / 認定NPO法人開発教育協会(DEAR)
お問い合わせ
iwaoka@dear.or.jp

紙の上にペンが走るような 自然な書き心地

リパティタワー 1F
紫紺ホールにて
出展中!!

手書き対応タブレット AT-07 Windows® 10 10.1インチ

- 10.1インチ画面
- IEEE 802.11 b/g/n 無線LAN
- インターネット
- Bluetooth®
- 32GB ストレージ
- 内蔵カメラ
- 映像
- フォト
- 音楽



販売価格 **35,000**円(税抜)
●W257×D9.3×H173mm
●CPU:Intel Atom® x5(Z8350) Quad Core Processor 1.44GHz

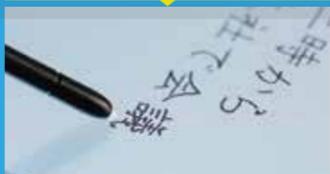
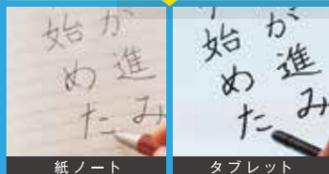
デジタイザーペン付

ココがポイント!

小さな文字でも
ストレスなく書ける!

筆圧、文字のクセも
そのまま再現!

レスポンスに優れ、
スイスイと書ける!



一括管理

▶ 各種設定

▶ 個別発送

▶ サポート

Voice!! アスコンタブレットシリーズ導入事例 | 通信制高校の皆さんに伺いました!

教員の業務負担が軽減!
業務効率化ができました。

アスコンタブレットシリーズ導入により、「教材」「テスト問題」など今まで大量に出力していた紙の印刷コストと郵送手間が不要に。先生の業務負担も軽減され、大幅な時間短縮・業務効率化が実現できました!

リスク対策も一括して
任せられるのが良かった。

導入時に必要なシステムやサーバー、ウイルスなど様々なリスク対策も一括して提案から実施まで行ってもらえたので、安心して任せることができました。手書き対応のWindowsタブレットが低コストで導入できました。

安定的な運用に
サポートデスクは必須。

運用開始時は事務局での対応業務が気にかかるところでしたが、様々な問合せやタブレット故障など日頃の運用をサポート対応していただき、手間を掛けず安定的に運用することができています。



お問合せ・ご予約はお電話、もしくはメールにて承ります。

0120-923-085

受付時間:月曜日~金曜日(土日祝は除く)、午前10時~午後5時

ascon

株式会社アスコン

広島県福山市港町1丁目15番27号

PCサイトから <https://www.ascon.co.jp/>

メールから info@ascon.co.jp



フルブラウザ対応端末にてご覧ください。

プログラム 09/15

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

72 SDGs of Children, by Children, for Children

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1061

SDGs of Children, by Children, for Children—SDGsと出逢い、つながり、未来へ「We Are Partners!!」をテーマに「SDGsを知らない仲間たちに、いかに楽しく参加してもらいながらSDGsを伝え知ってもらえるかを考え、こどもたち(小、中学生)ならではのアイデアで作ったオリジナルの作品や教材を紹介したいと思います!!地域のイベントで発表して大好評だったSDGsのおみくじ、トランプ、すごろく、スタンブなど子どもの視点で考えた教材や活動の実際を子どもたち自身がプレゼンターとして発表!! 子どもたちの「SDGsを伝えたい思い」を受け取って頂けたら嬉しいです!! 又、小、中、高、大、こども食堂、学童施設、高齢者入居施設などで行った「SDGsへの架け橋になる活動(ワークショップ)」の実践例などもご紹介しながら、共に未来を創る仲間として、参加者の皆さまとも意見交流できたら、と思っております!! 是非、共に未来を創る仲間として、楽しい有意義なひとときを参加者全員(一人一人が主人公!)で作れたら幸いです!! 「出逢い、つながり、未来へ」~ We Are Partners!! ~



登壇者・団体紹介
世界に目を向けよう~今、私たちにできること~
お問い合わせ
rei-kane@mui.biglobe.ne.jp

PROGRAM 09/15

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

73 大学生×国際×教育 ~世界最大の学生団体による教育実践~

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1061

学習指導要領の改定にはじまり、「持続可能な開発のための教育」やグローバル化に即した国際教育が進められるなど、学校現場を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。そのような激変の時代を切り開く方法として、私たちアイセックは、「社会問題教育」を提案します。私たちの授業では、動画や実際の数値を用いて社会問題やSDGsについて関心や問題意識を持ってもらい、その後、企業の社長になった設定で実際に問題に対して解決策の立案を行うといった授業を展開します。え、そんな難しい内容を取り扱って大丈夫?と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、もちろん大丈夫です!楽しくわかりやすいインプットと、ワークショップの中でのアウトプットの双方を織り交ぜることで、退屈せず、誰でも主体的になれる授業作りを心がけています。この授業では、アクティブラーニングを通して「主体的・対話的で深い学び」を実現できるのではないかと考えています。また、授業という限られた空間で、生徒に広い世界に目を向けようという方法も同時にお伝えできればと思っています!



登壇者・団体紹介
白尾 和暉・山本 康太郎・星 佳杏 / 特定非営利活動法人アイセック・ジャパン
お問い合わせ
atsushi.todoroki@aiesec.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

74 探究学習の評価を探究する

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1104

学校内外を問わず、知識偏重型から探究型、アクティブラーニング型へのカリキュラムの変革が求められています。現場でも様々な取り組みが進んでいますが、中でも探究型学習の評価をどう行うかが多くの先生にとっての課題です。従来型のペーパーテストや点数評価では評価しづらい、思考力、判断力、表現力、あるいは主体的に取り組む態度をどのように評価あるいは学習者にフィードバックすべきかを問いとして探究します。本セッションでは、すでに探究学習の現場づくりに長年取り組み、学習者の自己肯定感を高める評価を工夫して実践されてきた3名のゲストを迎え、前半は3名の実践を体験していただけるセッションを行います。後半はこれを踏まえ、参加者の皆さんが自身の教育実践にどのように取り組むかを少グループに分かれてディスカッションを行います。ファシリテーター:炭谷俊樹(学びを探究するメディア「Q」責任編集者、ラーニング・グローバルスクール代表)・ゲストスピーカー:矢萩邦彦(知窓学舎塾長)・池田哲哉(学びの道教育研究所代表) 大日向百樹(cst代表)



登壇者・団体紹介
矢萩邦彦・池田哲哉・大日向百樹・炭谷俊樹 / 学びを探究するメディア「Q」
お問い合わせ
Qsupport@pathfinder.earth

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

75 ジブ知るして 行動を楽しみながら変えられる「マイゲーム」 をつくり、習慣化できるしくみを提供するワークショップ

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1063

自分の持っている能力を最大限に発揮するには、まず自分自身について知る必要があります。なにかをはじめるにも、学ぶにも、教えるにも、なにはなくとも、本当の自分を知ることは、もの凄く大切なことです。情報が溢れ、自分を見つめる機会が少なくなっているわたしたち現代人にはとくに必要なことです。にもかかわらず、学校でも会社でも家庭でも「ジブ知る」のことを学ぶ機会はほとんどありません。このワークショップは、独自の生き方をしているうちマンこと小関昭彦が開発したUN理論に基づく「ジブ知る」を体感していただき、本当の自分を見いだせるように導かせていただきます。その上で、自分の行動をカジュアルに変えて習慣化できる「マイゲーム」を一緒に考えてつくるといったワークショップです! さらに、WS終了後も実生活で「マイゲーム」をプレイしてどうなったのか?バグはないのか?継続プレイできているのか?アップデートするにはどうしたらいいのか?などをチェックできるしくみも含めて提供します!



登壇者・団体紹介
一般社団法人 マナビダイスキ
お問い合わせ
un@manalove.fun

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

76 Happiness Creatorを育てる教育を目指して① ～教科を超えるCross Curriculumから社会課題につなげるCBLへ～

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1064

新渡戸文化学園の育てたい生徒像は将来社会に出て幸せに生きていく子どもです。より良い選択ができる自律型学習者を教育活動を通して育てていく為に、本校では2019年度より、Challenge Based Learning/Cross Curriculum/Core Learningの3つのCを軸にした教育改革を始めています。本企画では、複数の教科の先生が共同で授業を作り上げるCross Curriculumの授業から社会課題の解決に向けプロジェクトを起こすChallenge Based Learningに発展していく例を紹介します。具体的には「持続可能な社会の実現」を目指し、手段として英語や理科の教科学習を行いながらプロジェクトが生まれていく様子を紹介いたします。他にも複数の教員で教科の枠を超えた授業をデザインしている事例を紹介する予定です。これから授業にプロジェクト型の学びをとり入れたいとお考えの先生がたにとって、そのヒントが得られることになる機会になれば幸いです。



登壇者・団体紹介
山本崇雄・山藤旅間・栢之間倫太郎 / 新渡戸文化小中学校・高等学校
お問い合わせ
f_yuki.i@nitobebunka.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

77 Happiness Creatorを育てる教育を目指して② ～社会課題に向かって動き出した子どもたち～

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1064

新渡戸文化学園の育てたい生徒像は、将来社会に出て幸せに生きていく子どもたちの育成です。幸せとは、自分だけでなく全世界の人々、生物、さらには先人や生まれ来る子どもたちにも思いを巡らせる中で生まれてくると考えています。それには、より良い選択ができる自律型学習者を教育活動を通して育てていく必要があります。本校では2019年度より、Challenge Based Learning / Cross Curriculum / Core Learningの3つのCを軸にした教育改革を始めています。本企画では、脱プラスチック問題や持続可能な食の流通などの社会課題に向けて、企業やNPOなどと協働しながら自分たちなりの解決策を提案し始めた子どもたちを紹介します。具体的には小学校高学年と中学生の児童生徒たちの具体的な行動を紹介していきます。授業を子どもの具体的な行動につなげる方法について知りたい先生方にとって、そのヒントが得られる機会になれば幸いです。



登壇者・団体紹介
山本崇雄・山藤旅間・栢之間倫太郎 / 新渡戸文化小中学校・高等学校
お問い合わせ
f_yuki.i@nitobebunka.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

80 改めて算数文章題教育を見つめ直す ～問題づくりとAIを通した算数文章題の学び～

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1065

本企画は、算数文章題の学びを通して、考える力を身につけることのできる授業を体験していただくものです。昨今では人工知能(AI)の教育的利用が活発であり、様々な形で取り入れられています。例えば、各生徒の問題解決状況の把握や、次にどんな問題を与えるかを自動で提示することができます。これは確かにAIの教育への有用な利用方法の一つであると言えます。しかしこの利用方法は、あくまで問題を解くという活動の評価や洗練に有効なものです。よって授業で深い学びを教えることができて、生徒の理解を評価したり、洗練したりするのは、あくまで問題が解けるかどうかです。そこで本企画では「問題がなぜ成立するかを試行錯誤しながら確認できるAI搭載の学習支援システム」を用いることで、より深い学びを促す算数文章題の教育を提案いたします。



登壇者・団体紹介
前田一誠(登壇)・山元 翔(登壇)・小林雅人・川口暁士・芹沢克明 / 株式会社 ラーニングエンジニアリング
お問い合わせ
katsuaki.serizawa@gakuto.co.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

81 2020大学入試はこう変わる ～今日から鍛える4つの学力～

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1073

2020年度大学入試はどう変わるのか。求められる学力とその対策は……。[大学入学共通テスト]の傾向と対策をコンパクトにわかりやすくお伝えします。新入試で求められる4つの学力を鍛えるワークも体験していただきます。

第1部「2020大学入試はこう変わる～新入試で求められる4つの力～」

- ・AO、推薦入試でも「学力試験」:入試の常識が大きく変わる①
- ・早大の政経学部入試で数学が必須化:入試の常識が大きく変わる②
- ・新入試で求められる4つの力～大学入学共通テスト試行調査の問題分析～
- ①読解力:長文をすばやく読み解く ②情報処理力:グラフや図表を理解し、必要な情報を取り出す ③表現力(記述力):論理的な文章をすばやく書く ④時事ニュースの知識:教科書に載っていない身近な話題への関心・試行調査で浮き彫りになった課題・記述式問題正答結果、他

第2部「ソリューションとしての新聞学習法」

- ①読み書きのスピードを上げる「天声人語」書き写しタイムトライアル ②図表・グラフの読解力を鍛える「いちからわかる!」線引き学習 ③情報を読み解く力を鍛える「事実」と「意見」色分け学習 ④表現力、判断力を鍛える
- アクティブラーニング用素材の紹介

登壇者・団体紹介
朝日新聞社
お問い合わせ
kanda-a1@asahi.com



シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

78 Happiness Creatorを育てる教育を目指して③ ～未来に向けて改革に動き出した学校～

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1064

新渡戸文化学園の育てたい生徒像は、将来社会に出て幸せに生きていく子どもたちの育成です。幸せとは、自分だけでなく全世界の人々、生物、さらには先人や生まれ来る子どもたちにも思いを巡らせる中で生まれてくると考えています。そのためには教育活動を通して、より良い選択ができる「自律型学習者」を育てていく必要があります。本校では2019年度より、Challenge Based Learning / Cross Curriculum / Core Learningの3つのCを軸にした教育改革を始めています。本企画では、未来の教育に向けて改革に動き出した本校での事例を、現場の教職員の目線からご紹介いたします。変化の激しい時代の中で、学校をアップデートさせたいと考えている方にとって学校改革のヒントが得られる場になることと思います。



登壇者・団体紹介
山本崇雄・山藤旅間・栢之間倫太郎 / 新渡戸文化小中学校・高等学校
お問い合わせ
f_yuki.i@nitobebunka.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

79 時代を切り拓く「探求の力」を育む

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1065

世界は「あたりまえ(常識)」と思っていたものごとがあっけなく瓦解し、すべてがドラマチックに変化する変革期を迎えています。そのような(予測困難な時代)に求められる教育は、ものごとを根源的に考える力(批判的・創造的思考力)を育てることのできる教育です。「あたりまえ」を疑い、自分なりの問いを立て、根拠の確かさや推論の妥当性を吟味し、自分なりの答えと議論を組み立てて表現できる力(探究する力)こそ、予測困難な時代を切り拓く力として、子どもたちに身につけさせたいものです。大学入試も「思考力」を問う方向へとシフトしはじめ、高等学校では2022年度から実施予定の新学習指導要領においても、探究の力が求められています。今回の講座では、探究する力と論文を書く力、プレゼンテーション力を鍛えるための指導方法を、私が開発したツール「ロジカル・フラワー・チャート(Fチャート)」の活用と併せて、みなさんにご紹介したいと考えています。



登壇者・団体紹介
薄井道正・[サポート]伊藤健志・下之門直樹 / 立命館アジア太平洋大学
お問い合わせ
naokish@apu.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

82 情報を使えるひとに育て、人生100倍得させよう!

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1073

情報の大切さやその扱い方を児童、生徒に伝えるための手法、考え方について、新聞記者の視点から提案する体験型の講座です。中学、高校、大学などで講演活動を続ける朝日新聞のベテラン記者が講師を務めます。

2020年度に始まる大学入学共通テストでは記述式問題が導入され、多くの図表を読み解く力も問われます。真偽の定かでない情報が飛び交うインターネット社会にあって、子どもたちは自らのメディアリテラシーを磨いていかなければなりません。双方の対策として「日頃から新聞に親しむ」ことの大切さを説く専門家は少なくありません。大学入試改革と合わせて教育改革を目指す「新学習指導要領」は総則で新聞を「教材」と位置づけ「適切な活用」を求めています。

今回の講座は、そうした「教材としての新聞」に光を当て、企画しました。講師の話聞くだけでなく、気になった記事を紹介し合うグループワークや、互いを取材し合うペアワークを取り入れ、楽しみながら新聞の活用法を知ると同時に、新聞理解を深めていただける構成になっています。ふるってご参加ください。



登壇者・団体紹介
朝日新聞社
お問い合わせ
yabutsuka-k@asahi.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

83 SDGs・新聞記事ワークショップ

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1073

新聞記事を使ったワークショップを開催します。朝日新聞社は国連が2030年までに達成を目指すSDGs(持続可能な開発目標)に賛同し、特集記事などを通して、SDGsについて積極的に報道しています。また、各種イベントを開催し、皆さんとともにSDGsについて様々な角度から考え、SDGsが掲げる「誰も置き去りにしない」世界の実現を目指します。今回のワークショップでは、SDGsというアプローチについて学びながら、実際の新聞記事を使い、現実にある身近な社会課題について学びます。グループのメンバーと意見を交換し、新たな気づきを得る内容となっています。ゴールを意識して記事を読み、皆で思考を共有することで課題解決に向けた多様なアプローチが可能になります。学生たちがSDGsや社会課題を考えるきっかけや多角的なものを考えられるようになる手法の1つにもなり得るため、先生方に体感いただき、教育現場でも実施していただける内容です。

〈進め方〉

記事を読み込む→SDGsの17目標で、どれに関するかを考える→目的別に用意した付箋に「つぶやき」を書いて見る→グループワーク(記事が掲載されたページを1枚グループで共有し、そこにグループワークのメンバーといっしょに付箋を貼りながら話し合う)→総括 ※新聞を活用したワークショップは、日本NIE学会理事・有馬進一さんの提案によるものです。

登壇者・団体紹介
朝日新聞社
お問い合わせ
kanda-a1@asahi.com



シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

84 オリンピック選手も東大生も実践中! 「学校で学ぼう! 感覚の育て方」

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1074

1日のうち、学校で過ごす時間は、6~7時間。しかもその多くは座位です。姿勢が大切であるということは、色々な方面から言われており、特にスポーツでは、どの種目においてもフォーム(姿勢)が重要視されます。それは、正しいフォームがパフォーマンスに大きく影響することを体感で理解しているからです。しかしながら、生活の4分の1を過ごす学校での姿勢について、生徒自身に体感させる学びは非常に少ないという現状があります。姿勢を安定させるためには筋力が必要です。そして日本のトップレベルの選手は筋力トレーニングだけでなく、『感覚』を上手に活用しています。『学習環境習慣アドバイザー』という新しい立ち位置で、この5年間でオリンピック選手を中心に多くのスポーツ選手、東大生を含む多くの大学生に対し、脳神経12対を活用したFSEMというメソッドを学業に取り入れてきた実践例を、ワークショップ形式で、体感してもらいます。さらにその感覚を活用すると、日本古来から言われている『しつけ』や『習慣』が、個人のパフォーマンスに寄与していることも併せて実感してもらえます。



登壇者・団体紹介
吉田貴広・伊藤俊介(アトランタオリンピック競泳元日本代表選手) / 一般社団法人 日本味感学協会
お問い合わせ
yoshidatakahiro1973@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

85 SDGs×探究「サス学」の8年間の実践、シェアします! ~社会課題をジブンゴトに&解決アイデアを発想・アクションする学び~

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1074

「サス学(サステナビリティ学習)」とは、千葉県柏市でアフタースクールと探究型学習塾が一体化した居場所・学び舎を運営する「ネクスファ」で開発したオリジナル教育コンテンツです。「地球や社会の課題をジブンゴトとして捉え、その解決策を発想しアクションする探究型・プロジェクト型学習」として2012年にスタートしました。今回のワークショップでは、前半で子どもたちがプロジェクトでSDGsをモチーフに製品化した「社会課題解決カードゲーム」やこれまで実際に実践してきた100を超える授業コンテンツを通じて「サス学」の世界を体験いただけます。後半では、みなさまの現場で実践いただける「サス学」の可能性や活用方法についてお話しします。教育関係者のみなさんはもちろん、子どもたちもぜひご参加ください!



登壇者・団体紹介
辻 義和・櫻井政志・堀 洋一 / 合同会社 ネクスファ
お問い合わせ
info@next-ph.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

88 ポップコーンのようにどこまでも弾けよう! 食を通じたアクティブラーニングの実践事例。

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1075

「ポップコーンを使った教育」と聞くと、どんなイメージを抱くでしょうか? 私たち「日本ポップコーン協会」は、会長である渋谷駿伍が株式会社 no FRAME schoolsというEdTech企業のCEOでもあることから、協会立ち上げの初期から食を通じた先端教育のあり方を模索してきました。これからの時代、どんな力が必要で、なにを大事にしていくべきか。とっつきにくいこのテーマを、ポップコーンというキャッチーな切り口から、五感で味わい考えるワークショップをこれまで企画して参りました。チームで共創する大切さや、沢山失敗することの大切さ。大学生に向けてはデザイン思考も交えて、食を通じて高速にPDCAサイクルを回していきます。今回はそんな、『ポップコーンを使った「食」のアクティブラーニング』の実践事例について紹介させていただきます。



登壇者・団体紹介
渋谷駿伍・遠藤 迅・田中理紗 / 日本ポップコーン協会
お問い合わせ
shun5crewsz@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

89 “ディープフェイク”まで出現 ネット時代の「正確な情報」の読み解き方

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1075

“ディープフェイク”とは、AIの機能を使って精巧に作りあげられた「事実と異なる二重動画」のことで、新たな「フェイクニュース」への懸念が広がっています。何が「本当の正確な情報か」をつかむことが極めて難しい時代です。こうした情報環境の中で、中学生や高校生のインターネット利用が急速に進んでおり、同時に「自分にとって好意的なものだけを知りたい」という傾向が強まっています。いまこそ、若い世代に「事実に基づく正確な情報」をきちんとつかみ、その情報をもとに多角的に考えていく習慣を身に付けてもらうことが必須だと考え、岩波ジュニア新書「その情報、本当ですか?」という本を書きました。皆さんと実践的なメディアリテラシーについて考えていきたいと思います。

〈塚田祐之〉NHKで「クローズアップ現代」等の報道番組を30年担当。2016年に専務理事を退任。



登壇者・団体紹介
塚田祐之
お問い合わせ
htsukada@inoue-pr.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

86 世界の学生獲得競争から見えてきた日本の課題

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1074

立命館アジア太平洋大学(APU)には、常時約90カ国・地域の学生が正規学生として在籍しています。留学生達の大半は、陸地で他国と国境を接し、常に隣国や周辺国と世界の動きを常に意識しながら、自国や自らの将来の選択を迫られています。かつて途上国と呼ばれた国においてでさえ、都市部の中間所得層は劇的に増加しつつあり、大学も世界から選択できるグローバルスタンダードな学力を持つ学生が増えています。国境を越えて学ぶ学生達には、明確な学ぶ課題とキャリア意識があり、彼らを受け入れる大学側もその期待に応えるには、世界の高等教育を常にベンチマークとした改善を迫られます。現在日本でも、教育改革が焦眉の話題ではありますが、その方向性は、果たして世界と同じ歩調で進んでいるのでしょうか? 日本の次世代は、世界の若者と同じ世界観を持てるのでしょうか? このセッションでは、現在日本で働くAPUの外国人卒業生を招き、外国人の視点から見た日本について議論する機会とします。



登壇者・団体紹介
伊藤健志・下之門直樹 / 立命館アジア太平洋大学(APU)
お問い合わせ
naokish@apu.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

87 正解のない授業「ProgressTime」 10年後の世界を見据えた、今必要な教育を考えよう

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1075

皆さんは、未来をどのように描いていますか? 社会が変わることに対して受け身ではなく、社会はどう変わるのか、理想の教育は何なのか、自分はどうしたいのか、ということについて自分の声に耳を傾けたり、意見を交わすことはありますか? 本ワークショップでは10年後の学校...をゴールイメージにして、それぞれの活躍の場で何ができるのか、ということを深掘りしていきます。自己対話と他者との対話を通し、気づき=>学びへと深めていきます。「10年後、私は学校を〇〇な場にしている」「未来を創る当事者として〇〇していく」「10年後の教育×私は〇〇」の〇〇に何をイメージされますか? 全国の学校や学習塾に次々導入しているアクティブラーニング型授業「ProgressTime」で皆さんと一緒に考えましょう。



登壇者・団体紹介
新井光樹・小形雄大 / 株式会社tyotto
お問い合わせ
info@tyotto.co.jp



シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

90 学ぶ力、生きる力を育む自立の三角形

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1076

私共 Home to Workでは「自立」をテーマにした人材育成プログラムを、企業・学校・自治体等に提供しています。その実績から「社会から求められる力」「活き活きと働くための力」を熟知しています。それらを踏まえ、10代である中高生たちが社会で活躍する10年後20年後を見据えたプログラム内容「学ぶ力、生きる力を育む自立の三角形」をご紹介します。好評をいただいているプログラムの中から、一部抜粋してワークショップの形でご体験いただき、そのねらいと効果をお伝えします。

1. コミュニケーション編
 - 挨拶はすべてのコミュニケーションのスタート
 - 今すぐ役立つコミュニケーション・ワーク
2. 自分のことが自分でできる編
 - 自分でしている「自分のこと」チェック
 - 「片づけ」のワーク 筆箱トレーニング
 - 自分でできることが増える
=大人になること・自由になること
3. 人の役に立つ編
 - 家事で育む生きる力



登壇者・団体紹介
桑井優子・入沢紀子・今泉恵美子 / Home to Work
お問い合わせ
hometowork2017@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

91 AIによる個別最適化学習で 授業に何が起ったか

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1076

本セミナーでは、AI型タブレット教材 Qubena (キューベナ)を学校の授業で効果的に活用している、近畿大学附属中学校のICT教育推進室主任をお招きし、「AI教材の導入効果」と「教師による指導の変化」について実際の指導経験や成績データを元にお話し頂きます。AI型タブレット教材 Qubena (キューベナ)は生徒一人ひとりの習熟度に合わせて最適な問題を出題するアダプティブラーニング教材です。学校へのAI教材の導入により、授業中の演習や家庭学習においても個々の個別最適化学習が提供でき、教員も生徒の学習データを把握しながら適切な指導ができるようになります。学習の深い理解と定着、学力差の解消を支援します。千代田区立麹町中学校でも導入しており、従来の約2倍のスピードで授業を進めています。創出された時間でSTEAM教育などの探究学習を実施するなど高い効果を発揮しています。ICT活用をご検討中・活用方法にお悩みの先生方、是非ご聴講ください。



登壇者・団体紹介
増田憲昭 / 株式会社 COMPASS
お問い合わせ
sales@compass-e.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

92 5分でできる人間関係(コミュニケーション)作り ～楽しみだけで終わらせない「学び」ある場づくり～

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1076

グループワーク、プレゼンテーション、ディベート、コミュニケーション英語などを行う上で必要となるのが、生徒の主体性と表現意欲です。

その主体性と表現意欲を支える場づくりの基本理念と、支援する先生のファシリテーション能力は、一体どこで身に着ければ良いのでしょうか？!

この講座で「いつでも・どこでも・だれでも・たのしく」をモットーとしたドラマケーションを体験していただき(観察のみ可)、「ファシリテーション」において何を見て、何を聞いて、何を考えて、どんな場づくりをしているのかを皆さまと共に考えたいと思います！

※ドラマケーションとは「ドラマ(演技・演劇)」と「コミュニケーション」の合成造語で、文部科学省委託事業で開発されたコミュニケーション能力育成プログラムです。

※台本を使った劇づくりはやりません!



登壇者・団体紹介
幸野ソロ・松元どかん / NPO法人ドラマケーション普及センター
お問い合わせ
kouno@dramacation.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

93 「学級づくり実践」の今(飯村友和)

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1083

本NPO理事である飯村友和さんは、「どの子の信頼も勝ち取る! まずは人気の先生になろう! 一新卒3年目までの最強クラスづくり」『子どもの顔がバツと輝く! やる気スイッチ押ししてみよう! 元気で前向き、頑張るクラスづくり』『心が折れそうな毎日がガラリと変わる 教師のためのポジティブシンキング』(いずれも明治図書)で広く知られる実践家です。飯村先生の学級づくりのエッセンスをぎゅっと学ぶ時間です。



登壇者・団体紹介
飯村友和 / NPO授業づくりネットワーク
お問い合わせ
zvn06113@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

96 学級経営×特別支援の知識で、全員を育てる学級づくりを学ぼう! ～授業・学級経営で活用できる特別支援の知識～

日時 ● 9月14日 13:00—14:30 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1084

学級経営は担任業務における重要度に反して、養成課程ではほぼ経験しません。しかし、現在は特別支援が必要な子どもが増えて、学級経営そのものの難易度も上がっています。

[授業に集中できない子] [教室から飛び出してしまう子] [先生が話していると消しゴムを投げつける子] [朝登校すると、泣き叫んで動かない子] うまく対応できず悩んでしまう先生も多いです。

しかし、先生から見て「困っている子」は実は子ども自身が一番できなくて「困っている子」であり、現在は子どもの困難を見極めて支援の考え方を取り入れた学級経営が求められています。

今回は、そんな特別支援が必要な子どもを含めて子どもたちを育てるためにはどうすればいいのか? そんな悩みを特別支援の知識を元に解説し、どう育てていくかを講義とワークを交えて学んでいきたいと思います。



登壇者・団体紹介
9/14: 前田智行・梶浦真 9/15: 前田智行・森本陽加里・酒井翔麻
/ 一般社団法人 こども発達支援研究会
お問い合わせ
maeda@orangeschool.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

97 先生の幸せは子ども達の幸せ! 外部コーディネータと行う学校の時間創出ワークショップ

日時 ● 9月14日 15:00—16:00 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1084

過労死ライン越えが小学校で3割、中学校で6割といわれるなど、先生の長時間労働問題は解決に待たなしの状況です。国からも働き方改革に向けたガイドラインが示されるなど、徐々に取り組みは始まっている学校がある一方、「うちは何も変わっていない」「定時退勤日のせいで持ち帰り仕事が増えた」なんていう声も聞こえてきます。先生も一人の人間です。先生が自分たちの働き方を自分たちで決められること、そのために校内で建設的な話し合いができることから、学校の長時間労働問題の改善、そして先生の幸せは始まります。

この企画では、先生方の対話から仕事時間の見直しと有効活用を実現していくこと、それを外部コーディネータがサポートしていくことのコネクトについてご紹介し、学校で行う時間創出のワークショップを体験していただきます。



登壇者・団体紹介
遠藤崇之 / 先生の幸せ研究所
お問い合わせ
taka.endoh77@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

94 絵本の読み聞かせの実際(石川 晋)

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1083

『授業づくりネットワーク』の理事長である石川晋さんが、古くて新しい手法である絵本の読み聞かせを具体的に指南します。



登壇者・団体紹介
石川 晋 / NPO授業づくりネットワーク
お問い合わせ
zvn06113@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

95 シンポジウム「実践者が学校現場で丁寧に考えていること」 (佐内信之、飯村、石川)

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1083

優れた実践者である飯村友和さんが学校の真ん中で考えていることに、授業づくりネットワークの理事長、副理事長、事務局局長が迫り、縦横無尽に語り合う中で、フロアからの参加もいただきながら、学校実践の可能性を探ります。



登壇者・団体紹介
飯村友和・佐内信之・石川 晋 / NPO授業づくりネットワーク
お問い合わせ
zvn06113@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

98 国語(言語活動)の授業は、工夫次第で、 こんなに楽しくなる!

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1084

国語の言語活動の授業は、教材・教具で、楽しく知的に盛り上がります。

そんな教材の数々と一緒に体験しませんか? 日々の国語授業が、この上なく楽しくなります。私は、楽しい授業づくりには、楽しい教材、教具は欠かせないものだと思います。楽しい教材、教具を開発するには、次のような方法があります。

- ①教科書からアイデアを取り出す
- ②教育雑誌や国語教育の文献から取り出す
- ③子ども向けの参考書、問題集、新聞から取り出す
- ④子どもの作文や日記などから取り出す
- ⑤サークル、研究会等からアイデアをいただく

当日は、たくさんの指導法を、参加者と一緒に体験してみたいと考えています。これだけでは分かりにくいと思います。ぜひ当日、教室をのぞいてください。

明日からの国語授業が必ず変わります!



登壇者・団体紹介
古川光弘(登壇者) / 古川光弘
お問い合わせ
furu1962@meg.winknet.ne.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

99 学力向上と学校改革につながるアクティブ・ラーニング —R80・TO学習・AALの活用—

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1085

私は、2015年から「アクティブ・ラーニング(以下AL)」の研究をスタートし、近年は全国各地で研修会講師をつとめています。この度、宮田純也委員長から声をかけていただき、「未来の先生展2019」で登壇させていただくことになりました。2016年には「AL指数」と「R80(読みはアールエイティーン)」を、2017年には「TO学習」を考案しました。2018年には「AAL(アート・アクティブ・ラーニング)」と「日本語の4技能」を、2019年には「NT5(ニュータイプ校)」を提唱しています。今講演では、学力向上と学校改革につながるALについて、熱く語ります。また、機動戦士ガンダム40周年を記念して「ニュータイプへの覚醒」についてもお話しします。なお、座席はスクール形式ですが、ペアワーク等を入れて楽しく実施します。明日からでも授業で使えるALを知ることができ、未来の教育が見えてくるプログラムです。



登壇者・団体紹介
中島博司(茨城県立並木中等教育学校 校長)
お問い合わせ
nakahiro2205@ybb.ne.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

100 石川一郎×矢萩邦彦 対談 「教育改革」時代を生きる教師に必要なことは?

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1085

石川一郎 先生(21世紀型教育機構理事)と矢萩邦彦 先生(実践教育ジャーナリスト・知窓学舎塾長)による対談。学校と民間それぞれの立場から、21世紀型教育のビジョンと現状、そしてこれからの教師に必要なことについて語ります。複数の学校改革に関わり、ミドルアウトマネージャーやカリキュラムマネージャーの重要性を説く石川先生と、探究型学習だけでなくパラレルキャリアの第一人者として幅広い業界に関わる矢萩先生の21世紀型仕事観も、これからの学びに接続する最重要テーマの一つです。ぜひ、実践者の生の声に触れて頂ければ幸いです。



登壇者・団体紹介
石川一郎・矢萩邦彦 / 教養の未来研究所
お問い合わせ
yahagi@aftermode.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

101 学校の先生やこれから社会に出る人と一緒に 考えたい「働く」ことの本質—未来の社会を見据えて—

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1085

エン人材教育財団は、「仕事を通じた社会課題の解決、社会への貢献を志す人材の育成」を目指して、大学生向けのキャリア教育事業18歳～30歳の若者向け社会課題解決型人材育成スクール事業を行っています。

働き方改革が推進され、「働きやすさ」に注目が集まっている一方で、一人ひとりの「働きがい」や仕事への向き合い方についての議論はなかなか進んでいません。私たちは、キャリア教育プログラムを通じて、社会と自分/社会と仕事のつながりを感じること、主体的に学び続ける土台を築くことで、仕事や将来にポジティブに向き合える人を増やしていきたいと考えています。

今回は、「どう働くか(HOW)」ではなく本質的な「働く目的(WHY)」を考えるワークショップを行います。ご自身のキャリアを見つめながら、これからのキャリア教育に必要な考え方を一緒に見つけませんか?



登壇者・団体紹介
一般財団法人 エン人材教育財団
お問い合わせ
minami_adachi@en-hec.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

104 シュタイナー教育体験ワーク 「低学年の数の学び」

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1086

低学年の「エポック授業:かず」を子どもになったつもりで体験します。身体を動かし、数の世界を味わって、授業の後は大人に戻って、体験した授業内容とシュタイナー教育の紹介を行います。

シュタイナー教育に特徴的な芸術要素を体験していただくことで、この教育が大切にする芸術性がどのような質をもつものであるのか、その理解の糸口を提供いたします。講師は横浜シュタイナー学園現4年生クラス担任の横山義宏です。



登壇者・団体紹介
横山義宏 / 日本シュタイナー学校協会
お問い合わせ
jimu@yokohama-steiner.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

105 家で育つあり方 —ホームスクール部門の取り組み—

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1087

東京シュレー葛飾中学校は不登校を経験した子ども達の中学校です。「子どもとつくる、学校っぽくない学校」をモットーに、子どもひとりひとりが自分らしく、成長しやすい環境をととのえ、サポートしています。

シュレ中に入学後、家で過ごしている子ども達もいます。シュレ中では「家で育つあり方」を尊重し、ホームスクール部門を設けています。ホームスクール部門では、どのような活動をしているか、ご紹介します。

スタッフが大切にしていることや、ホームスクールに所属している子ども達がどのように成長し、卒業後はどんな道に進んでいるか等もお話します。



登壇者・団体紹介
鈴木菜津子・木村砂織・カ石みのり / フリースクール全国ネットワーク
お問い合わせ
hs@shuregakuen.ed.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

102 明暗素描で教師の観る力を育てる

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1086

すべての子どもはユニークな個性を持って生まれてきます。そして、その個性を世界と調和させて生きていきたいと願っています。シュタイナー教育は、ドイツを中心に活躍した、ルドルフ・シュタイナーの教育理念に基づき、100年前から始まった教育法です。シュタイナー学校は世界各国に広がり、1000校を超える学校があります。

シュタイナー学校では1年生の頃から様々な感覚を使い、知見を重視する授業を行っています。小さい頃から心を動かす体験をたくさんすることで、生き生きとした知識が身につきます。また、個性を大切にしたい子どもの発達段階に沿ったカリキュラムは「あたま」と「こころ」と「からだ」が調和した、自ら考え、感じ、自分の意志で行動できる「真に自由な人」を育てます。実学や体験を重視したカリキュラムは最近注目されている「アクティブラーニング」の先駆けとも言えるでしょう。

今回の講座では、実際の授業で行われている「明暗素描」を体験いただきながら、子どもの観る力についてお伝えしたいと思います。



登壇者・団体紹介
大嶋まり(講師)・柳田真樹子・黒瀧のみ子(広報) / シュタイナー学園
お問い合わせ
yanagida@steiner.ed.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

103 お互いがお互いから学び合い・育ち合う —新人教師研修の試み

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1086

教師志望の若者・学生が減っていると聞く。無理からぬところである。国内外の各種調査によっても明らかのように、日本の教師たちが置かれている状況は過酷・異常極まりない。言うまでもないが、「幸せ(ハッピー)な教師」でなければ「幸せ(ハッピー)な教育」はできない。未来の学校がいかなる姿になるかはわからないが、人が生まれ育つ営みが続く限り、その学びと育ちに伴走する他者・教師の存在は不可欠である。教師志望の裾野をゆたかに広げ、素敵な教師を育てなければならない。まずは「隼より始めよ」である。本学園では、昨年度から「未来の学校づくりは教師育て」と考え、年間を通じての新人研修を始めた。多様な学びのプログラムがあるが、主軸は授業見学とその語り合いである。良い授業を創ること、その試行錯誤に向き合うことこそが教師の本懐であると考えているからである。当日は、その一端を報告する。



登壇者・団体紹介
菅間正道(自由の森学園高校教頭) / 自由の森学園中学校・高等学校
お問い合わせ
fwkw4825@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

106 不登校の子どもと楽しむ対話 「自分で引き受ける」

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1087

不登校の子どもたちから見える世界は、どんな世界だろう「大きなあきらめ」なのか? 大人への絶望なのか? または未来への期待なのか? 私たち寺子屋方丈舎は福島県会津若松市で20年前からフリースクールとして立ち上げました。私たちが行っている子どもとの関わりは、対話です。何かを説得するわけでも、カウンセリングするわけでもなくひたすら話を重ねてゆきます。子ども同士の関心が合わさった時に、変化が起きてゆきます。それは、自分を解き放つような変化でもあり、エネルギーが蓄積されてゆくことかもしれません。当日は、不登校の経験者との対話をおこないます。もちろん会場のみなさんもその中に入ってください。テーマは「自分で引き受ける」。私たちは、「自分で引き受けたくないこと」から逃げたくなることがたくさんあります。引き受けることは困難だと思っているから。引き受けることは、もっと成長できるチャンスかもしれないし、「引き受けたくない」ものまで引き受ける必要もありません。自分と社会との接点を探る「引き受け」かたを一緒に考えます。



登壇者・団体紹介
江川和弥(寺子屋方丈舎理事長) / 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎
お問い合わせ
egawa14@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

107 新しい時代に、新しい学びを! ～フリースクールの実践から～

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1087

フリースクール東京シュレでは、「子どもがつくる・子どもとつくる」をモットーに、約35年にわたって、様々な学び・活動をつくって来ました。

この企画では、日常の活動から大きなプロジェクトにいたるまで全ての活動が生み出される「ミーティング」、ミーティングで提案され、やろう!となったことを実践する「いろいろタイム」、様々なイベントを企画・運営する「実行委員会」など、フリースクールならではの学び・活動を具体的な実践と共に紹介し、新しい学びの在り方を、楽しく考えあう時間になりたいと思います。



登壇者・団体紹介
NPO法人フリースクール全国ネットワーク
お問い合わせ
info@shure.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

108 考える・書く・伝える ～TAGAKIが目指す英語教育の新たな可能性～

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1093

文科省主導で進む教育改革では、英語4技能(聞く・話す・読む・書く)や思考力・判断力・表現力、そして学習者主体のアクティブラーニングが求められています。このような改革を実現するために昨秋刊行された「TAGAKI」(多書き)は、Writingを活用して英語4技能を伸ばす、今までにはなかった新たな学習法です。従来の文法ベースではなくトピックベースで「考える」「書く」「伝える」を繰り返し行うことで、思考力・判断力・表現力を鍛えます。また多量の英語に触れ、書き、発音することで英語のインプットとアウトプットを同時に実現し、英語4技能の習得に繋がります。学習者が主体的に学びを進めることで多くの気付きと学びを獲得し、指導者は学習者の学びをサポートします、まさにアクティブラーニングの実践と言えるでしょう。



登壇者・団体紹介
松香洋子 / 株式会社mpi松香フォニックス
お問い合わせ
tak@mpi-j.co.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

109 なぜ、子どもたちの探究心に火がつくのか?

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1093

情熱大陸にも出演された教育の異端児、探究学舎の塾長宝槻さんと、NPOいきはぐで、学校の先生向けにコーチングを伝えている教育コーチの吉田の2人が、子どもたちの探究心に火がつくのかを徹底解剖します。探究学舎では、なぜ子どもたちが熱狂的に学ぶ授業ができていくのか?熱狂的にさせる要素はどんなものなのか?そして、学校教育や家庭教育の中にそのエッセンスをどうやって取り入れるのか?実践家である宝槻塾長の授業づくりや子どもたちの関わりを教育コーチの吉田がコーチングや脳科学的な観点で、体系的に解説をしていきます。このワークショップを通じて、子育てに、学校の授業に活かせる実践的な方法が必ず見つかります。



登壇者・団体紹介
宝槻泰伸・吉田忍 / NPO法人いきはぐ
お問い合わせ
s_yoshida@ikihug.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

112 「やってくるオープンキャンパス」 (学部お試し体験授業)

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1095

一般社団法人Foraが2万人を超える高校生に対して実施してきたキャリアゼミを体験できます。キャリアゼミは、「やってくるオープンキャンパス」をコンセプトにした、現役大学生が講師を務める出張ワークショップです。アクティブラーニング型の「楽しく、かつ、真剣な」授業を目指した高大接続ワークショップで、全10学部分の授業を提供します。生徒のやる気や進路意欲を高める学事を目指しており「大学で学ぶのが楽しみになった」「オープンキャンパスが楽しみだ」「自分でもっと調べてみたいと思う」と生徒が進路に対して前向きに、主体的になれるような動機付けプログラムを目指しています。今回は、その中でも、学部お試し授業の体験版を提供します。



登壇者・団体紹介
藤村琢己・伊藤 由紀子・工藤 理世菜 / 一般社団法人Fora
お問い合わせ
ito@fora.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

113 子ども目線で考える不登校学習支援と オンライン教材の活用

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1095

不登校児童生徒の学習は、どのように支援していけばよいのか——。不登校の子どもは増加し、2016年12月には教育機会確保法が成立。オンライン学習教材を含め、活用可能なツールが続々と誕生しています。不登校の子どもへの支援に関心を寄せる教職員や支援者、保護者の方々も多いのではないのでしょうか。一方で、不登校支援の実例は依然少なく、各種ツールの運用方法や具体的な効果などを知ることでできる機会は多くないのが実態です。本セッションでは、名古屋市教育委員会での不登校児童生徒の学習支援に関する取り組みを紹介し、取り組み内容や子どもの反応、検証結果にも触れていきます。また、今後トレンドになりうる各種支援法を題材としたワークショップも実施予定です。不登校児童生徒の学習支援に関心ある方のご参加をお待ちしております。



登壇者・団体紹介
原 和輝・森崎 晃 / 名古屋市教育委員会・スタディサプリ教育 AI 研究所
お問い合わせ
amorisak@r.recruit.co.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

110 本質に帰る「学級経営革命」 ～人を育てる究極のリーダーシップ

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1093

元商社マン、元中学校教師にして、最新実践心理学を用いて意識的行動はもちろん無意識的行動も感情も自在に変えることができる「心理行動学」ニュートラルベースNLP®の開発者&マスタートレーナーである木下山多(さんた)の3冊目の本「元商社マン教師の学級経営革命～人を育てる究極のリーダーシップ」(さくら社、2019年3月発売)をベースにした参加型、エンターテインメント型のワークショップ風講演会、お悩み相談・解消会を行ないます。講演の内容としては、「広く信じられている嘘、間違いを正す」として「わかりやすい授業をしない」「予習は成績を下げる」「生徒を変えようとする」「学級は厳しく管理しない」「いじめは無くなる」「[無くす]ことはできる」「教師に求められる在り方」として「上手にほめて、上手に叱る」「(行動)と(人格)を切り離す」「生徒にレッテルを貼らない」「(ALL OK)」「プロアクティブ型教師の ススメ」として「問題は起こるのが当然」「学校に通う意味、勉強が必要な理由」などを扱っていきます。講演会では質疑応答、お悩み相談も可能な限りお受け致します。関連書籍は書籍販売コーナーF1071及び講演会会場内で販売しております。



登壇者・団体紹介
木下山多・船坂綾子・松尾 浩 / (同) un-Limited School(アンリミテッドスクール)
お問い合わせ
santanonip@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

111 学校×地域×企業! 放課後ならではの育ちと学び

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1095

今の時代を生きる子どもたちにとって、どんな放課後が必要でしょうか。学校授業だけではなく、より社会とつながれる放課後ならではの学びがあります。近年注目されるSTEAMやPBLといった教育方針や形態も、カリキュラムに縛られずとことんトライ&エラーを繰り返すことができる放課後という時間に非常に親和性が高く、実際に成果をあげています。本セッションでは、放課後の時間に子どもたちの育ちも学びも社会全体で応援する世の中を目指し、具体的な事例を紹介すると共に多様な人との協働プロセスを体感するワークショップを開催します。今後ますますセクターを超えて子どもたちへの活動が活性化していくことを想定し、多様な立場の人が関わる中でどのようにプロジェクトを遂行していくかを体感してもらいます。



登壇者・団体紹介
平岩国泰 / 放課後NPOアフタースクール
長浜洋二 / モジコンサルティング合同会社
お問い合わせ
info@npoafterschool.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

114 探究あるある行き詰りポイントへの処方箋 ～生徒がイキイキ取り組む探究活動を目指して～

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1096

「探究活動にどう取り組んでいこうか?」「もっと生徒の学びを深められる探究活動を行いたい!」さまざまな想いで、現場で探究活動に奮闘されていらっしゃる先生方も多いことと思います。せっかく取り組む探究活動、やるからには、生徒にとってより深い学びにつながる活動にしていきたいですね。ここで、「探究活動あるある行き詰りポイント」をお伝えし、行き詰りポイントに対する対策についてお伝えをしていきます!こんなお悩みがある先生方、ぜひお越しください!
●探究活動、そもそもまだあまりよくわかってない、検討を進める上で何に気を付ければいい?
●生徒に主体的に動いてもらうには、どうすればいい?
●生徒の成果物の内容が調べ作業の域をでない、質を上げたい
●先生同士の意識の差や指導のバラつきをなんとかしたい…etc
いっしょに探究活動を盛り上げていきましょう!



登壇者・団体紹介
神原洋子 / ESN英語教育総合研究会
お問い合わせ
hiroshi.takehana@nellies.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

115 企業人材から逆算で考える 中高生・教師が知るべき社会のこと

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1096

「SDGs×問題解決」をテーマに大人の実践型のビジネススクールとして2008年から始まったvery50のMOG。過去に1300人以上の卒業生たちをアジア新興国に送り出し、社会課題解決を通じた実践型のマーケティング、深堀のための思考法、アイデア創出法など様々なものを机上の空論ではなく、リアルな世界のなかで行ってきました。この10年間で特に実社会の企業人たちの競争力の低下、元気のなさを現場から感じます。特に大企業の人材の勢いのなさは顕著に感じます。企業の現状から逆算して考え、いま中高生やそして教員の方々が学ぶべきものを考えていきたいと思います。「探究」の本質的な意味合いを先生方にも探究頂けるような時間にできればと思います。
内容概要:
●なぜ「自分の頭で考え抜く」が前以上に重要になっているの?
●途上国＝SDGsと考えている愚かさ～新興国の勢い～(インドネシアなど)
●問題解決思考×PBLの今後の展望



登壇者・団体紹介
ESN英語教育総合研究会
お問い合わせ
hiroshi.takehana@nellies.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

116 ファクトで見る小学校英語の現状と未来

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1096

2020年から大きく変わる小学校外国語(英語)。小学校での取り組みの現状は? グローバル化する社会の中での意義とは? 浮かんでくるであろう様々な問いに対して、ファクトの積み上げと、アクティビティ体験により、小学校外国語(英語)の課題に気づきその分析と解決策への道筋をともに考える。今後、公教育での小学校外国語(英語)はさまざまな課題に直面する。教科書やデジタル教材の充実、その活用のためのICT環境整備が急がれる中で、専門性を持つ指導者の絶対数の不足、教員の養成や研修も喫緊の課題である。目まぐるしく進化する翻訳機器を活用すれば、数世代後には外国語を学ぶ必要性はなくなるのだろうか。児童期から英語をはじめとした外国語に触れることがなぜ大切か、これから生きる子どもたちにとってどのような意味をもつのかを考えたい。



登壇者・団体紹介
狩野晶子 / ESN英語教育総合研究会
お問い合わせ
hiroshi.takehana@nellies.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

117 地域が学校となる! 夢と未来を探究する授業

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1103

探究・アクティブラーニング・対話的で主体的な深い学び・ポートフォリオ・キャリア教育。それらの目的は、生徒たちの夢と未来に向けた使命感を創ること、そのための学びへの意欲を育てることだと思いました。それら全てを達成する授業を目指し、教科の枠や学校の枠を超えて社会と結びつける、地域と結びつける授業を行いました。自分たちの関心のあるテーマについて、一緒にディスカッションしたい専門家や、その課題に直面しているだろう一般市民の方々と、自分たちで集めて実施する授業。地域の方も、専門家の方も、学生たちも、150人以上が集まり、真剣に自分たちの課題について考えた授業の実践紹介をいたします。



登壇者・団体紹介
佐々木綱衛・三浦学苑高等学校
お問い合わせ
sasaki-koei@miura.ed.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

120 わくわくエンジン®が未来をつくる ～一人ひとりを活かすキャリア教育～

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1104

「わくわくエンジン」とは、「わくわくして動き出さずにはられない原動力」のことです。子どもも大人も一人ひとり、全ての人がわくわくエンジン®を持っています。子どもが自分だけのわくわくエンジン®を発見して自らが学ぶ意味に気づいて納得することから、子どもの行動は主体的なものに変化していきます。それがキャリア教育の第1歩と考え、私たちは独自のプログラムを学校に提供し、1歩踏み込んだキャリア教育を子ども達へ届けています。わくわくエンジン®の概念をわかりやすく説明し、プログラム実施の事例を紹介しながらプログラムの魅力をお伝えします。主体的・対話的で深い学びが求められる今、教える力ではなく、「引き出す、認める、伴走する」というファシリテーションの力が重要です。子どもの自主性をファシリテートするときにお困りのことなどを私たちや参加者の皆様と話し合ってみませんか。

参考①:第7回キャリア教育アワード経済産業大臣賞(各部門の最優秀賞)を受賞
参考②:yahoo ニュースで3日間で80万pvとなった記事
「ふつうの主婦」が見つけた「わくわくエンジン」のかけ方(湯浅誠氏)
<https://news.yahoo.co.jp/byline/yuasamakoto/20170426-00069685/>



登壇者・団体紹介
内藤幸久・入澤 真由美 / 認定NPO法人 キーパーソン21
お問い合わせ
info@keyperson21.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

121 かえつ有明の探究学習体験!

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1104

かえつ有明中・高等学校では、開校より、学び方を学び、思考するためのスキルとマインドをトレーニングするサイエンス科という教科を、中学全教科の教員が協働しながら取り組んでいます。そして、4年前より高校新クラスというPIL型・PBL型・TOK型の学びに取り組むクラスを新設し、その中でプロジェクト科というサイエンス科の発展版の教科も展開しています。そんなかえつ有明での探究的な学びを教育関係者・学校の先生方に体験いただき、探究学習に取り組んでいくためのスキルやマインドをどのように育てていくか一緒に考える時間が持てればと思っております。



登壇者・団体紹介
田中理紗・大木 理恵子・古賀裕也
／かえつ有明中・高等学校 サイエンス科・プロジェクト科
お問い合わせ
tanaka@ariake.kaetsu.ac.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

118 探究の鉄人

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1103

探究学習が注目を集めています。しかし、いったいどんな学習なのか?従来の学習と何が違うのか? 具体的にどのように進めていけば良いのか?探究学習についての理解は人によって様々だと思います。そこで探究の鉄人では、日頃から探究学習を教育現場ですすめている鉄人たちをゲストに招き、それぞれの思想や手法で探究授業のデモンストレーションを行なっていただくというイベントです。来場者はそれぞれの鉄人の授業に参加して、探究学習に対する理解を深めるとともに、「料理の鉄人」のように投票し、チャンピオンを決定します!



登壇者・団体紹介
宝槻泰伸(探究学会)・矢萩邦彦(知窓学会) / 探究学習コンソーシアム
お問い合わせ
yasunobu@tanqgakusha.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

119 いじめ問題の心理学、その理解と対応

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1104

学校で起きるいじめが深刻化し、その対応に教職員の皆さんは大変苦慮しています。いじめの有無が把握できず、その対応に頭を抱えている間に問題が深刻化するというのが現状です。では、なぜ教育現場がここまで混乱し、対応に行き詰ってしまうのか?原因は次の2つです。

- ①子どもたちがいじめ等の告白や証言をしてくれない。
 - ②いじめを解決する「手立て」とその「手順」がわからない。
- 逆にいうと、この2つの問題を解決する道筋を知ることが、いじめ問題の解決に直結する取り組みだといえます。本講座はこの2点を様々な立場や視点から捉え直し、いじめ側の心理、傍観する側の心理、そしていじめを告白できない心理を理解し、解決するための「手立て」と「手順」をお話いたします。



登壇者・団体紹介
心理カウンセラー・講師
お問い合わせ
counselinglife@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

122 教育とEducation グローバル化時代に 教員・保護者が知るべきこれからの進路選択

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1105

文科省は、グローバル人材育成の観点から、国際バカロレア(IB)の普及・拡大を推進しています。従来の偏差値型から、多様な価値観の中で、多様な進路選択へ幅が広がっています。グローバル進歩を視野に入れた改革を行う中高も出てきました。今後はアジアを中心とした全寮型のボーディングスクールへや、インターナショナルスクールも増えていくと考えられています。世界でボーディングスクール、インターナショナルスクールが拡大しています。これにより生徒・保護者の選択肢は、これまでよりも複雑で多様化しています。VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)と呼ばれる時代を生き抜くため、教育従事者・生徒・保護者はどのような学校や進路選択はすべきでしょうか?



登壇者・団体紹介
津吹達也・安居長敏・福田 崇 / The International School Times
お問い合わせ
mmurata@gsacademy.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

123 中学生・高校生に向けた新時代のテキスト

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1105

学校教育の視点からパブリック・リレーションズ(Public Relations:PR)のコアとなる3つの概念、「みんながハッピーであること」(倫理観)を基にして、相手のことを考えながら「対等に対話を重ねる」(双方向コミュニケーション)、「試行錯誤しながら良い方向を決める」(自己修正)を学びます。テキストは、実際に起こった豊富な事例から構成され、事例については分かりやすく漫画で表現されています。正解のない実社会で「考えること」の多様性や自身を取り巻く多様な関係者(ステークホルダー)との「関わる力」を伸ばすことをこのテキストを通して学ぶことができます。総合的な探求の時間やプロジェクト型の授業、アクティブ・ラーニングといった生徒主体の授業に最適な内容です。



登壇者・団体紹介
井之上 喬・小林 潤一郎・山本崇雄
／株式会社日本パブリックリレーションズ研究所
お問い合わせ
goh.minamiru@japan-pri.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

124 不登校・かくれ不登校、親・教師の対応は…。～不登校から学ぶ、多様な社会のあり方とは～

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1105

2018年度文科省が発表した不登校の児童・生徒の数14万人にのぼります。また、最近では学校は行っているが教室には入れないなど「隠れ不登校」と呼ばれる現象も取り上げられるようになり、その数は33万人とも言われています。

そのような今、国の不登校政策は大きく変容しています。2016年には「不登校は問題行動と判断してはならない」「不登校児童生徒が悪いという根強い偏見を払拭」「学校復帰のみにとらわれない」という方針が打ち出されたり、休養の必要性や学校以外の場の重要性が記載された教育機会確保法が国会で成立したり、教育現場が学校のみという状況が確実に変わってきています。

今回、このセッションではそのような社会背景を踏まえつつ、学校に行かないという選択をし、多様な生き方で生きてきた若者たちに登壇してもらい、不登校という選択した子どもたちにどのような対応や支援を考えて行けば、彼らが自己肯定感を持ち、未来に向かって進路を築けるかを考え合う時間にします。



登壇者・団体紹介
NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク
お問い合わせ
info@futoko-net.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

125 特別支援教育のわかる、できる校長の作り方

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1106

■校長のマネジメントを問う
発達障害などの発達の特性、課題を持つ児童生徒に対して理解と受容をし、合理的配慮をする特別支援教育が進展しています。一方で、専門スキルを持つ教職員を育成する仕組み、学校の中のチーム体制、外部のリソースとの連携など、課題も未だ多く山積しています。校長の判断、意思決定、評価などのマネジメント、リーダーシップが立ち遅れていることも大きな課題です。高校では希少な、特別支援教育実践校である明達館高校での実践発表と、現在校則の廃止、定期試験の廃止、インクルーシブ教育などで注目を集めている桜丘中学校(東京都世田谷区立)の西郷校長が校長の仕事ぶり、視点を語ります。そして校長のあり方が学校改革の決め手になる道理と原理原則を語ります。



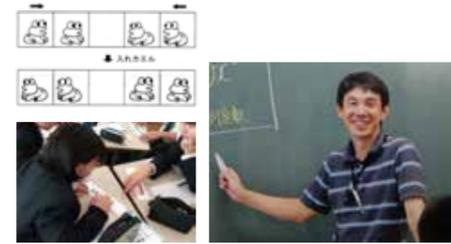
登壇者・団体紹介
西郷孝彦・日野公三 / 令和の時代の校長改革研究会
お問い合わせ
kozo.hino@at-mhk.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

128 「6 Numbers Mystery」 「カエル跳びゲームに挑戦！」

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1114

公立中学の現職の人気数学教師によるテッパン授業です。1桁の足し算が出来ればOK! 難しい数学は一切使いません! 小学生から大人まで、老若男女誰でも楽しめます! まるでマジックの様な不思議な計算結果にアツと驚き、まるで推理小説の様にその理由を文字式を使って自ら解き明かして行きます。今回あつかう2つの教材「6 Numbers Mystery」「カエル跳びゲーム」は、どちらも簡単なゲームの中に隠された法則性を、帰納的に捉え、文字を使って論理的に解明できるところに面白さがあります。このことから、文字を使う有用性や利便性を感じることをねらいとしたい。また、単純なゲームの裏に隠された法則を解決していく過程で、学ぶことの楽しさ、解決したときの達成感・満足感を味わってほしい。



登壇者・団体紹介
岸 順一 / 数学ネタ研究会
お問い合わせ
corazon-abierto@nifty.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

129 数学デー in 未来の先生展

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1114

現在都内で週二回、「数学デー」というイベントが開催されています。これは、「数学が好きの人またはそうでない人がなんとなく集まる部屋っばいやつ」というコンセプトで開催されている交流イベントです。毎回10~20人程度、下は中学生から上は50代以上まで、性別も職業も異なる人たちが集まります。こうした人たちが対等に、数学の議論をしたり、数学で遊んだりしています。交わされる数学は、学校で習うものもあれば、そうでないものもあります。この企画では、数学デーでこれまで扱われた内容のいくつかを紹介し、またワークショップとして、実際に数学デーを体験して頂きたいと思います。立場の異なる人たちが同じ話題で盛り上がることや、数学で遊ぶことの楽しさを味わってください。



登壇者・団体紹介
キグロ・鯉坂もつちよ・Euchaeta / 数学デー
お問い合わせ
kiguro.3.14@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

126 世田谷区立桜丘中 西郷改革の陰には特別支援教育の視点あり 合理的配慮は教育の本質を問う

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1106

学習障害への合理的配慮。通常の学級でICT機器を使う様子がTV等に取り上げられてはいても、我が校での実施となるとハードルが高い。そう思いませんか? 通常の学級で学習に著しい困難を示す子供は4.5%ほどいとされ(文科省)、日本語における書字障害の出現率は8%とする調査もある今、この問題は他人事ではありません。合理的配慮を実施に移すコツは何か。実態把握に徹すれば、合理的配慮は自然と見えてきます。話題沸騰の世田谷区桜丘中学校、その活気の秘訣は実態把握。試験での合理的配慮は常時20名を超えます。この春から定期試験もやめたという西郷孝彦校長から桜丘中改革を余すところなく紹介。特別支援教育の視点について文科省田中調査官が解説。「読み書きの配慮が叶える未来」についてお届けするセッション(2部構成)の第1部。



登壇者・団体紹介
西郷孝彦・田中裕一・菊田史子 / 一般社団法人 読み書き配慮
お問い合わせ
support@yomikaki.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

127 さらに深掘り! 合理的配慮 ~読み書き配慮が興す現場革命~

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1106

学習障害への合理的配慮。通常の学級でICT機器を使う様子がTV等に取り上げられてはいても、我が校での実施となるとハードルが高い。そう思いませんか? 通常の学級で学習に著しい困難を示す子供は4.5%ほどいとされ(文科省)、日本語における書字障害の出現率は8%とする調査もある今、この問題は他人事ではありません。ここでは第1部セッション(15:00-16:00)で取り上げた合理的配慮をさらに深掘り。制度理解、評価は? 別室の用意は? 試験監督は?等々、桜丘中学校の実例に迫ります。また、全国学テ、英検、高校入試の配慮など、多数の事例や全国の実施について、文科省田中調査官が解説。参加者とディスカッションします。「読み書きの配慮が叶える未来」についてお届けするセッション(2部構成)の第2部。



登壇者・団体紹介
西郷孝彦・田中裕一・菊田史子 / 一般社団法人 読み書き配慮
お問い合わせ
support@yomikaki.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

130 タカタ先生のお笑い算数教室

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1114

高校の数学教師&吉本芸人&興味開発塾「探究学舎」講師のタカタ先生による、世界一笑える算数の授業です! 算数好きはもちろんウエルカムですが、算数が嫌いな人・苦手な人ほど、だまされたと感じて見に来て欲しい! 算数の話で爆笑したり、算数の話で「ええ!!!!!!」と驚いたり、算数の話で「なるほど!!!」とヒザを打ったりの連続で、きっとあなたは月曜に学校や会社でココで聞いた算数の話を披露したくなる事でしょう! 何も考えず、ただただ算数の話を楽しみに来て下さい!

お話のタイトル
『古代文明の数字』『教科書のキャラクターは算数がNo.1.』『歌詞バクリ疑惑を数学で解明』『聖書は数学的に正しかった』『数学教師の漢字テスト』『恋の方程式は交換法則が成り立つのか?』『エッシャーとトリックアートと数学』



登壇者・団体紹介
高田和典 / 日本お笑い数学協会
お問い合わせ
takatasensei@gmail.com

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

131 SDGs for School ~SDGsを通じて教室と社会と未来をつなぐ~

日時 ● 9月15日 10:30—12:00 会場 ● 1115

SDGs for Schoolは、持続可能な社会創生のための教育を実践する現場の先生と生徒を応援するプロジェクトです。SDGsを楽しく、わかりやすく学べる教材として2018年5月に「未来を変える目標 SDGsアイデアブック」を発行し、全国500校で使われています。8月には各地の指導者をつなぐ研修と交流の場を実施し、子どもたちを環境問題の現場「ボルネオ島」に連れて行くツアー型授業を行う予定です。SDGsを学ぶのではなく、SDGsを「世界と生徒をつなぐパスポート」と考えることで、これまでとは全く異なる教育のデザインが可能になりました。実際に、SDGsを学んだ中学生、高校生、大学生が自主的に動き始めています。こうした実績をお伝えしながら、参加者のみなさんとともに、教室と社会をつなぐ未来の教育デザインを考えてみたいと思います。SDGsをキーワードに、教育の現場から「未来を変える」動きを一緒につくっていきましょう! (SDGs for Schoolではウェブサイトからティチャー登録受付中です)



登壇者・団体紹介
山藤旅間・上田社一 / 一般社団法人Think the Earth
お問い合わせ
sasao@spaceport.co.jp, ueda@spaceport.co.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

132 教員・スクールリーダーに必要な資質・能力とは?

日時 ● 9月15日 15:00—16:00 会場 ● 1115

新学習指導要領では教育の新たな方向性が示されました。世界中で教育を通して育成すべき生徒の資質・能力が議論されていますが、それを育成する教員・校長をはじめとしたスクールリーダーに求められる資質・能力(コンピテンシー)とはどのようなものか?新たな学びを実現するためにユネスコが始めたプロジェクトの紹介、指導者に求められる資質・能力の紹介をしながら、参加者皆でこれからの教育を考えます。



登壇者・団体紹介
木村大輔 / 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)
お問い合わせ
daisuke@j-gift.org

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

133 サスティナブルな学力を育もう! ~教科書の“先”をつくる子を育てるGEMSのアプローチ

日時 ● 9月15日 16:20—17:50 会場 ● 1115

現代は“VUCA(変動・不確実・複雑・曖昧)の時代”だと言われています。刻々と変化する世界の中で、これが正解と単純に決められない問題が山積みです。そのような時代の中で生きていくために必要な力=サスティナブルな学力を育む教育が注目されています。

GEMS(ジェムズ)は、カリフォルニア大学バークレー校で開発された、幼稚園から高校生までを対象とした科学と数学の参加体験型プログラム。子どもたち自身で実験を企画し話し合い、結論を導き出していきます。そして、大人はファシリテーターとして、子どもたちの多様性を活かしながらかつていくなりの学びの場をつくっていきます。このセッションでは、体験を学びにつなげるプログラムの組み立て方や、子どもたちの探究心をくすぐる声掛けなどなど...ご自身が学習者になることで、「主体的・対話的で深い学び」のプロセスがどのように進むかを体験することができます。



登壇者・団体紹介
鴨川 光・柴原 みどり・垂水 恵美子
/ 公益社団法人日本環境教育フォーラム/ ジャパンGEMSセンター
お問い合わせ
gems@jeef.or.jp

シンポジウム ワークショップ 講演会 その他

134 未来の先生展 2019 記念鼎談 「これまでの学校・これからの学校」—学校教育における不易流行をつむぎ出す—

日時 ● 9月15日 13:00—14:30 会場 ● 1013 リバティホール

教育改革が各所で叫ばれるようになった今日、既存の日本社会が構造転換するとともに、学校教育のその在り方や内容について構造転換が進められています。この中で、果たしてこれからの社会を生きる若者をはぐむ学校とはどのようなものになるのでしょうか?

「学校の「当たり前」をやめた。」の著書で有名な日本中が注目する麹町中学校 校長 工藤勇一 先生、明治大学を変えた型破りなリーダー 明治大学学長 土屋 恵一郎 先生、ライフネット生命創業・日本を代表するオピニオンリーダー 立命館アジア太平洋大学学長 出口治明 先生をお呼びして、それぞれの取り組みを発表していただきます。お互いの哲学、実践など共通点を照らし合わせる中で、学校教育における不易と流行を紡ぎだしていきます。



工藤勇一 氏 土屋恵一郎 氏 出口治明 氏

工藤勇一 氏

東京都千代田区立麹町中学校校長
1960年山形県鶴岡市生まれ。

東京都理科大学理学部 応用数学科卒。

山形県公立中学校教員、東京都 公立中学校教員、東京都教育委員会、目黒区教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長を経て、2014年から千代田区立麹町中学校校長。教育再生実行会議委員、経済産業省「未来の教室」とEd Tech研究会委員等、公職を歴任。

土屋恵一郎 氏

明治大学 学長

1946年、東京都生まれ。

明治大学法学部卒業、同大 大学院法学研究科博士課程単位修得満期退学。

2016年4月より学長。専攻は法哲学。ベンサム研究の第一人者「怪物ベンサム」(講談社学術文庫)。身体論とりわけ能楽・ダンスについての評論でも知られる。

90年『能—現在の芸術のために』(岩波現 代文庫)で芸術選奨新人賞受賞。

出口治明 氏

立命館アジア太平洋大学 学長

京都大学法学部卒業後、同年日本生命保険相互会社 入社。

ロンドン現地法人社長、国際業務部長などを歴任し2006年退職。東京大学総長室アドバイザーなどを経て、2008年ライフネット生命保険株式会社を創業し、2012年に上場。社長、会長を10年間務める。2018年1月、国際公募で選ばれ立命館アジア太平洋大学(APU)学長に就任。

株式会社 アジアンドキュメンタリーズ

教育に活用できるドキュメンタリー映画の配信サービスご利用体験

ドキュメンタリー映画の動画配信で、アジアを知る、学ぶ、考える機会を提供するサービスです。
環境・戦争・民族・貧困などアジアの深刻な社会問題に切り込む作品を年間約80作品お届けします。ドキュメンタリーを題材に専門家が独自に解説するコンテンツもあります。アジアの諸問題をリアルに感じることで、“社会を生き抜く力”を育む教材としてご活用いただけます。

担当者
株式会社アジアンドキュメンタリーズ
お問い合わせ
info@asiandocs.co.jp https://asiandocs.co.jp



一般財団法人 エン人材教育財団

働くことの本質と向き合う キャリア教育プログラム&スクールのご案内

「あなたは誰のために、どんな仕事で役立ちたいですか?」私たちエン人材教育財団は、「仕事を通じた社会課題の解決、社会への貢献を志す人材の育成」を目指して、大学生向けのキャリア教育事業を展開し、過去5000人の学生に学びの機会を提供してきました。今年度からは、18歳~30歳の若者向けに、社会課題解決型人材育成スクール事業も開始しました。今回の展示ブースでは、私たちが行っている【働くことの本質を考えるキャリア教育プログラム】の内容や【社会をよくする×ビジネスを学ぶスクール】についてご紹介させていただきます!皆様と、「働く」ことや「将来」を一緒に考える機会になれば幸いです。

担当者
エン人材教育財団 足立
お問い合わせ
Tel:03-3342-3906 https://en-hec.or.jp/



株式会社 JTB

教育ソリューション全般(キャリア教育、探究、SDGs、グローバルリンクシンガポール、キャリア甲子園etc)

「JTB×教育」~Society5.0時代の教育へむけて~
急激な社会の変化に伴い、大きく変わり始めている「教育界」。
JTBは、学校行事が生み出す多様な価値に注目し、新しい時代が求める子どもたちの資質・能力を育む様々な機会を提供致します。

担当者
株式会社JTB 教育事業ソリューションセンター
お問い合わせ
Tel:03-5909-8051 h_kobayashi500@jtb.com

株式会社 LITALICO

LITALICOジュニアの教材、LITALICOワンダーに通われているお子様が作成されたゲーム等

LITALICOは、「障害のない社会をつくる」の実現に向け、一人ひとりの好きなものや得意なことを生かした授業を組み立てることで、お子様の「できた!」を増やし、生きる土台となる力の獲得を目指す、ソーシャルスキル&学習教室「LITALICOジュニア」、子どもが新しいアイデアや方法を自分で考え出し、形にするための試行錯誤を繰り返すIT×ものづくり教室「LITALICOワンダー」を運営しています。また、教室での知見をいかした知育アプリの開発や研究所での指導方法の効果検証なども取り組んでいます。

担当者
株式会社LITALICO 森崎・木村
お問い合わせ
litalico_seminar@litalico.co.jp

株式会社 アスコン

オリジナルWindowsデジタイザータブレット

教育現場の声から生まれた、アスコンオリジナル製造 Windowsデジタイザータブレット「AT-07」(10.1インチ/定価35,000円)。初期設定や個人設定、アプリ設定などキックアップも自社で対応可能。「AT-07」以外にも、必要なスペックをヒアリングしてからのオリジナルタブレット製造のご相談も受付中。

担当者
株式会社アスコン
お問い合わせ
info@ascon.co.jp(代表)

株式会社 COMPASS

AI型タブレット教材 Qubena(キューベナ)

AIが生徒一人ひとりの習熟度に合わせて最適な問題を出題するアダプティブラーニング教材で、学習の深い理解と定着、学力差の解消を支援します。
千代田区立麹町中学校でも約2倍の速さで授業を進め、探求学習を行う時間を創出するなど高い効果を発揮。
ブースではQubenaの体験や、学校の特徴に合わせた授業での活用方法も相談できます。

担当者
株式会社COMPASS 法人事業部
お問い合わせ
Tel:03-6805-5829 sales@compass-e.com https://qubena.com/

株式会社 トモノカイ

「高等学校向け、総合的な探究の副教材」を展示します。

高等学校における総合的な探究の副教材「一生使える探究のコツ」をブースにて展示します。展示するものは2冊。緑色の「実践の手引き」は「探究の練習試合」と称し、テキストに沿いながら行動することで探究の4つのプロセスに慣れていくもの。黄色色の「思考の手引き」は「探究の筋トレ」と称し、情報収集や整理・思考の仕方など探究に必要な基礎力を体系的に見に着けるものです。
ブースでは3分のアニメーション説明動画を流していますので、ぜひ立ち止まってご覧ください!

担当者
株式会社トモノカイ 川口・神原
お問い合わせ
Tel:03-5766-2006 tankyu_info@tomonokai.net https://tankyu-skill.com/

キンコース・ジャパン株式会社 (6F リフレッシュスペース)

Kinkos基本サービスの紹介・相談も可能です。

プリントのことなら、必要ときに、必要な数だけオーダー可能なキンコースへ。キンコースは東名阪を中心に、国内58店舗を展開。ポスター、展示パネル、論文製本、名刺、ノベルティ、スキャニングサービスなどを提供しています。店舗には各種サービスについて、相談可能な専門スタッフが常駐しており安心です。今回はminiキンコースとして、キンコースで作成できるグッズを中心にご紹介いたします。

担当者
キンコース・ジャパン株式会社 店舗運営部 松本由美子
お問い合わせ
Yumiko.matsumoto@kinkos.co.jp



ASIAN Documentaries

アジアンドキュメンタリーズ

世界を《知る・学ぶ・考える》

<https://asiandocs.co.jp/>



プラスチック・チャイナ

2016年製作 / 中国 / 作品時間88分

中国政府は、プラスチック・ゴミの世界的な輸入大国でしたが、2017年末それらの輸入を禁止しました。このドキュメンタリー映画が中国社会に与えた影響によると言われています。それによって、日本国内で廃棄されたプラスチック・ゴミの保管量が増加するなど、日本にも影響を与えています。つまり、日本は自国の廃棄物の処理を中国の貧困層に依存していたこととなります。さらに、そこで働く人々の健康をも蝕んでいます。こうした現実、日本国内でもあまり知られていません。早急に使い捨てプラスチックの段階的廃止を打ち出したフランスや台湾に比べ、日本は無策と批判されても仕方がない状況です。アジアの未来を考える時、国内だけに目を向けては、根本的な問題解決にはなりません。社会問題は、国、地方、企業、家族、そしてひとり一人の人間の小さな心がけや思いやり、気づかいが社会を変えていく力になるのです。

環境・貧困・家族

ドキュメンタリー映画で“社会を生き抜く力”を育む

厳選した
配信作品

- 「衝撃」 知られざる衝撃的事実との出会い
- 「感動」 深い理解と共感から生まれる感動
- 「覚醒」 自らが奮い立つような意識の覚醒

1年間で約80本を
有料で動画配信

月額見放題 900円(税抜)
単品購入 450円(税抜)
団体一括割引もあります。



女性差別

明日がもたらすもの
教育を求める少女たち

2017年製作 / 76分 / アフガニスタン
教育を受けられない少女たちを
なくすために奮闘する人々



戦争

#シカゴガール
ネットVS独裁者

2013年製作 / 74分 / シリア・アメリカ
インターネットを駆使して
独裁政権打倒に挑む女子大学生



貧困

未来を写した子どもたち
【アカデミー賞受賞作品】

2004年製作 / 85分 / インド
インド最大の売春窟で暮らす
子どもたちの現実と希望



教育

教育革命
The School in the Cloud

2018年製作 / 85分 / インド
インターネットで学校や教育の
新しい可能性に挑む取り組み

アジアンドキュメンタリーズを通して育む6つの力

- ① 海外(=主にアジア)に目を向ける意識と相手を理解する力
- ② 社会問題を立体的、多面的にとらえ、自ら考え意見できる力
- ③ 試験問題のような正解がない、より現実に寄り添って学ぶ力
- ④ 作品の意図を読み解き、作品と対話しながら主体的に学ぶ力
- ⑤ とらえる・まとめる・つたえるという、総合的に表現する力
- ⑥ 人生を知る・生きる価値を知ることで、自ら奮い立たせる力

- ◆ 生徒全員に一人ずつIDを発行しネット環境で視聴。
- ◆ 見たい作品を 何本でも いつでも自由に視聴可能。
- ◆ 学校や団体主催による上映会実施可能な作品もあります。

〔配信・運営〕株式会社アジアンドキュメンタリーズ
TEL・FAX : 03-6876-2298
Eメール : info@asiandocs.co.jp



MIRAI no SENSEI 2019 POSTER SESSION

ポスターセッション 09/14・15 両日

01 DEAD TEACHERS SOCIETY デッド・ティーチャーズ・ソサエティの活動紹介

児童・生徒・学生のみんな、そして保護者のみなさん
そしてそれを支える教育経営者のみなさん

シンギュラリティ、サステナビリティ、グローバル化、デジタル化、超成熟化…
Post Truth時代を生き抜くための教育は、見つかりましたか？
もし一巡して心にモヤモヤが残っていたら、ここにぜひ戻ってきてください。
DTSと一緒に、自ら求める変化を起こしていきましょう。

担当者〇 DEAD TEACHERS SOCIETY (デッド・ティーチャーズ・ソサエティ)
お問い合わせ〇 jdeadteacherssociety@gmail.com

02 DEAD TEACHERS SOCIETY エデュカソン®で創ろう！ 僕・私(わたし) 立の夢の学校

・これまでに学びのワークショップ「エデュカソン®」でデザインしてきた、新たな「学校」の可能性の一部ご覧に入れます。
・各日数回ずつ、ブース前でライトニングトークを予定しています。他所では聞けない、学校や先生についての本音トークが炸裂するかも！
・イベント中は、オンラインを交え双方向同時展開。モバイルで集めたみなさまの生の声を、ウェブ、ブースにてリアルタイムに表示します。
・詳しくはブースまで、もしくはTwitter: @DeadTeachers をフォロー！

担当者〇 DEAD TEACHERS SOCIETY (デッド・ティーチャーズ・ソサエティ)
お問い合わせ〇 deadteacherssociety@gmail.com

03 一般社団法人 才能開発支援機構 職員室の風土改革及び教職員のチームビルディング

教員として自分の才能を活かすには、真に機能的なチームになる方法とは。これらの問いに対しての掘りどころとなるのがTalent Focus® (タレントフォーカス)です。組織改革、幹部養成のプロフェッショナルの知見から生まれたTalent Focus®。一人一人の才能を活かしたうえで職員室の風土改革、即効的でありなおかつ持続可能な教職員のチームビルディングについてお伝えします。2020年度Talent Focus®実証校募集のご案内。

担当者〇 一般社団法人 才能開発支援機構
お問い合わせ〇 info@bloomyourtalent.world

04 一般社団法人 才能開発支援機構 生徒指導における子どもの才能の見立て方

組織改革、幹部養成のプロフェッショナルの知見から生まれたTalent Focus®。たった5分で判明する才能のありか。教員が生徒の才能の在りかをいち早く理解し適切に対応することで、成功体験獲得の大きな起爆剤になります。〈Talent Focus®活用校の先生方からの声〉自分の才能と相手の才能を理解して共有し、それぞれの才能を活かすことが集団の中での生きやすさにつながるということが具体的によくわかりました。

担当者〇 一般社団法人 才能開発支援機構
お問い合わせ〇 info@bloomyourtalent.world

05 株式会社 教育測定研究所 英ナビ! のご紹介

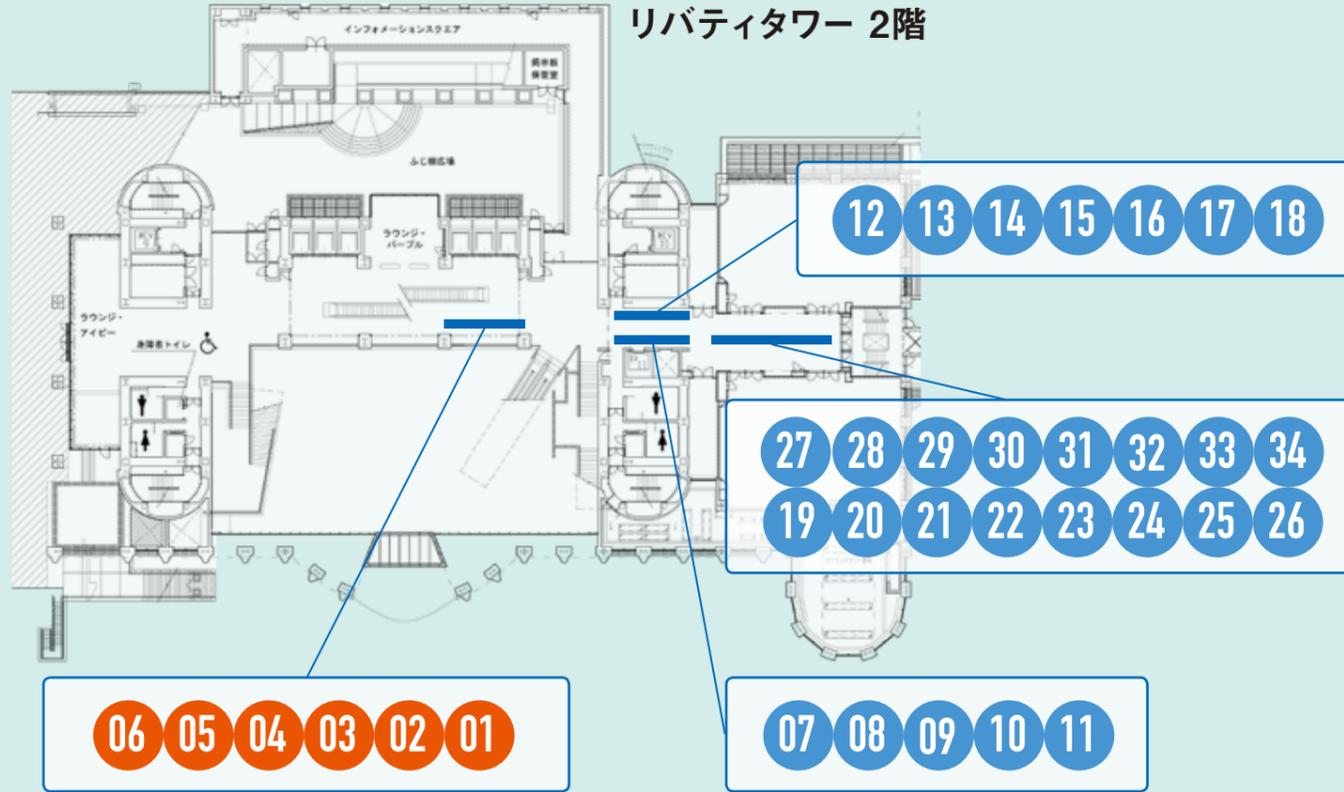
「英ナビ!」は、英語学習に役立つ最新情報、着実なレベルアップを実現するオンライン学習サービス、精度の高い英語力測定アプリ、国内最大規模の実用英語技能検定「英検」オンラインお申し込みなど、英検の受験者をはじめ、あらゆる英語学習者の学習を支援するWebポータルです。「英ナビ!」の活用法についてご紹介いたします。

担当者〇 株式会社 教育測定研究所
お問い合わせ〇 jidoeiken@jiem.co.jp

06 株式会社 教育測定研究所 英検Jr.オンライン版のご紹介

英検Jr.は、公益財団法人 日本英語検定協会が主催する、子どものための「育成型」英語テストです。英検Jr.をさらに身近なものに感じ、「子どもたちに英語の楽しさをもっと知ってほしい」という願いをこめてスタートしたのが「英検 Jr. オンライン版」です。英検Jr. 対策としてはもちろん、おうちの英語リスニング学習にもご活用いただける英検Jr. オンライン版のご紹介をいたします。

担当者〇 株式会社 教育測定研究所
お問い合わせ〇 jidoeiken@jiem.co.jp



ポスターセッション 09/14

07 協同教育カフェ・相模原市立上鶴間中学校
集団を育て、自分の良さを伸ばす生徒主体の学び
コーペラティブラーニングの実践を通して

生徒中心の学びをどう作るのか。課題・熟考・対話・発見・振り返りの流れと、対話をより深化させるチームビルディングのあり方と、それを意識した学習活動の流れがどのように作用し合っているのか。それらを図解したポスターを掲示。セッションでの内容を体系的に一望できるようにポスターセッションの場を作りたいと考えています。セッションより、さらに身近に多くの方と接することができる場になれば良いと思っています。また、多くのアクティブラーナーと交流を持つ機会になればと期待しています。

担当者○協同教育カフェ・相模原市立上鶴間中学校
 お問い合わせ○guri2punch@gmail.com

08 愛媛大学教育学部科学教育
創造性を涵養する研究倫理教育

創造性は完全な自由より、制限があるときこそ発揮されることが知られています。探究活動でも同様に、ルール(研究倫理)を明示して思考の枠組みを決めることで、ルール違反が起こりにくくなり、また生徒の創造性が涵養されます。そこで、若年層を対象にした、著書「13歳からの研究倫理」を執筆しました。本書を基に生徒が主体的・対話的に理解を深める研究倫理教育法をご紹介します。

担当者○愛媛大学教育学部科学教育
 お問い合わせ○ohashi.atsushi.mu@ehime-u.ac.jp

09 岩川光一郎 (筑波大学教育研究科修士2年)
学校教育に应用する「インプロ(即興演劇)」の紹介

当エグジビションは、学校教育に应用する「インプロ(即興演劇)」ワークショップに対応しています。ワークショップを受けていただいた方もそうでない方にも、「インプロ」とは何か?と、その一端でも知っていただけるよう、エグジビションの場で、来場者の方々と「インプロ」とは何か、どんな活動なのかなどについて、様々な情報共有をさせていただきたいと考えています。

担当者○岩川光一郎
 お問い合わせ○s1820002@s.tsukuba.ac.jp

10 株式会社 笑下村塾
芸人考案! パパ抜きカードでSDGsを学んでみよう!

国連で発表された2030年までのゴール、SDGs17をパパ抜きカードで楽しく学べるブースです。芸人が開発した、やるだけで笑いながらSDGsを学べるカードゲームを誰でも体験できます。各目標の内容を、知識だけではなく遊びの中のアクションとして学ぶ事ができるため、小学生から高齢者までみんなに楽しんでいただいています。笑下村塾ですすでに1万人以上の中高生や社会人に向けた出張授業を行ってきました。企業研修でもやっているトランプゲーム、ぜひみなさんもご体験ください!

担当者○株式会社笑下村塾
 お問い合わせ○infotaka7@gmail.com

11 名塩 隆史 聖光学院中・高等学校
ブロックで学ぶ算数・数学〜レゴ®
シリアスプレイ®メソッドの実践を交えて

ブロックを用いた数学の授業の実践報告と、レゴ®シリアスプレイ®メソッドを用いた教科を横断した思考を育むワークショップの実践報告です。数学の授業では、素数や面積、空間をブロックと見立てて、計算方法の原理や図形の性質について考え、レゴ®シリアスプレイ®メソッドは、なかなか答えにくい問いに対して、自分自身の思いや考えをブロックで可視化して、参加者どうして作品を媒介して対話を促進するというものです。

担当者○名塩隆史

13 みらいのオトナ実験室 cokowill
〈新・キャリア教育〉中高生向け起業体験プログラム

職業体験・職種理解だけではなく、新たなキャリア教育を学校へ。中高生向け起業体験プログラムを開発しています。働く意義を自分ごととしてとらえ、就業意欲や学習意欲を高める変化を起こすプログラムです。表面的な理解にとどまるのではなく、実践的な経験を伴った起業体験をチームで行うことがポイントです。また、その他のサービスとして学校向けの人材開発や組織開発プログラムについても紹介を行います。

担当者○みらいのオトナ実験室(cokowill)
 お問い合わせ○info@cokowill.com

15 マイプロジェクト事務局 (NPOカタリバ)
実践型探究学習/マイプロジェクト事例紹介
~高校生の主体的な課題設定・課題解決のいまを伝える~

2022年に施行される高校の学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」が明確に打ち出されています。地域と協働した探究的な学び、主体的で対話的で深い学びの実現は、教育現場を取り巻くキーテーマとなっています。高校生が主体的にテーマ設定をし、実社会で課題解決を行う「実践型探究学習/マイプロジェクト」が進んでいる地域についてなどをご紹介します。

担当者○マイプロジェクト実行委員会(NPOカタリバ)
 お問い合わせ○mypro-member@katariba.net

17 特定非営利活動法人 日本ピーススマイル協会
一度で8割の生徒が自信をつけた!
自己肯定感と「生きる力」を高める授業とは

自分の価値を認め、健全な心を持つことで自己肯定感が高まれば、レジリエンスが強くなり、不登校、ひきこもり、いじめ、うつを予防する力になります。承認欲求が満たされることで、主体的に何事にも取り組むようになります。当法人のワークショップ授業はこれを可能にします。具体的な説明は、現地で気軽にお声がけください。

担当者○特定非営利活動法人日本ピーススマイル協会
 お問い合わせ○h.ochi@p-smile.org

12 株式会社POTETO Media
わたしたちの“主権者教育”
—現役大学生・大学院生による実践報告 & 相談会—

POTETOは2016年末、メディアや教育を通じて「政治をわかりやすく伝える」ことを目指して発足したチームです。私たちと同じく主権者教育を学校に届けてきた学生団体 ivote、NPO 法人 YouthCreate、学校について話し合う場所を作る学生団体 SMISS も参加します。現役学生たちが同世代の若者に向けて行ってきた、これまでの授業実践・作成過程に関心のある皆さま、また悩みを抱えている皆さま、ぜひお立ち寄りください。

担当者○株式会社POTETO Media
 お問い合わせ○noda@poteto.media

14 認定特定非営利活動法人育て上げネット
踏き乗り越えるためのセーフティネット型キャリア教育

育て上げネットは、すべての若者が社会的所属を獲得し「働く」と「働き続ける」を実現できる社会をめざし、若者と社会をつなぐサポートを行っています。その活動の一環として、若者の不本意な無業化や、社会からの孤立を予防することを目的としたセーフティネット型キャリア教育プログラムを、主に高校生を対象に出張授業として提供しています。昨年度全国約160校で実施した、コネクションズシリーズをご紹介します。

担当者○認定特定非営利活動法人育て上げネット
 お問い合わせ○kyoiku@sodateage.net

16 NPO法人コモンビート
心がはずむ! 世界が広がる! スクールプロジェクト

NPO法人コモンビートが主催する学校訪問型表現教育プロジェクト「スクールプロジェクト」のご紹介ブースです。異文化コミュニケーション、自己表現力、多様な価値観の尊重、「正解のない問い」に向き合う力等、これからの時代に必要とされる様々な力の素地を築くことを目標にしながら行っているプロジェクトで、主に小学生向けの「世界のダンス教室」、中高生向けの「人生劇場」やオリジナルショー作りを行う連続授業等、子供たちの豊かな表現力を引き出すことをねらいとして、学年や学びのねらいに合わせた様々な表現プログラムをご提供しております。

担当者○NPO法人コモンビート
 お問い合わせ○school@commonbeat.org

18 広島県立大崎海星高等学校
Uターンコーディネーターという新しい働き方
—広島県立大崎海星高等学校を事例に—

大学時代の夢は、「中学校社会科教師」。それが今では「魅力化コーディネーター」という働き方に。東京で働いているけどいつか地元に戻りたい。先生以外で教育に携わりたい。そんな人々への新しい選択肢「コーディネーター」。全国で増えている仕事ですが、実際にどんな仕事をしているのか。どんな能力が必要なのか。ぶっちゃけ給料はいくらなの?普段話せないことを赤裸々に語ります。

担当者○広島県立大崎海星高等学校
 お問い合わせ○h.torikama@gmail.com

19 YogaEd.JAPAN
子どものためのヨガ
学校のために、学校で生まれたプログラム

Yoga Ed. は、ヨガの実践を通して心身の健康維持と学習支援に取り組む教育プログラムです。1999年サウスセントラル・ロス・アンジェルス校で始まり、現在では、米国42州世界16カ国の教育現場で活用されています。社会性と情動の教育と脳ベース学習に基づいたこのプログラムは、勝ち負けのない身体運動であり、学習指導要領・体育教育基準に対応しています。

担当者○YogaEd.JAPAN
お問い合わせ○info@yogaed.jp

20 TECH! for ISHIGAKI
石垣島から広げるSTEAMの輪

2017年から石垣島を中心にプログラミングをメインとしてSTEAMを地域へ普及させる活動を行なっています。地元の工業高校や一般のクリエイター、行政と連携し楽しいことワクワクする事で沢山のWINを生み出せるように色々な事に挑戦しています。3年目の今年、活動を未来の先生展で沢山の方に知って頂き情報交換したいと思います。皆さん私達 TECH! for ISHIGAKIと連携してみませんか?

担当者○TECH! for ISHIGAKI
お問い合わせ○mtsushms@open.ed.jp

27 学生団体WITH-Ü
学生団体WITH-Ü ～福岡でまなぶを学ぶ～

2つの企画を行います。
1つ目は、WITH-Üの活動紹介です。これはポスター展示で行います。私たちは、福岡県で主に高校生向けの進路系イベントの企画運営や、高校の授業のサポートをしています。学生という目線からその実情や課題をお伝えします。
2つ目は、来場者との「教育」についての意見交流です。ノートを用意し、その場で来場者の方の教育に対する想いや考えを記入する形にします。

担当者○学生団体WITH-Ü
お問い合わせ○with.u.edu17@gmail.com

28 tanpro-lab
プログラミングの考え方を日常の問題解決に活かす!
(探究型プログラミング学習)

“プログラミングの考え方”を学ぶ探究型プログラミング学習(探プロ)では、コンピュータを使いこなすための考え方を、私たち人間にも応用することで、家事や仕事といった身近な日常や、社会の問題解決に活かすことを目指しています。電子ブロック教材のlittleBitsを使ってアルゴリズムの基本的な考え方を学び、その考え方を活かすための学習方法を小学校での適用事例や簡単なワークを交えてご紹介します。

担当者○tanpro-lab
お問い合わせ○ogasawara@tanpro-lab.jp

21 NPO法人マナビエル
ボールキッズプロジェクト～言葉にしたいくなるホンモノの体験～

ボールキッズ取材班は、小・中学生がホンモノを体験し言葉で伝えるミッションに取り組むプロジェクトです。これまで《情報誌制作プロジェクト「広報・東高円寺」を作ろう!》や、《プロから学べ!エコな渋谷駅のヒミツ》などを開催し、2019年秋からは《動画制作プロジェクト》もスタート予定です。言葉で伝える力や楽しさを育む活動の様子をご案内いたします。ぜひお立ち寄りください!

担当者○NPO法人マナビエル
お問い合わせ○info@manabi-el.com

22 LAB to CLASSプロジェクト(特非 海環境教育NPO bridge)
海でも!海に行かなくてもできる!体験型海洋学習教材
LAB to CLASS

四方を海に囲まれた“島国”日本! 地理的・経済的なハードルを越え、全国の子も達に海を身近に感じてもらいたい。そんな想いのもとに、多様なスペシャリストたちが連携し、全国の優れた海洋学習教材を集め、さまざまな切り口から体験型海洋学習教材を制作し、普及しています。
内陸部を含む全国の小中学生に「海洋環境と自分たちの(生活との)つながり」を体験的に学んでもらうための教材開発を行い、インターネットを通して広く普及し、子どもたちの海洋環境保全意識を高めることを目的として発足したプロジェクト～LAB to CLASS～の教材や活動をご紹介します。

担当者○LAB to CLASSプロジェクト(特非 海環境教育NPO bridge)
お問い合わせ○info@npo-bridge.org

29 独)国際協力機構(JICA)
ドイツ政府はSDGs(国連・持続可能な開発目標)達成に向け
新興国のリーダー人材をどう育成しているのか?

2030年度の「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、世界各国で様々な取り組みが進められており、特に、リーダー人材の育成が急務となっています。本発表では、独政府による新興国を対象としたSDGsリーダー育成プログラムに着目。「目標達成への強い意欲」を持ち、「異文化の人々と協働」し、様々な課題に対して「デザイン思考を用いてクリエイティブな解決策」を導き出せる人材をどう育成しているのかをご紹介します。

担当者○独)国際協力機構(JICA)
お問い合わせ○Mimaki.Junko@jica.go.jp

30 JICA東京センター「未来の先生展2019」プロジェクトチーム
多文化環境において、人材育成を通じて新たな知をどう共創するか
=国際協力(開発途上国の人材の育成)での学び合いの実践事例=

私たちを取り巻く社会は、近年ますます複雑化し、既存の知識だけでは解決できない課題が増えています。「文化や背景が異なる人々が、互いの知見を持ち寄り、新たな解決策を生み出すにはどうしたらいいか」。この問いの答えを求め、JICA東京センターでは日本国内での国際協力(開発途上国の方々を対象とした人材育成プログラム)において、アクティブラーニング導入等、改善を進めてきました。本発表では、取り組みと成果についてご紹介します。

担当者○JICA東京センター「未来の先生展2019」プロジェクトチーム
お問い合わせ○ticttee@jica.go.jp

23 びーんずネット
まず、親が幸せになる

不登校や親子関係の悩みについて、川崎市を拠点にセミナーや講座、カウンセリングをお届けしています。不登校をテーマにしたインタビュー事例集の自費出版も始めました。活動の紹介をしたいと思っています。

担当者○びーんずネット
お問い合わせ○beansnet.a@gmail.com

24 World Link YOU
ディスレクシア児に留学という選択肢を

様々な技術が進んだ今、小中学校でディスレクシア児がますますほとんどの分野はテクノロジーで代替可能です。
現代社会が求める人物像を持った若者を送り出すことに主眼を置いた学校は、必然的にディスレクシアの人が学びやすい環境となっています。そしてそのような学校はどんなお子さんにとっても意義ある学びができる学校です。そのような学校への留学をサポート致します。舞台を世界に広げて考えた時、ディスレクシアは「障害」ではありません。

担当者○World Link YOU
お問い合わせ○world-link-you@outlook.jp

31 株式会社 With The World
海外校との社会問題解決型
オンライン協同授業と感動のスタディツアー

各国の学校を週に1度の頻度でスカイプを使って繋ぎ、両国の社会課題をディスカッションする授業を提供しています。クラス単位でお互いの国・地域のSDGsに則った行いたいテーマを生徒が選び、4人少人数グループで外国人とペアになり、各課題を問題提起から、「今自分たちにできること」を軸に、現場の人にインタビューをしながら解決策を作り、実際にチームメイトに出会う相互訪問では、自分の目で直接問題点を確認しながら具現化し、実際に働きかける過程までを行うアクティブラーニング授業です。

担当者○株式会社 With The World
お問い合わせ○shunta@withtheworld.co

32 認定NPO法人 Teach For Japan
「教室から世界を変える」—Teach For Japanの挑戦—

Teach For Japanは、「すべての子どもが素晴らしい教育を受けることができる世界」の実現を目指すNPOです。独自に選考・研修した人材を、日本の公立小中学校の現場に2年間配置するフェローシッププログラムを運営しています。TFJが考える教育課題、学校現場の実態、そしてミッションである「チェンジメーカーの育成」や「教育改革の推進」にどのように取り組んでいるのかをお伝えできればと思います!

担当者○認定NPO法人 Teach For Japan
お問い合わせ○yuki,ikedateachforjapan.org

25 上越教育大学 西川研究室
「学び合い」を語る会

私たち上越教育大学、西川研究室が「学び合い」について皆さんとお話できる場にしたいと考えております。
主なものとしては、西川研究室が行った飛び込み授業などの映像を見ながら、疑問点などについて話し合いを考えております。飛び込み授業とは西川純先生のもとに依頼していただいた学校に「学び合い」の授業を実施しに行くことです。その他、日々の授業についてのご質問などをお話できればと考えております。

担当者○上越教育大学 西川研究室
お問い合わせ○nishikawa.lab2011@gmail.com

26 大分大学教育学部被服学研究室
糸について知ろう!

糸から紐をつくる体験をして、糸への漢字や糸に纏わる慣用語を調べ、糸の螺旋構造を観察してみましょう。「糸」をテーマに探究する教材を提案し、教科の枠組みを超えて「糸」を用いて深い学びを実現できる可能性を示したいと思います。
参照: 「アクティブラーニングが育てるこれからの家庭科」(監修:牧野カツコ,お茶の水女子大学付属学校家庭科研究会 著,地域教材社)
「糸について」(https://youtu.be/Cu_uGneu0ko)
「毛糸を糾う」(https://youtu.be/obC2vVhZpHs)

担当者○大分大学教育学部被服学研究室
お問い合わせ○togo-yukiko@oita-u.ac.jp

33 IFMSA-Japan SCOME
高校生向け医療系学生による出張授業「医療者を目指す君たちへ」

(満足度100%!)本企画は、全国の現役医療系大学生が授業に伺い、楽しみながら医療現場や医療職、医療系の大学生活について学べるワークショップを行っています。私たちは、医療系志望の高校生に多くの中から自分に合った職種選択をして欲しい!熱い思いをもって医療系学部に進学してきて欲しいと考えています。この企画はきっと翌日からの進路指導に役立つはず。ぜひお越しください。

担当者○IFMSA-Japan SCOME
お問い合わせ○somehighschoolmedicalclass@gmail.com

34 へいなか(少年院/法務教官)
少年院という教育現場のリアル
～現役法務教官が語る、非行少年の現実と更生に必要なもの～

少年院と少年刑務所の違いはわかりますか?
少年院と少年鑑別所の違いはわかりますか?
塙の中で彼らが何をしているか知っていますか?
少年院が教育機関だということを知っていますか?
「法務教官」という“先生”がいることを知っていますか?
同じ時代と同じ国でまったく違う現実を生きている彼らの世界を知ってください。まず知ることが、あなたの、そして彼らの力になる。

担当者○へいなか(少年院/法務教官)
お問い合わせ○heinonakan0kyush1tsu@gmail.com



本イベント、「未来の先生展2019セミナー」では、より特定のテーマに焦点をあて、それぞれの会において、より密度の濃い学び・人とのつながりを得る機会をご提供します。各回において、豪華なゲストの方をお招きし、短い時間ではございますが、参加者の方々に「大きすぎる学び」をご提供します！

未来の先生展 2019 セミナー



未来の先生展

2019年9月20日(金) 18:00—20:30

Seminar

未来の先生展2019を振り返る —不易流行。改めて、21世紀における教育を考える—

未来の先生展2019参加者のみなさんと、2019を振り返って学びを可視化させます。併せて、参加者の皆さんの交流を行います。学びの可視化とみなさんとの交流によって、改めて、21世紀における教育を考えていきたいと思っています。

2019年10月16日(水) 18:00—20:30

Seminar

生徒の社会性・感情・行動変容をどう評価するか

新学習指導要領前文や総則では「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられています。これまでも総合的な学習の時間や探求学習の中で、世界について学ぶ、国連の持続可能な開発目標(SDGs)や持続可能な開発のための教育(ESD)を取り扱っている学校も多ありますが、その成果をどのように評価するかが一つの課題となっています。生徒の知識、意識、感情、行動といった資質・能力がどのように変わったか、GiFTが実践しているコンピテンシー(資質・能力)アセスメントを紹介しながら、評価のあり方、可能性、限界について、それぞれの教育現場が抱える課題意識を共有しながら、一緒に考えます。

2019年11月30日(土) 15:00—18:00

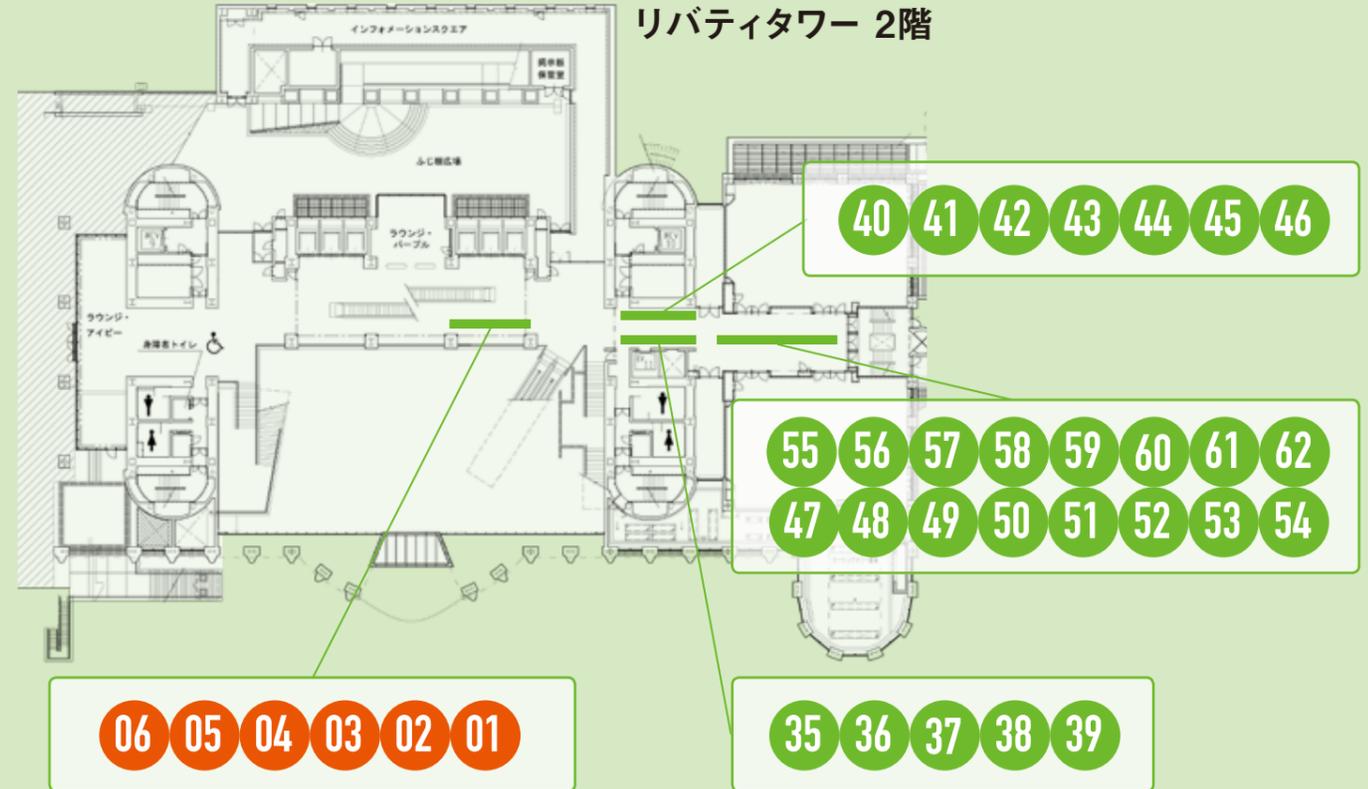
Seminar

いじめ・不登校の未来 —不登校の子が未来を拓く関係づくり— 鈴木雅幸 先生(心理カウンセラー)×石井志昂 先生(『不登校新聞』編集長)

いじめによる自殺の報道や高止まりする不登校の子供の数など、いじめや不登校は依然として大きな問題となっています。私たちはどのようにこの問題に対して向き合うのでしょうか? 今回の未来の先生展セミナーは、いじめ・不登校の未来を描くために、当事者である子供の声を主軸にしながら、どのように大人がより良い関係を築いて一緒に問題に向き合っていくかを探る会とします。心理カウンセラーとして現場の最前線で向き合ってきた鈴木雅幸 先生(心理カウンセラー)と、数多くの現場取材をされている石井志昂 先生(『不登校新聞』編集長)をお招きして、親や先生ができる、不登校の子が未来を拓く前向きな関係性づくりに焦点を当てたセミナーです。

ほかにも開催予定!

会場○立命館東京キャンパス 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー8階
HP○<http://mirai-sensei-2019-seminar.mystrikingly.com/>



35 新渡戸文化小中学校・高等学校 小中高生が生み出すSDGsアクション! ~新渡戸グッドアクションクラブ~

本校の育てたい児童生徒像は、将来社会に出て幸せに生きていく子どもたちです。そのためにはより良い選択ができる自律型学習者を育てていく必要があると考え、2019年度より、Challenge Based Learning / Cross Curriculum / Core Learningの3つのCを軸にした教育改革を始めています。本企画では、脱プラスチック問題や持続可能な食の流通などの社会課題に向けて、企業やNPOなどと協働しながら自分たちなりの解決策を提案し始めた子どもたちを紹介します。

担当者○新渡戸文化小中学校・高等学校
お問い合わせ○f_yuki.i@nitobebunka.ac.jp

36 一般社団法人 読み書き配慮 学習障害(LD)児への合理的配慮例データベース事業

「読み書きへの配慮が叶えるものは、学力なんかにとどまらない!」「事例の循環で学びの未来を創る!」全国の教室で実施されてきた、読み書き困難に対する合理的配慮事例の詳細と、その配慮が実施に至るまでのプロセスをデータベースとして蓄積しています。教育関係者向け、相談・講演も行っています。

担当者○一般社団法人 読み書き配慮
お問い合わせ○support@yomikaki.or.jp

37 合同会社 ネクスファ SDGs×探究=「サス学」! ~社会課題をジャンゴに &解決アイデアを発想・アクションする学び~

「サス学(サステナビリティ学習)」とは、千葉県柏市で学童保育と学習塾が一体化した学び舎「ネクスファ」で開発した教育プログラムです。「社会課題とその解決策を考える探究型・プロジェクト型学習」として実践してきました。今回は小学生がSDGsを基に製品化したカードゲームや100を超える授業コンテンツを展示。みなさまの現場で実践いただける「サス学」のサービスについてもご紹介します。

担当者○合同会社ネクスファ
お問い合わせ○info@next-ph.jp

38 Home to Work 学ぶ力、生きる力を育む自立の三角形

私共Home to Workでは「自立」をテーマにした人材育成プログラムを、企業・学校・自治体等に提供しています。その実績から「社会から求められる力」「生き生きと働くための力」を熟知しています。それらを踏まえ、10代である中高生たちが社会で活躍する10年後20年後を見据えたプログラム内容「学ぶ力、生きる力を育む自立の三角形」についてご紹介します。

①コミュニケーション編 ②自分のことが自分でできる編 ③人の役に立つ編

担当者○Home to Work
お問い合わせ○e-imaizm@kdn.biglobe.ne.jp

39 一般社団法人 日本味感学協会

オリンピック選手も東大生も実践中。
パフォーマンスアップカラーを活用しよう!

「学習環境習慣アドバイザー」という新しい立ち位置で、この5年間でオリンピック選手を中心に多くのスポーツ選手、東大生を含む多くの大学生に対し、脳神経12対を活用したFSEMというメソッドを学業に取り入れてきた実践例の中から「勝ち色」という、人それぞれのパフォーマンスを向上させる色を見つけるという内容について体験してもらおうと思います。

担当者〇一般社団法人 日本味感学協会
お問い合わせ〇yoshidatakahiro1973@gmail.com

40 世界に目を向けよう ～今、私たちにできること～

地球市民学習と共に未来を創る仲間として「教育」は「共育」
「協育」「響育」「今日育」「教室」は「共室」「協室」「響室」「今日室」

私たちは、地球市民学習を基に定期学習会、出前授業、イベントなど、Think globally, Act locally で活動に取り組んでいる団体です!小学生から89才の仲間たちが、出逢い、つながり、未来を作るpartners として学び合っています!!、今回は、イベントや出前授業や子どもたちの視点で作ったSDGsの教材などから、「今の子どもたちが求めている学び」について共有したいです!! educate=可能性を引き出す「教育(共育、協育、響育、今日育)」のパートナーとして!!!

担当者〇世界に目を向けよう ～今、私たちにできること～
お問い合わせ〇rei-kane@mui.biglobe.ne.jp

47 進学塾SOCRA&jr.、新しいカタチの学習塾SOCRA WONDER

society5.0における新しいカタチの学びとは?ワクワクを学びへ、ドキドキを学びへ。“やる気”を創る!新しいカタチの学習塾とは?

society5.0において、「創造的な課題発見・解決力」を手にすることのできる「学びの社会システム」の構築を目指しています。 未来の学びとは、EdTechを活用し、効率的な知識習得と創造的な課題発見・解決能力育成を両立した新たな学習プログラムが必要です。 そう速くはない未来の話ではなく、“今”に必要な学びとして現在進行形の学びを、21世紀に求められる人、新しい学びをご提案したいと思います。

担当者〇進学塾SOCRA&jr.、新しいカタチの学習塾SOCRA WONDER
お問い合わせ〇harada@socra.jp

48 株式会社イトグチ

勉強をゲーム化する塾

- ①勉強をゲーム化する
生徒と講師で共に考えた「勉強をゲームにした」作品と生徒の考えのフローを展示
- ②反転授業の実践記録
講師が授業をするのではなく先生が授業を行う!生徒の授業記録と成果を掲示

担当者〇株式会社イトグチ
お問い合わせ〇yuki.yamazaki@itoguchi.co.jp

41 一般社団法人Fora

「キャリア教育×探究学習」大学生による出張授業

「やってくるオープンキャンパス」をコンセプトに、これまで70校20,000人を超える生徒に提供してきた高大接続ワークショップ(学部体験)をご紹介します。合わせて、本年度WWLに採択された学校に対して、昨年度より弊団体がTAとして支援した探究学習プログラムをご紹介します。双方の取り組みを行いながら探究学習とキャリア教育の可能性を感じており、ぜひその内容などについて先生方にご紹介すると共に、先生方とぜひ議論や意見交換をさせて頂ければと思っています。

担当者〇一般社団法人Fora
お問い合わせ〇ito@fora.or.jp

42 NPO法人ドラマケーション普及センター

5分できる人間関係(コミュニケーション)作り
～楽しみだけで終わらせない「学び」ある場づくり～

生徒の主体性と表現意欲を支える場づくり、それを支援する先生のファンリテーション能力…これらは一体どこで身につければ良いのでしょうか?!
ドラマケーションは数多くの学校でWS型の授業を実践してきました。いつでも、どこでも、だれでも、たのしさをモットーとしたドラマケーションの効果効用を説明し、「ファシリテーション」においてどんな場づくりをしているのかを解説いたします。

担当者〇NPO法人ドラマケーション普及センター
お問い合わせ〇kouno@dramacation.com

49 Japan Education Lab

探求型授業の提案と実施についての紹介

弊団体が各学校様に提供している「探求型授業」のスキームの紹介と、簡単なワークショップを通して探究とはどういう状態なのかを観覧者の皆様にご紹介させていただきます。

担当者〇Japan Education Lab
お問い合わせ〇japan.education.lab@gmail.com

50 Global Teacher Program

Global Teacher Program

当プログラムでは年に2回、春と夏にセブ島の公立小学校で教育実習を実施しています。
・現地語学学校の先生とチームを組み、英語を学びながら授業をつくる
・現地語学学校の先生と、英語でデモ授業(模擬授業)をする
・フィリピン(セブ島)現地の公立小学校で、4日間の授業実践をする
そんな経験に興味のある皆様へ、これまでの活動やフィリピンの教育現場の様子をご紹介します。

担当者〇Global Teacher Program
お問い合わせ〇global.teacher.program@gmail.com

43 特定非営利活動法人アイセック・ジャパン

大学生×国際×教育
～世界最大の学生団体が取り組む教育～

- ①アイセック×海外の教育
弊団体のインターンシップのうち、海外の教育にアプローチするものにおける取り組みや、そこでの成長や発見を最大化させるためにやっている工夫についてお伝えします!
- ②アイセック×日本の教育
弊団体では、日本の中高生に対して、SDGsを切り口に、アクティブな授業を展開する教育事業も行っています。
グローバル教育やSDGs教育の一端をお伝えできれば幸いです!

担当者〇特定非営利活動法人アイセック・ジャパン
お問い合わせ〇atsushi.todoroki@aiesec.jp

44 NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク

不登校・かくれ不登校、親・教師の対応は…
～現在の不登校政策から考える、多様な社会のあり方とは～

私たちは不登校について理解を深め、いろいろな育ち方・生き方ができる社会を目指してきました。最近国は「不登校を問題行動ととらえてはならない」とし、いままでの学校復帰政策から大きく転換、休みの必要性や学校外の学びの重要性が法律にも明記されるようになりました。しかし、まだまだこれらの情報が行きとどいていません。今回の様な情報を皆さんと共有していきたいと考えています。

担当者〇NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク
お問い合わせ〇info@futoko-net

51 鳥取城北高等学校

革命は“世界の片隅”から
～人生に必要な知恵はすべて鳥取の砂場で学んだ～

鳥取には、“ない”が“ある”。“課題先進地域としての鳥取”を舞台に、鳥取城北高校は地域を巻き込んだ改革を進めています。国内でも稀な学校主体のインターンシップ開発プロジェクト。“起業”という選択肢を増やすための、起業家育成プログラム。3Dプリンタ等のデジタル工作機械を扱うファブ部、街中と積極的に関わる地域デザイン部、地域を盛り上げる、高校生によるプロバスケットボールチームの運営、など、様々な取り組みをご紹介します。

担当者〇鳥取城北高等学校
お問い合わせ〇rikirikiring@gmail.com

52 学生団体おりがみ 教育チーム

私たちの考える未来の教育企画「ハイタッチキッズ」
～自分の思い描く将来を現実に導く体験～

SNSの利用により、自分の知りたい情報が手に入り、やってみたくて疑似体験できる現代社会。その中で若者には、自ら意思を持って決断をする時に大切な、五感を使った体験をする事が少ないのではないかと?私たちは高校生以下の全ての「キッズ」に、「high」と感じて普段は自ら関わらないような経験を届け、「もっと体験を掴みたい」と思える活動をオリパラを利用して作っています。そんな私たちだからこそできる、
・2020年に向けた大学生と中高生の教育実践活動
・「ポッチャ」を通して他者理解を学ぶ学校現場での授業を皆さんに紹介します。

担当者〇学生団体おりがみ 教育チーム
お問い合わせ〇aoi.enjoy.1115@gmail.com

45 東京家政学院大学 キャリア・バーム

女子大学生が学びたいキャリア教育とは?
正課外における女子大学生の学びについて

私たちキャリア・バーム(自主ゼミ)は、キャリアについて学生が主体的に取り組む活動を行っています。主な活動内容は、①社会人を招いての懇談会、②良い会社研究、③キャリア系イベントへの参加です。立ち上げから3年弱とまだまだ歴史の浅いキャリア・バームですが、私たちの濃～い活動内容と、自主活動だからこそこの気づきや学びをご紹介します!皆様のご来場お待ちしております♪

担当者〇東京家政学院大学 キャリア・バーム
お問い合わせ〇skanamori@kasei-gakuin.ac.jp

46 大丈夫、今のあなたが素晴らしい

With ICARE

長時間労働やハラスメント、長期にわたりハイスコアが要求される、などで悩む医学生や若い医師を、やさしさのフレームワーク“ICARE”(Interview, Collaboration, Ask for help, Reduce workloads, Encourage)を使って支援するプロジェクト(仮)を始めました。ただ、学校の先生方の長時間労働や心の問題のニュースを知り、先生たちも、言葉にできない生きづらさを抱えているかもしれない、と思いました。今回は、対象を広げて、少しでも多くの皆さまに、ありのままの気持ちを、安心して相談できる居場所を提供したい、と考えました。誰かの期待に応えることよりも、自分の命を守ることの大切さを伝えたいです。どうか自分を責めないで下さい。ありのままのあなたを受け入れる場所が、ここにあります。大丈夫、あなたのままで素晴らしい。

担当者〇張 成浩(ちよう なりひろ)
お問い合わせ〇komorogeneral@gmail.com

53 一般社団法人 グローバル教育研究所

日本で唯一の体系的なグローバル教育プログラム
「地球村への10のステップ™」

「地球村への10のステップ™」は、米国で企業向けの研修プログラムを行ってきた瀧美育子氏がグローバル化に遅れた日本を危惧し、次代を担う子どもたちの教育のために開発した、日本で唯一の体系的なグローバル教育プログラムです。このプログラムでは、人類5000年の壮大な時間軸を持つこと、地球全体を丸ごと見る視点を身につけること、世界の4つの文化コードを学び、この文化コードを念頭におきながら、対立し争うのではなく、よいところをいいとこ取りし、お互いに納得し合う形で全体を最適化する倫理観を、アクティブラーニングを通して身につけていきます。

担当者〇一般社団法人グローバル教育研究所
お問い合わせ〇info@global-kyoiku-ken.jp

54 人と学ぶ場 ふらっと

小学生から若者までがともに過ごす居場所
～岐阜市のフリースクール～

小学生から若者までが一緒に過ごすフリースクール。高校生は通信制サポート校としても利用しています。誰もが「ふらっと」訪れることができる場所。ここからスタートできる場所として。子ども食堂や、アクセサリ販売などをして、社会との風通しをよくしています。それは、いつか一人ひとりが社会に夢と希望をもって自立して歩いていけるようにという願いをもって。子どもから大人までいつでもふらっと足を運んでください。

担当者〇人と学ぶ場 ふらっと
お問い合わせ〇hitotomanabuba@gmail.com

55 特定非営利活動法人 だっぴ
若者と大人がつながることが、地域の未来をひらく!

中高生と多様な大人たちが出会い、フラットな関係で話し、学び合う場づくりによって、中高生の自己肯定感や将来に対する期待、地域社会に関する当事者意識などを高めることができます(事前・事後のアンケート調査より)。2018年度は岡山県内の12市町村20ヶ所で、教育委員会や学校と協働しながら実施することができました。
当日は、私たちの活動内容と実績について紹介します。

担当者〇特定非営利活動法人 だっぴ
お問い合わせ〇dappi@dappi-okayama.com

57 石橋 生 桐蔭学園高校・東京大学
産学官をつなぐ地理総合に向けたGIS教材の利活用

桐蔭学園高等学校の探究活動「未来への扉」GISゼミでは、ESRIジャパン・東京大学・横浜市青葉区の産学官と連携して2022年から始まる高校必修科目「地理総合」の3つの柱、GIS・防災教育・グローバルを踏まえた教材を提案し、中高の地理の授業で利活用してきました。産学官との研究を通じて社会とのつながりを意識し、キャリア教育の礎となるゼミを目指すGISゼミの活動報告を行います。

担当者〇石橋 生(桐蔭学園高校教諭・東京大学協力研究員)
お問い合わせ〇ikuru@toin.ac.jp

59 ヒトとロボとヒト研究所
「つなご道(ロード)」チームで連携「ビー玉転がし迷路バスル」

実機に直接触れなくても、居合わせた方々3人組~6人組による実践を体験いただく。サイレントルールにより、行き先(目的)を共有しない場面から対話が不可欠なコトを実感してもらおう。スタートからより早く各ポイントを経由し、ゴールをめざす課題に対して挑戦し合う。ふりかえりを行いコミュニケーションやチャレンジに着目し、ゲームと日々の活動との関連性に対する気づきを引き出す。

担当者〇株式会社 笑足ねっと 代表取締役 白川正志
お問い合わせ〇warakashi@gmail.com

61 一般社団法人 lightful
~学校の先生と教員志望の大学生を繋げる
マッチングウェブサービス~

私たちは「生徒一人一人にスポットライトを。」を理念に活動しています。そしてその一歩目として、現在は学校の生徒ではなく先生にフォーカスしています。私たちが今やろうとしていることを一言で伝えると、学校という公教育の現場に、「教員を志す大学生のインターン制度の仕組みづくりになります。学校での働き方に問題を感じている方や、教員を目指している大学生に是非私たちのサービスを知って欲しいです。

担当者〇一般社団法人 lightful
お問い合わせ〇lightful.inc@gmail.com

56 NPO法人早期英語教育研究会
「楽しく学んで、英語が話せるようになる」をスタンダードに!
「子ども同士が英語でおしゃべりする唯一のメソッド」

日本人の子ども同士が英語でおしゃべりを始める、国内で唯一のメソッドを提供しています。レッスンプラン、テキスト、教材は全て運動!笑いが溢れる英語レッスンで、人間力も育てながら、本当に英語でおしゃべり出来る子を育ててみませんか?

担当者〇NPO法人早期英語教育研究会
お問い合わせ〇contact@eeyc.jp

58 追手門学院中・高等学校
新教育×新校舎
「講義+個別・協働・プロジェクト型」のハイブリッドな学びの創出

技術革新により未来の予測が困難を極める現代社会 Society5.0。未来を単に予想するのではなく、自らの手で切り拓いていく、そんなたくまさと柔軟性を身につけるための新教育-自ら学び、得た知識を活用し、他者と協働して学ぶ-と、それを実践するために完成した新校舎。今までの学校のイメージを根本的に見直した「いつでも、どこでも学べる新たな学びの空間」をご紹介します。

担当者〇追手門学院中・高等学校
お問い合わせ〇tabashi@otemon-jh.ed.jp

60 武蔵野大学EPLAB
(Environmental Psychology Laboratory, Musashino University)
お先真っプラ
-プラスチックごみ問題を理解を深める新ワークショップの提案-

「環境心理学で持続可能な未来をつくる」をミッションとしたEPLAB(武蔵野大学環境プロジェクト)が、プラスチックのマテリアルフローを人生の旅(不逆的な時間軸)になぞらえて、サステナブル(持続可能)やアンサステナブル(持続不可能)を、ボードゲームを通して学ぶ新ワークショップ「お先真っプラ」を開発しました。このワークショップに対する貴重なコメント、一緒に教育現場で実践できる方に出会いたいと思っております。

担当者〇武蔵野大学EPLAB
お問い合わせ〇eplab.musashino@gmail.com

62 株式会社 mpi松香フォニックス
考える・書く・伝える
~TAGAKIが目指す英語教育の新たな可能性~

TAGAKIは従来の文法ベースではなく、トピックベースで「考える」「書く」「伝える」を繰り返すことで、思考力・判断力・表現力を鍛えます。また多量の英語に触れ、書き、発話することで英語のインプットとアウトプットを同時に行い、英語4技能の習得に繋げる新たな学習法です。学習者主体で指導者がファシリテートするアクティブラーニングの具現化と言えるでしょう。目から鱗のTAGAKIの活用によるアクティブラーニングの具現化と、英語4技能の習得。学習者が自らの学ぶ力を発揮して、主体的、対話的で深い学びに達する可能性を実感してください。

担当者〇株式会社 mpi松香フォニックス
お問い合わせ〇tak@mpi-j.co.jp

修学旅行 探究ノート

旅行行事を探究的な学びの
きっかけにしたい
高等学校・中学校におすすめ!

楽しみながら学びを深める

修学旅行 探究ノート



- ✓ 旅行行事を探究的な学びの場にするための
ワークブック型学習教材 (A4判・カラー・32頁)
- ✓ 東京学芸大学 森本康彦教授とJTBが共同開発
- ✓ 2019年3月よりJTBとClassiにて販売中
- ✓ 販売価格 264円 (生徒1人あたり・税込・消費税10%の場合)



感動のそばに、いつも。

株式会社JTB 教育事業ソリューションセンター

〒163-0431東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル31階
TEL:03-5909-8051